

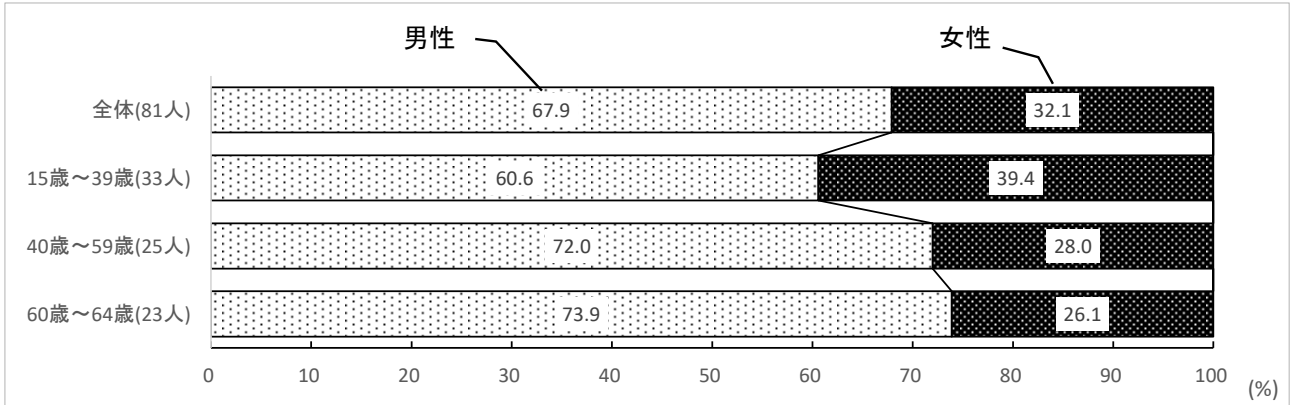
Ⅲ 本人向けアンケート調査の結果

Ⅲ 本人向けアンケート調査の結果

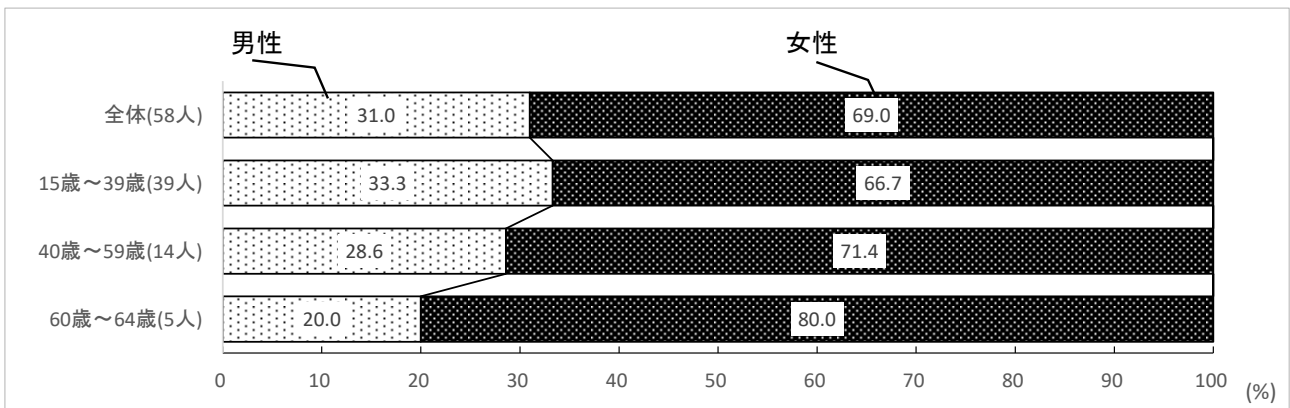
(1) 基本的属性について

Q1 あなたの性別をお答えください。(○はひとつだけ)

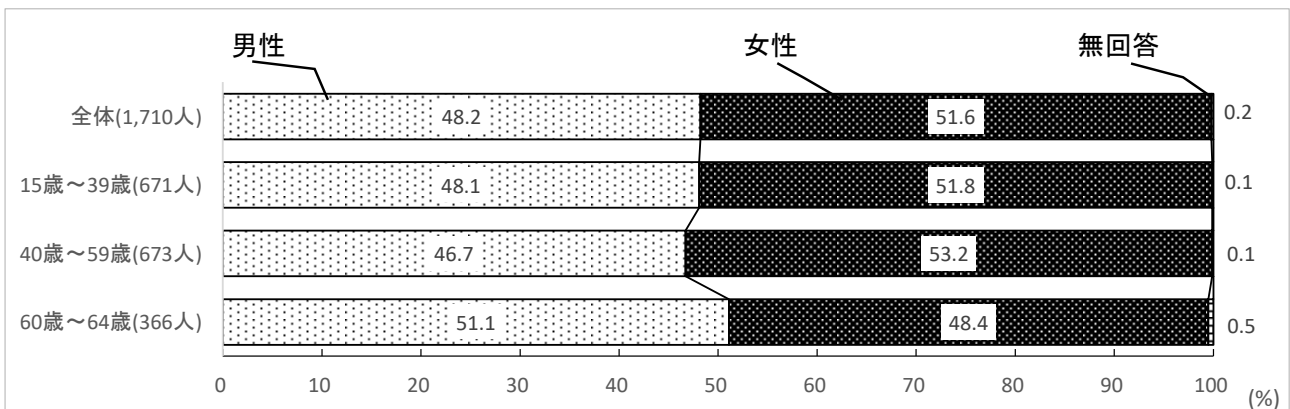
広義のひきこもり群



親和群



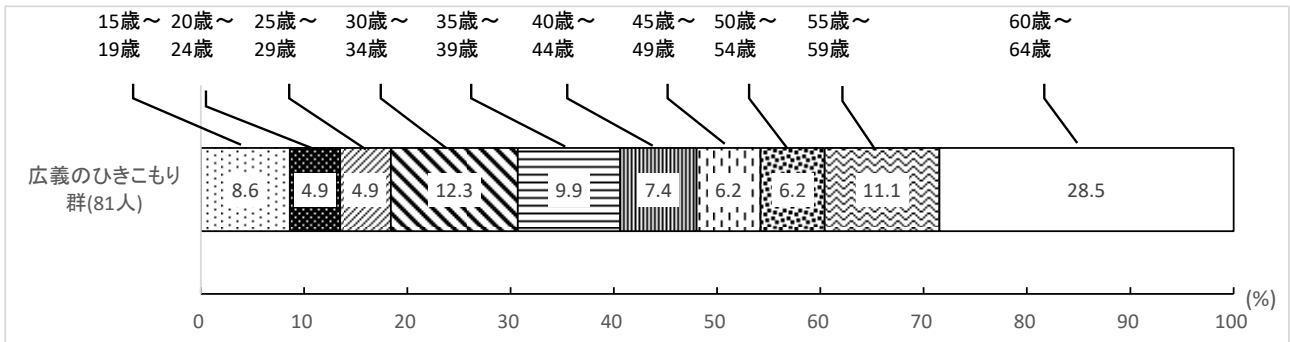
一般群



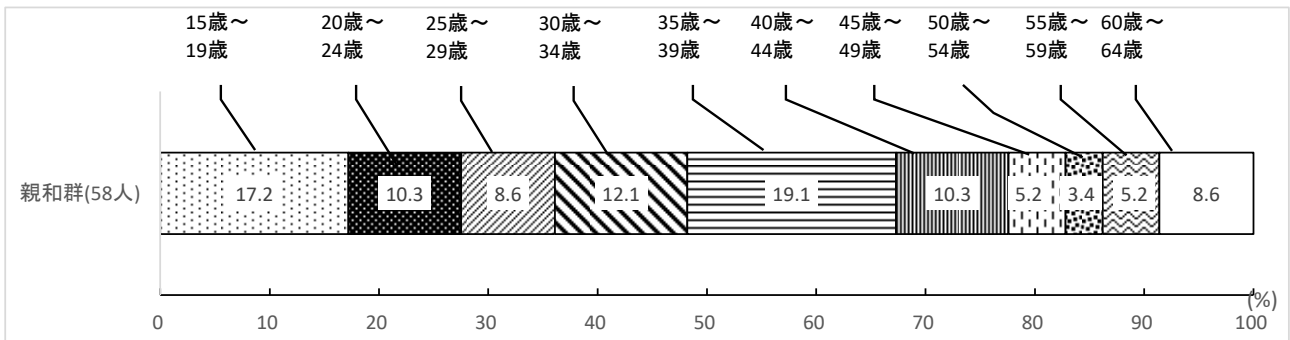
全体で見ると、広義のひきこもり群では男性が67.9%と女性より多い。

Q2 あなたの年齢(令和2年4月1日現在)をお答えください。(〇はひとつだけ)

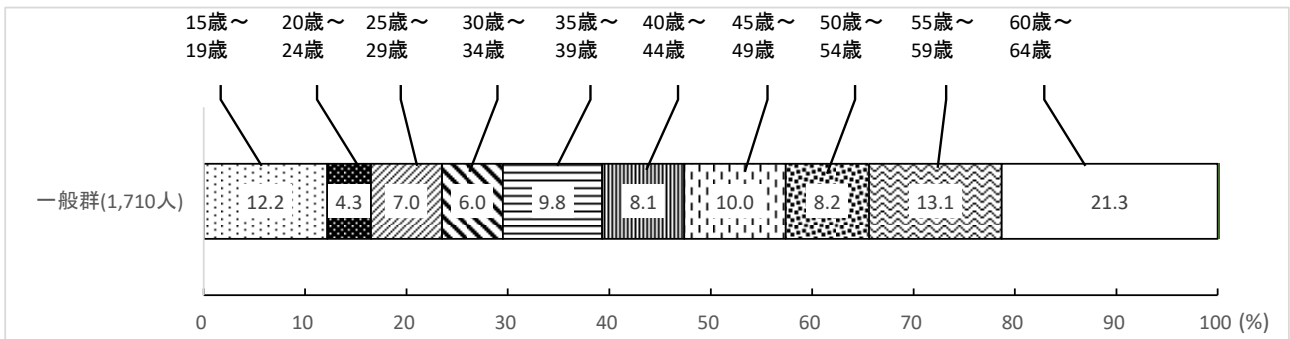
広義のひきこもり群



親和群



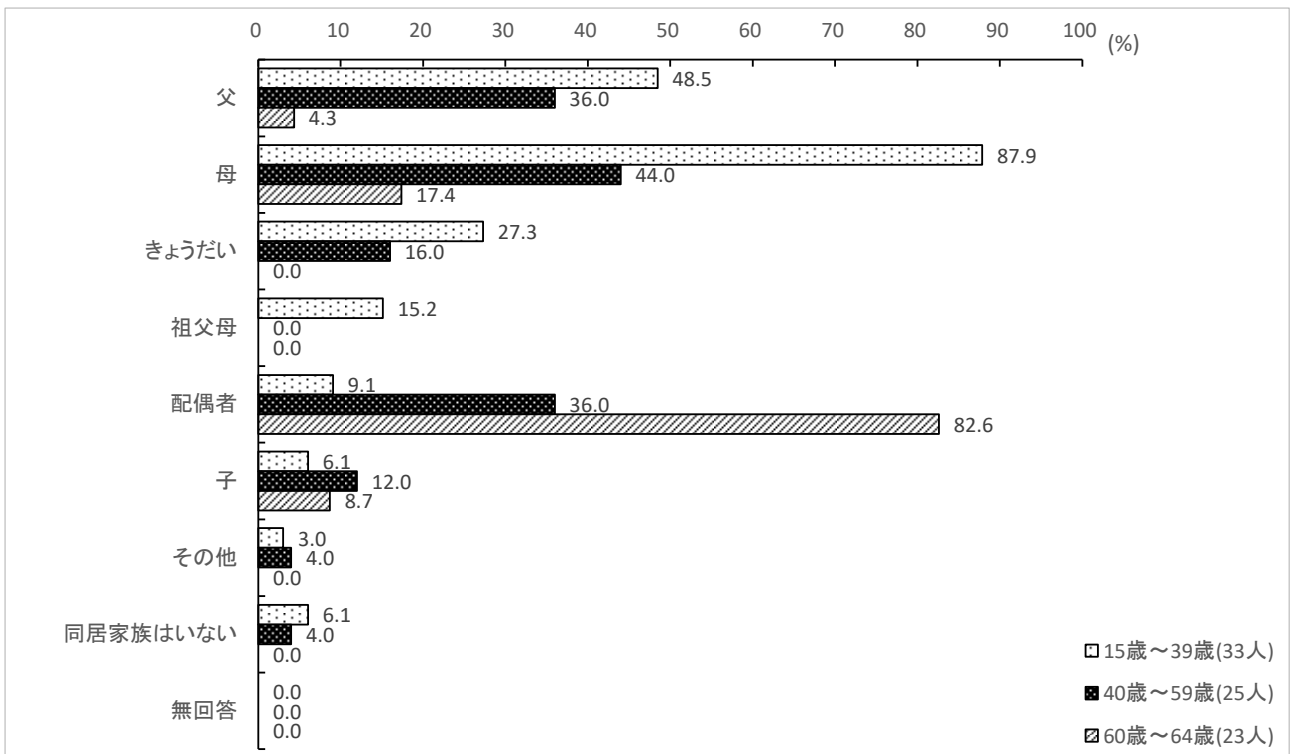
一般群



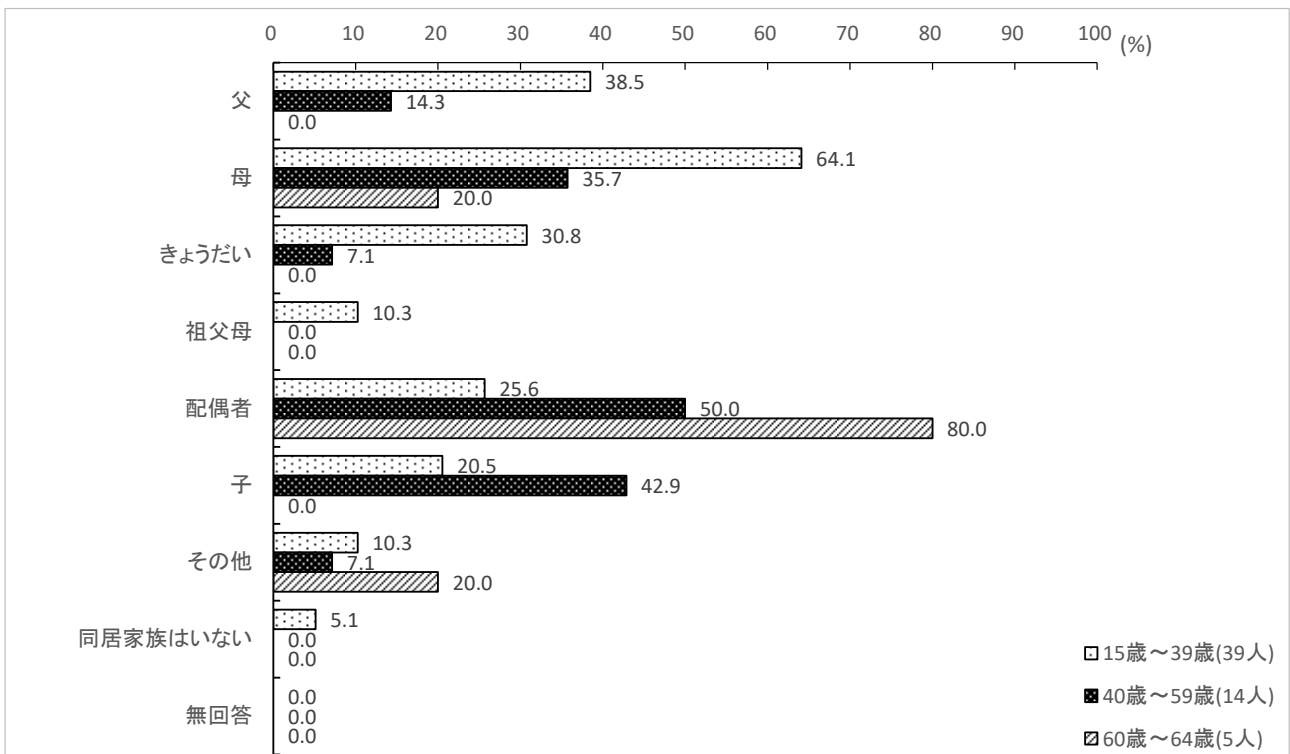
広義のひきこもり群では60歳～64歳が28.5%と一番多く、親和群では35歳～39歳が19.1%で一番多かった。

Q3 現在、あなたと同居している方について○をつけてください。(○はいくつでも)

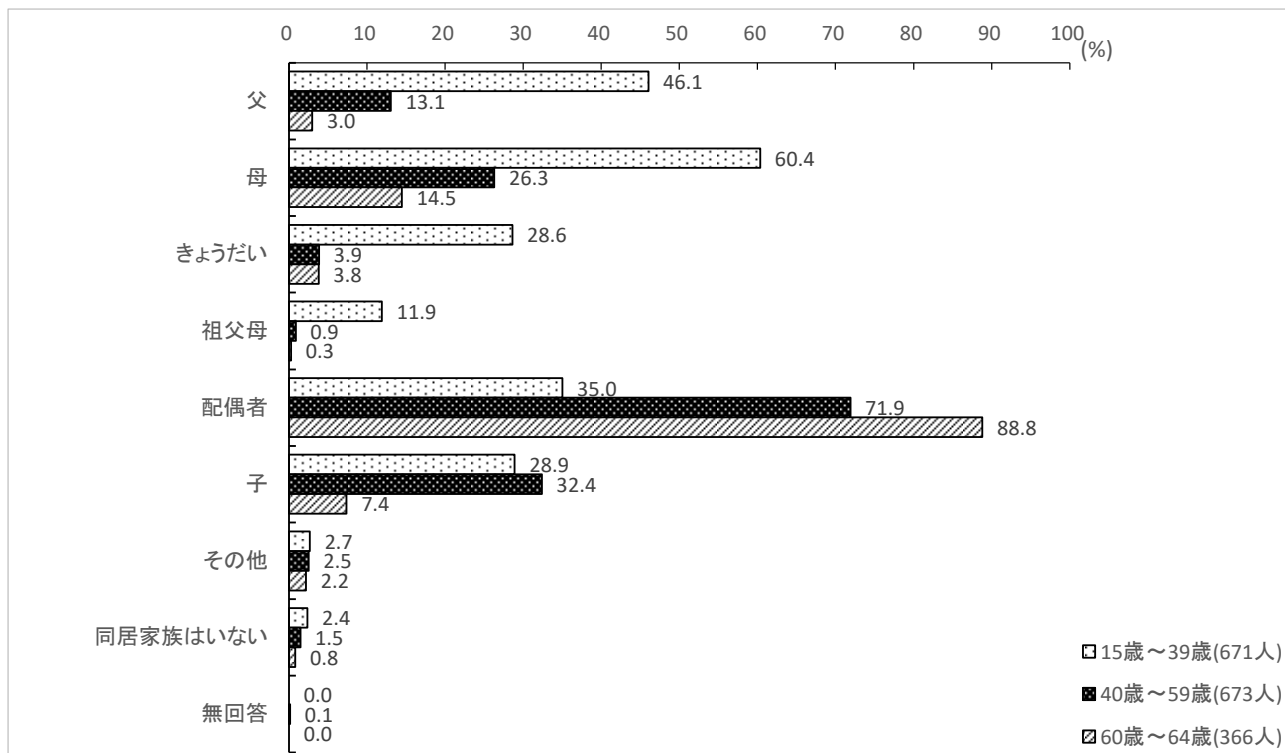
広義のひきこもり群



親和群



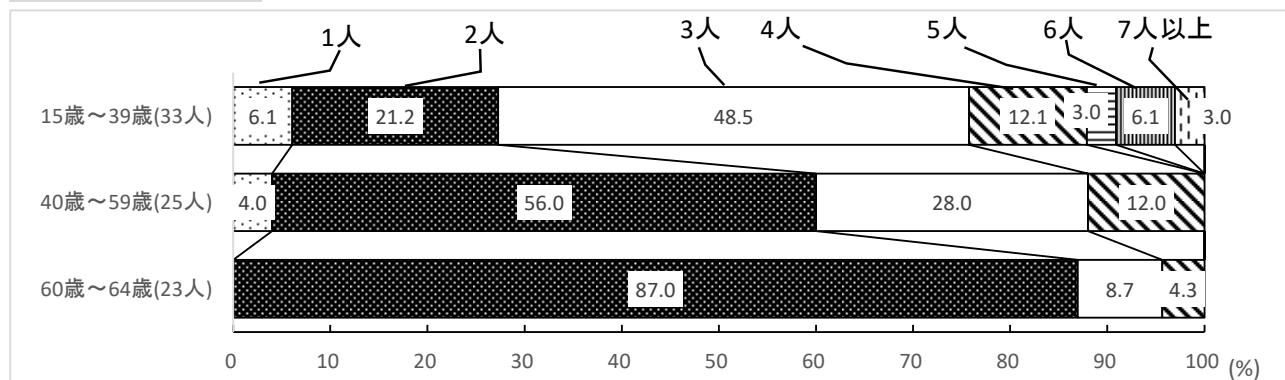
一般群



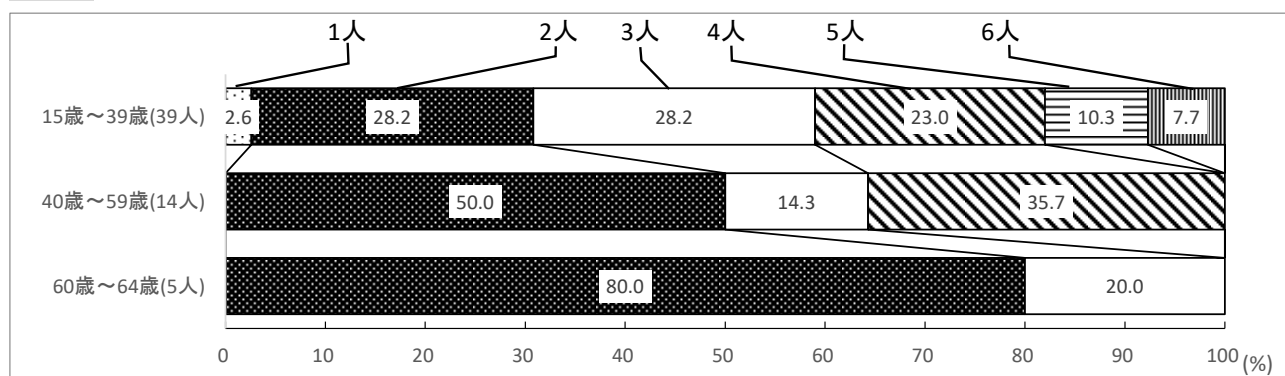
広義のひきこもり群では15歳～39歳で母(87.9%)、父(48.5%)との同居が多くなっている。40歳～59歳では配偶者の割合が36.0%と増加するが、母(44.0%)、父(36.0%)との同居も依然多い。60歳～64歳になると配偶者(82.6%)が一番多くなる。

**Q4 現在、同居している人は合計で何人ですか。あなたも含めた人数を記入してください。
(数字で具体的に)**

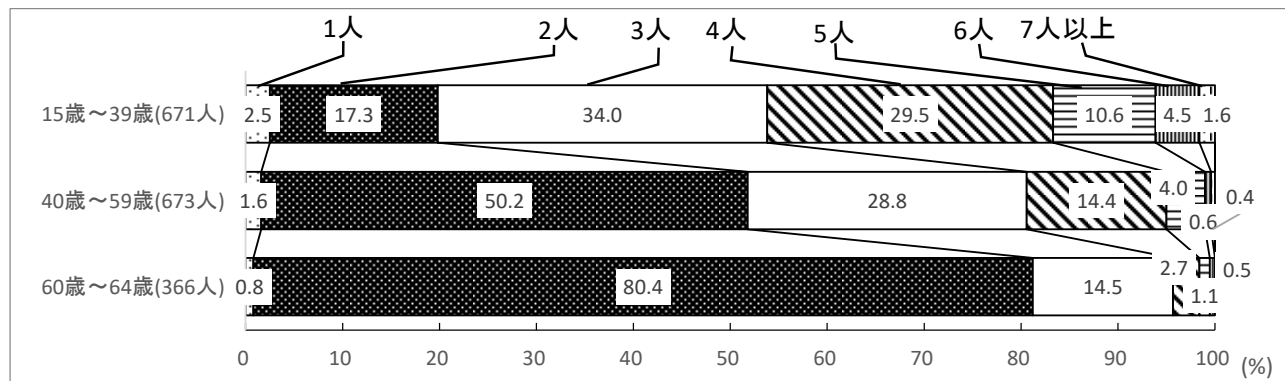
広義のひきこもり群



親和群



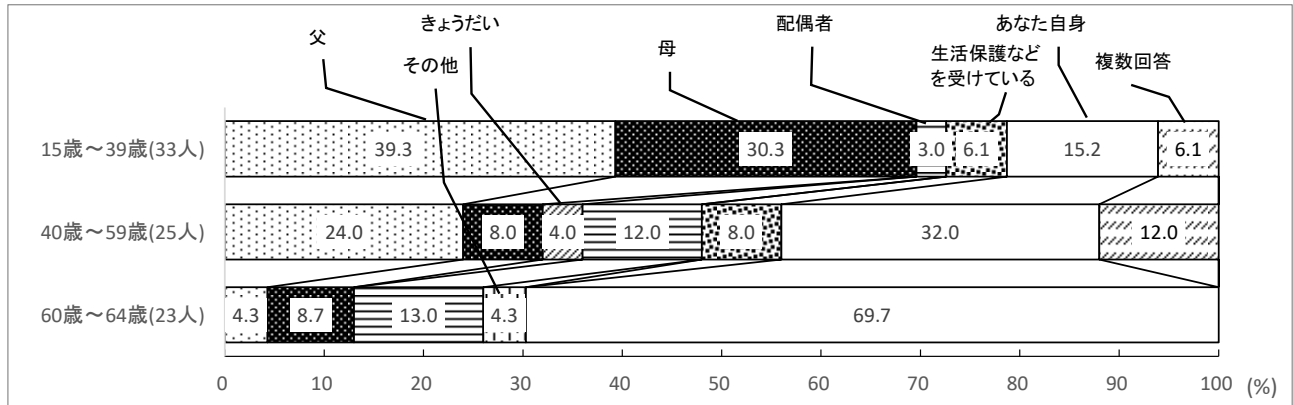
一般群



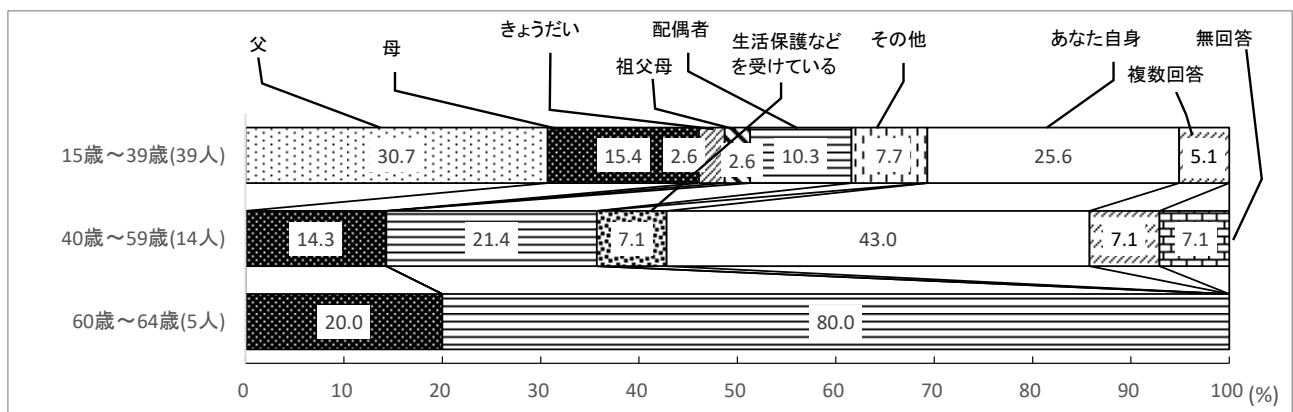
全体で見ると、広義のひきこもり群，親和群，一般群共に4人以下となる回答が80%を超えている。広義のひきこもり群では、60歳～64歳が「2人」という回答が87.0%と最も多い。すべてのグループにおいて、高齢になるにつれ同居人数が2人の割合が増えている。

Q5 あなたの家の生計を立てているのは、主にどなたですか。生計を立てている方が複数いる場合は、もっとも多く家計を負担している人をお答えください。また、主に仕送りで生計を立てている方は、その仕送りを主にしてくれている人をお答えください。(〇はひとつだけ)

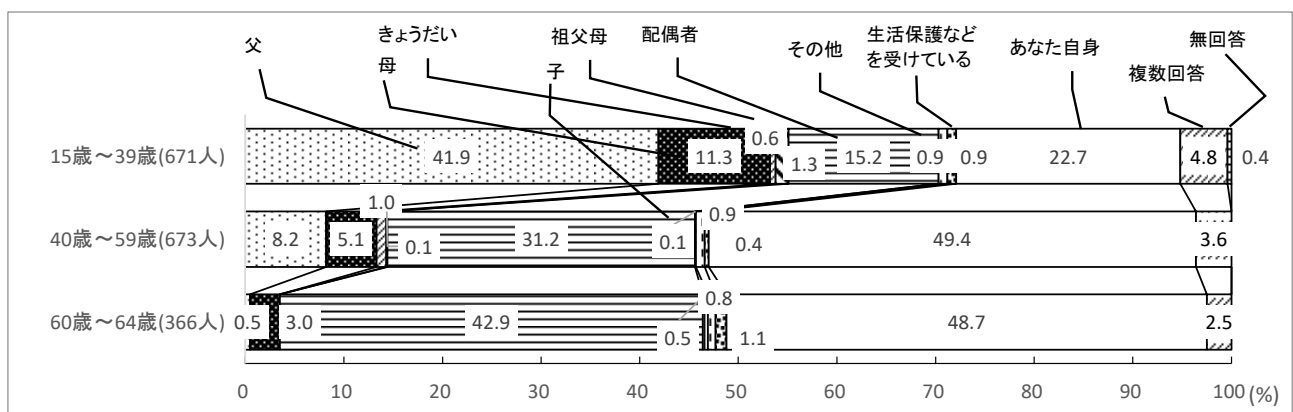
広義のひきこもり群



親和群



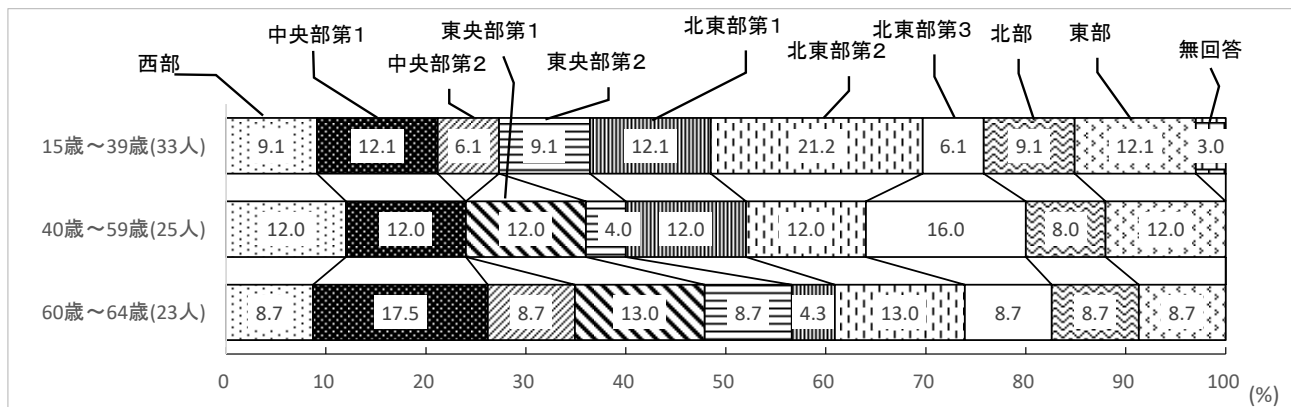
一般群



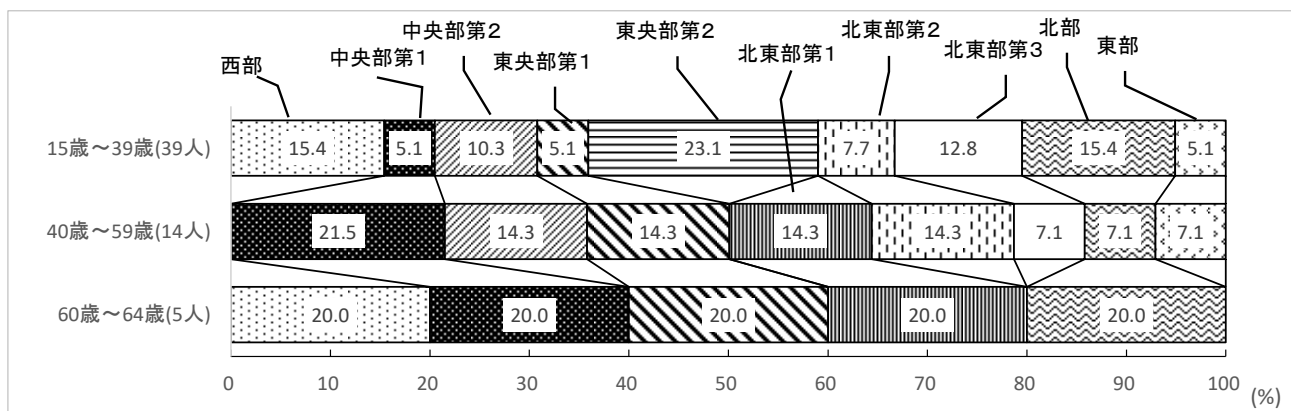
広義のひきこもり群では、主に家の生計を立てている者として、「父」「母」と回答した者が3割以上、60歳～64歳でも1割以上いた。

Q6 あなたがお住まいの町名に○をつけてください。(○はひとつだけ)

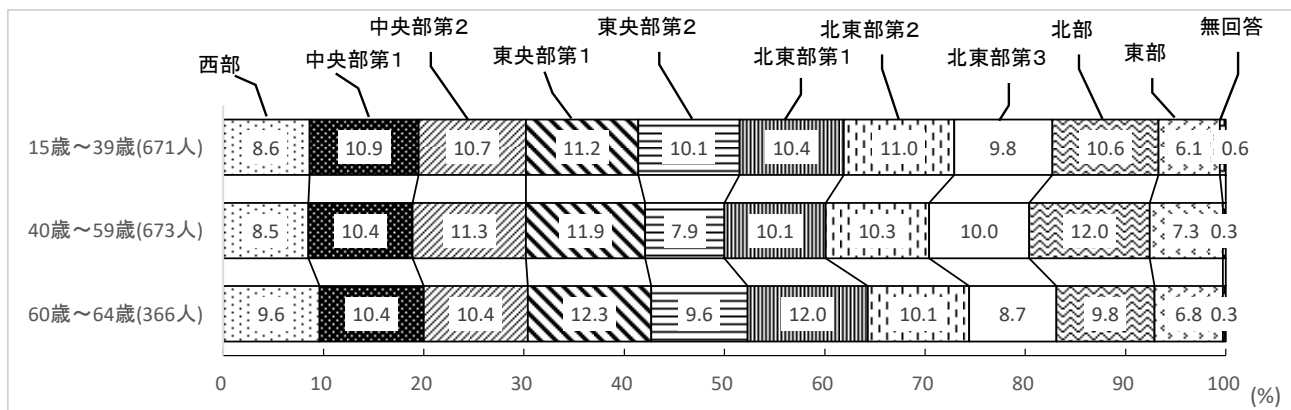
広義のひきこもり群



親和群



一般群



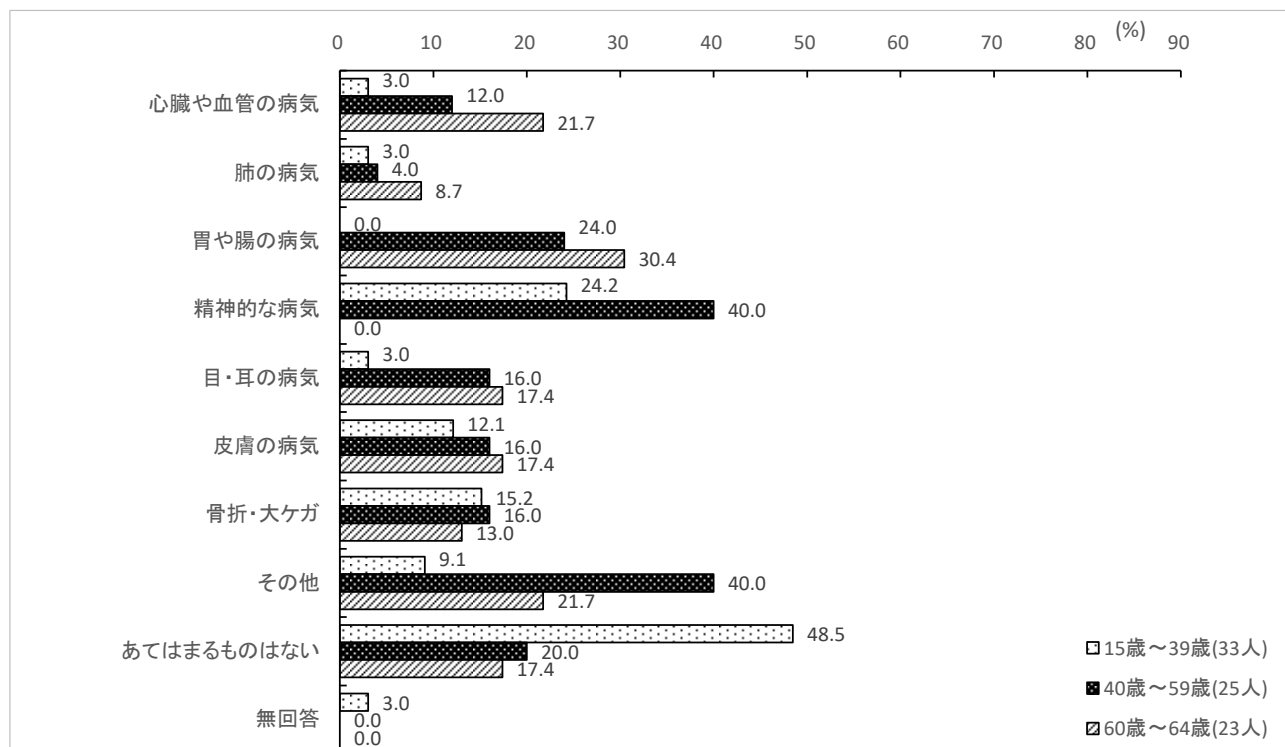
調査票の配布は、一般群の回収率の分布状況から見てわかるとおり、地区別のバランスを考慮している。この中で、広義のひきこもり群の出現傾向として、北東部第2の15歳～39歳の割合(21.2%)が最も多い結果となった。

■函館市内地区分類

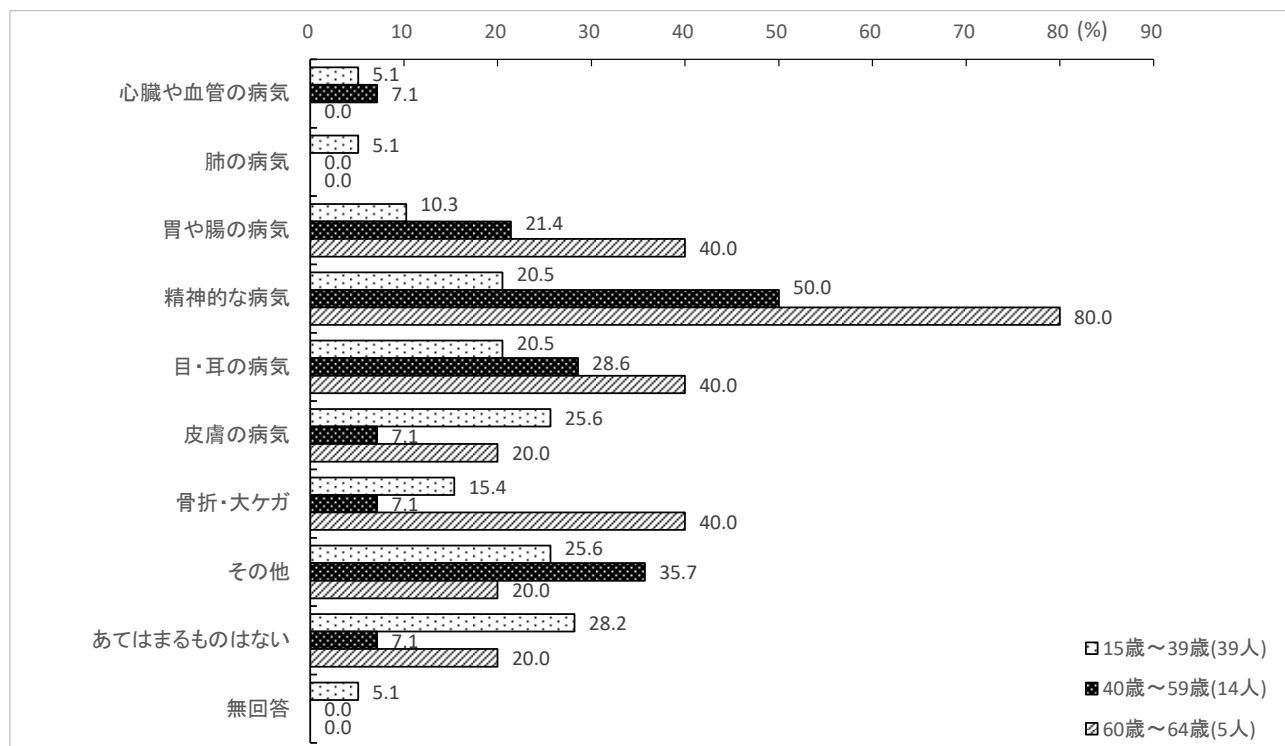
1. 西 部	入舟町, 船見町, 弥生町, 弁天町, 大町, 末広町, 元町, 青柳町 谷地頭町, 住吉町, 宝来町, 東川町, 豊川町, 大手町, 栄町 旭町, 東雲町, 大森町
2. 中央部第 1	松風町, 若松町, 千歳町, 新川町, 上新川町, 海岸町, 大縄町 松川町, 万代町, 中島町, 千代台町, 堀川町, 高盛町 宇賀浦町, 日乃出町, 的場町, 金堀町, 広野町
3. 中央部第 2	大川町, 田家町, 白鳥町, 八幡町, 宮前町, 時任町, 杉並町 本町, 梁川町, 五稜郭町, 柳町, 松陰町, 人見町, 乃木町 柏木町
4. 東央部第 1	川原町, 深堀町, 駒場町, 湯浜町, 湯川町 1～3 丁目 花園町, 日吉町 1～4 丁目
5. 東央部第 2	戸倉町, 榎本町, 上野町, 高丘町, 滝沢町, 見晴町, 鈴蘭丘町 上湯川町, 銅山町, 旭岡町, 西旭岡町 1～3 丁目, 鱒川町 寅沢町, 三森町, 紅葉山町, 庵原町, 亀尾町, 米原町, 東畑町 鉄山町, 蛾眉野町, 根崎町, 高松町, 志海苔町, 瀬戸川町 赤坂町, 銭亀町, 中野町, 新湊町, 石倉町, 古川町, 豊原町 石崎町, 鶴野町, 白石町
6. 北東部第 1	富岡町 1～3 丁目, 中道 1～2 丁目, 鍛冶 1～2 丁目
7. 北東部第 2	美原 1～5 丁目, 赤川 1 丁目, 赤川町, 亀田中野町 北美原 1～3 丁目, 石川町, 昭和 1～4 丁目
8. 北東部第 3	山の手 1～3 丁目, 本通 1～4 丁目, 陣川 1～2 丁目, 陣川町 神山 1～3 丁目, 神山町, 東山 1～3 丁目, 東山町 亀田大森町, 水元町
9. 北 部	浅野町, 吉川町, 北浜町, 港町 1～3 丁目, 追分町 桔梗 1～5 丁目, 桔梗町, 亀田町, 西桔梗町, 昭和町 亀田本町, 亀田港町
10. 東 部	小安町, 小安山町, 釜谷町, 汐首町, 瀬田来町, 弁才町, 泊町 館町, 浜町, 新二見町, 原木町, 丸山町, 日浦町, 吉畑町 豊浦町, 大潤町, 中浜町, 女那川町, 川上町, 日和山町 高岱町, 日ノ浜町, 古武井町, 恵山町, 柏野町, 御崎町 恵山岬町, 元村町, 富浦町, 島泊町, 新恵山町, 絵紙山町 新八幡町, 新浜町, 銚子町, 古部町, 木直町, 尾札部町 川汲町, 安浦町, 白尻町, 豊崎町, 大船町, 双見町, 岩戸町

Q7 これまでに、以下の病気やけがで通院や入院をしたことはありますか。通院・入院したことのある病気に○をつけてください。(○はいくつでも)

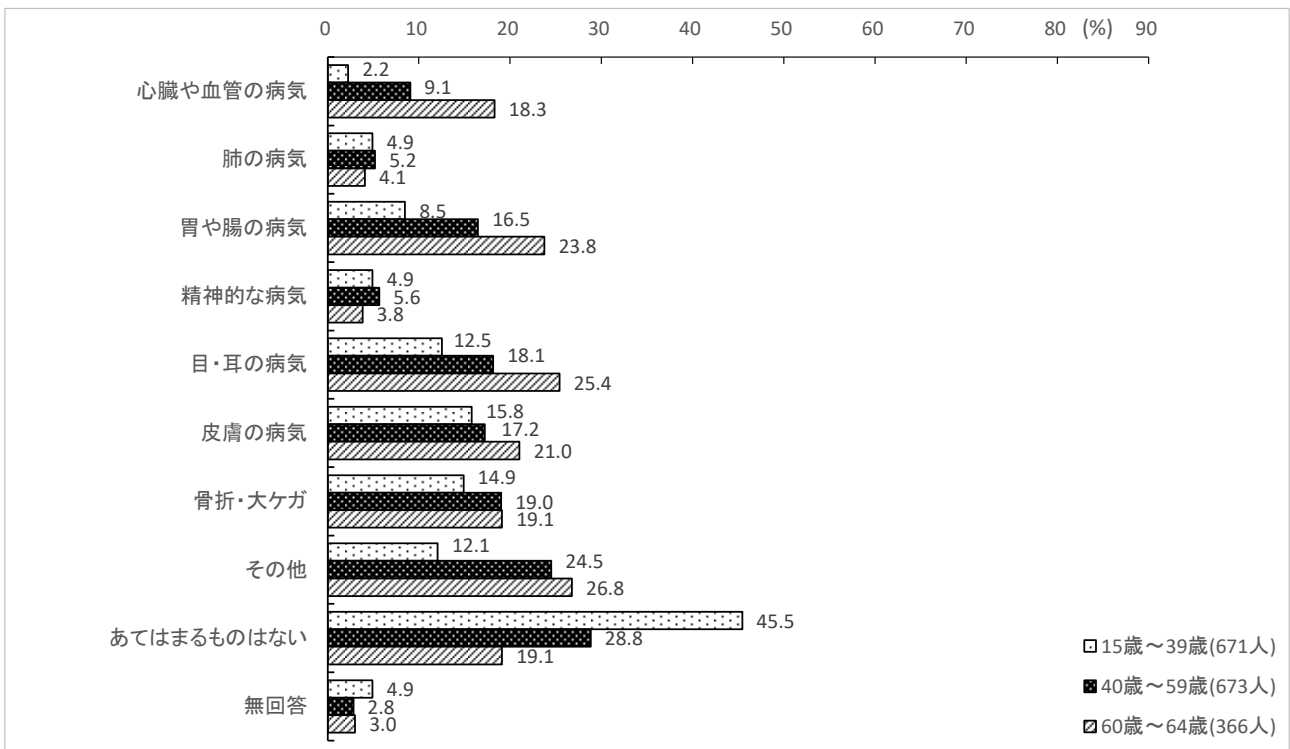
広義のひきこもり群



親和群



一般群

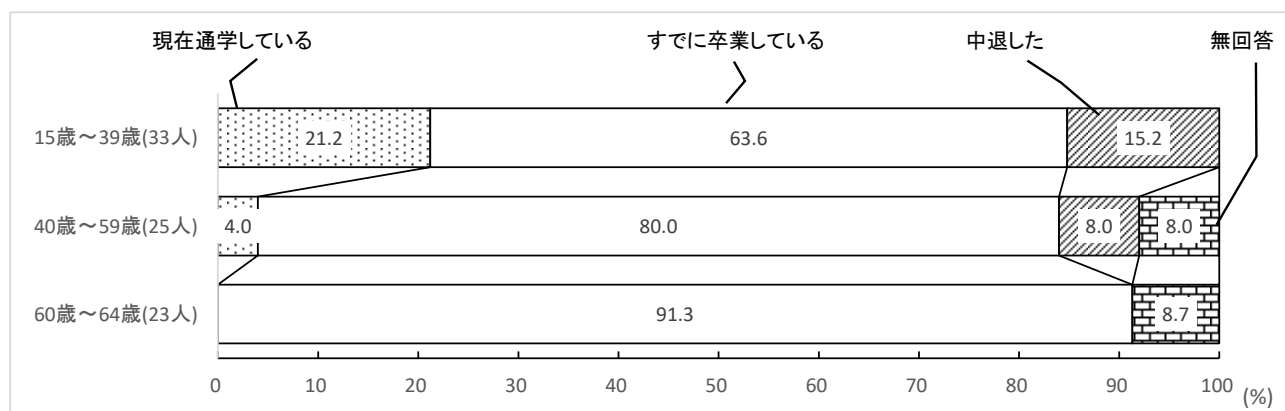


病気やけがについては広義のひきこもり群で40歳～59歳の精神的な病気が最も多かった(40.0%)。

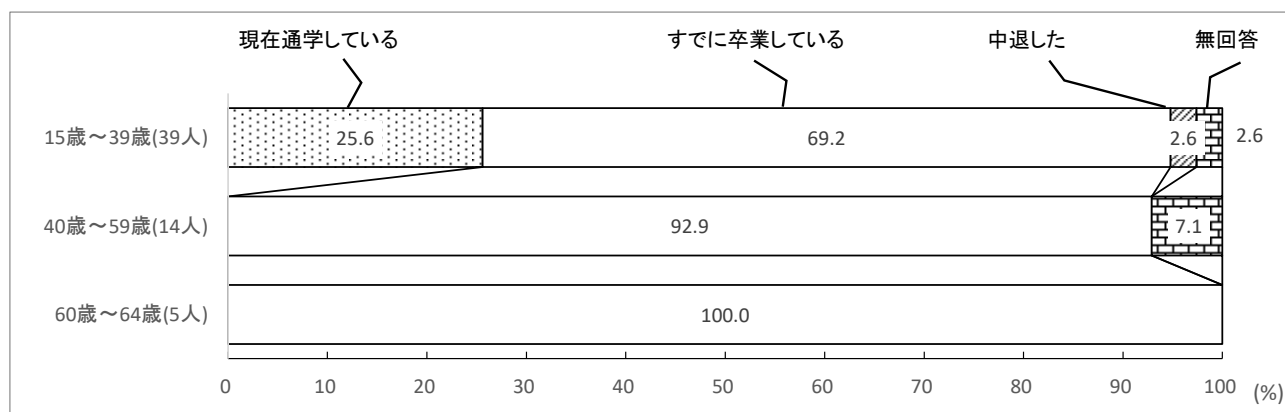
(2) 学校生活に関すること

Q8 あなたは現在、学校に通っていますか。(〇はひとつだけ)

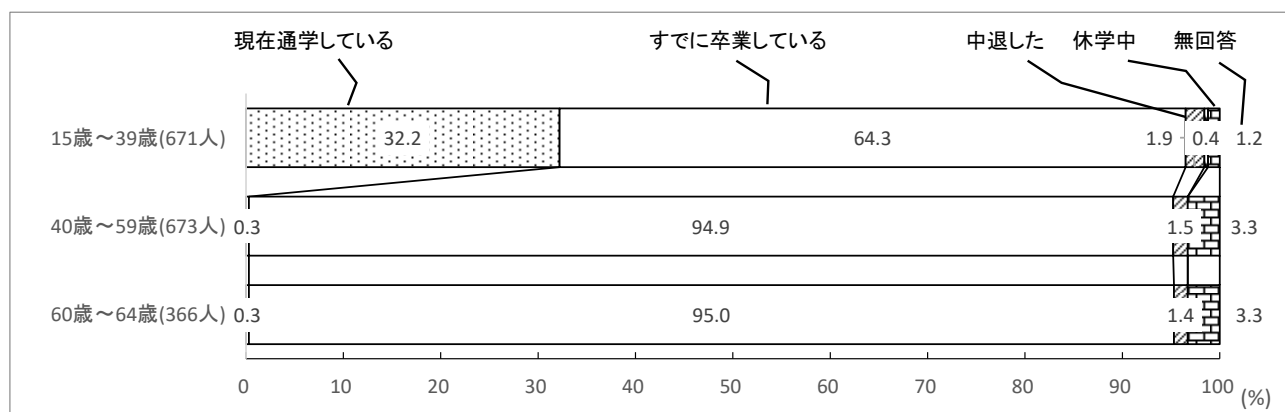
広義のひきこもり群



親和群



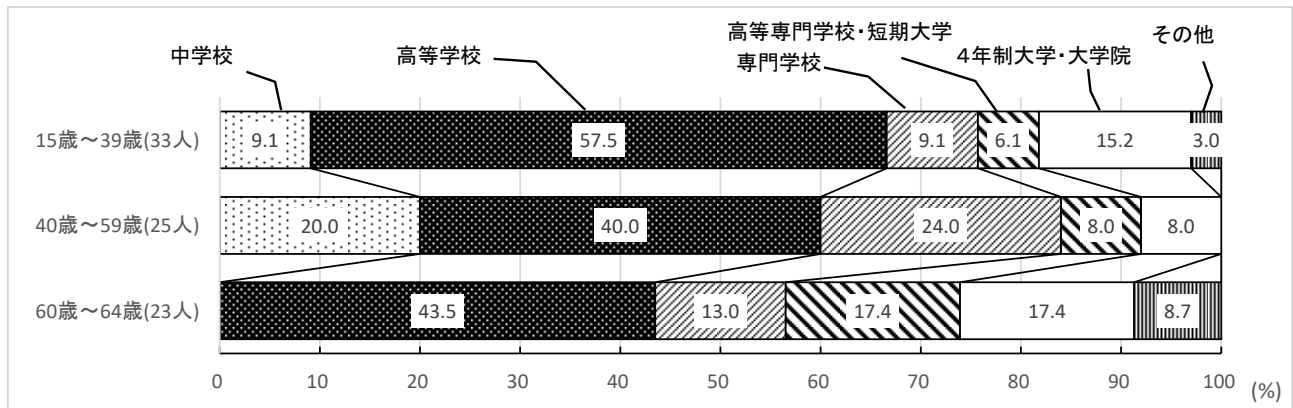
一般群



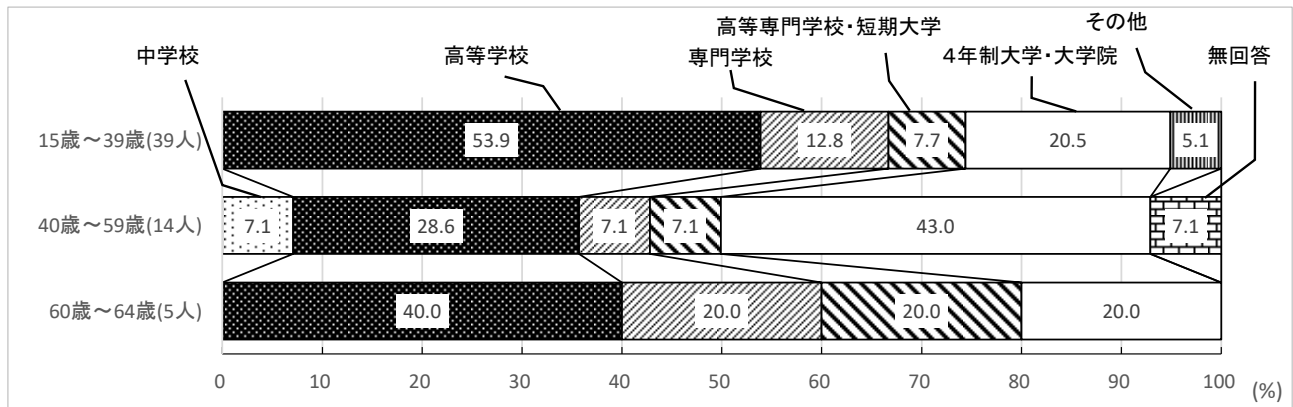
広義のひきこもり群の中で、15歳～39歳の「中退した」がほかのグループと比べて多かった(広義のひきこもり群 15.2%, 親和群 2.6%, 一般群 1.9%)。

**Q9 あなたが最後に卒業した(中退を含む), または, 現在, 在学(休学中を含む)している学校は
どれですか。(〇はひとつだけ)**

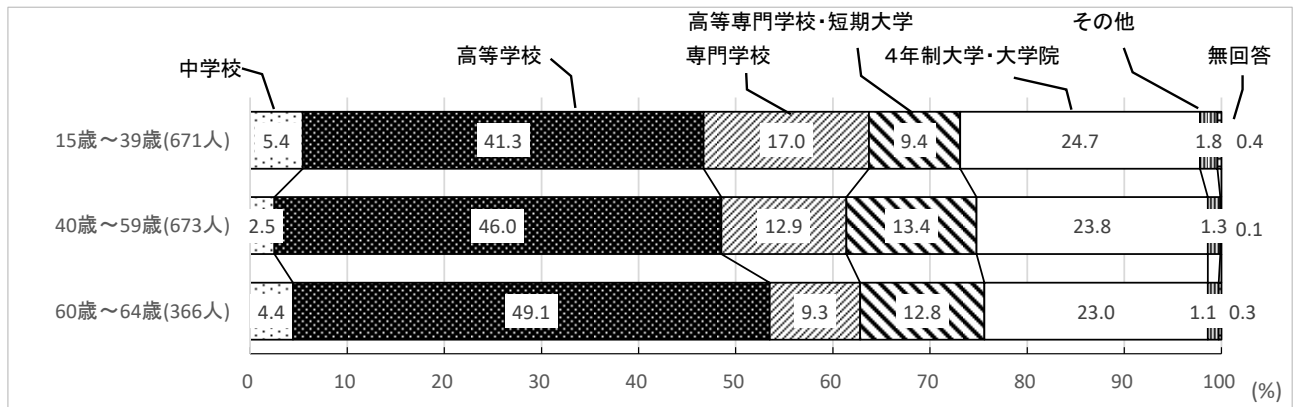
広義のひきこもり群



親和群



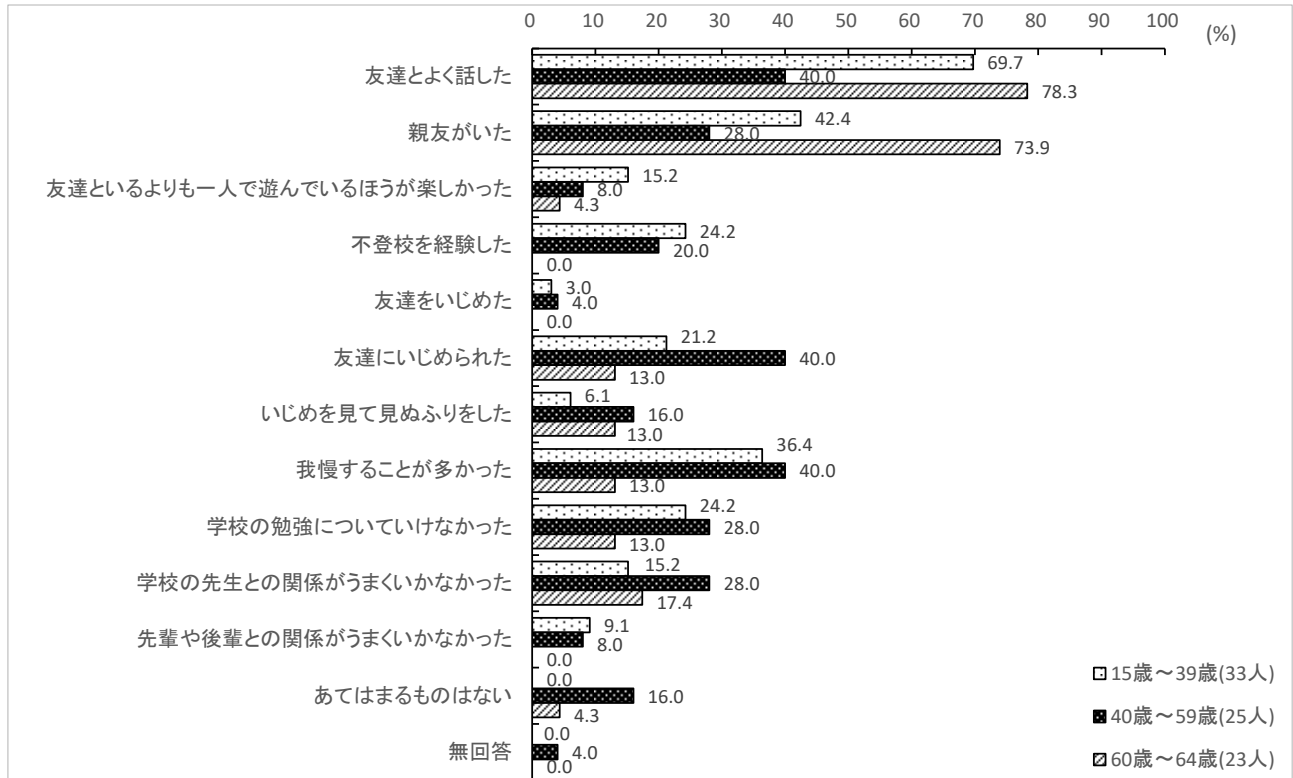
一般群



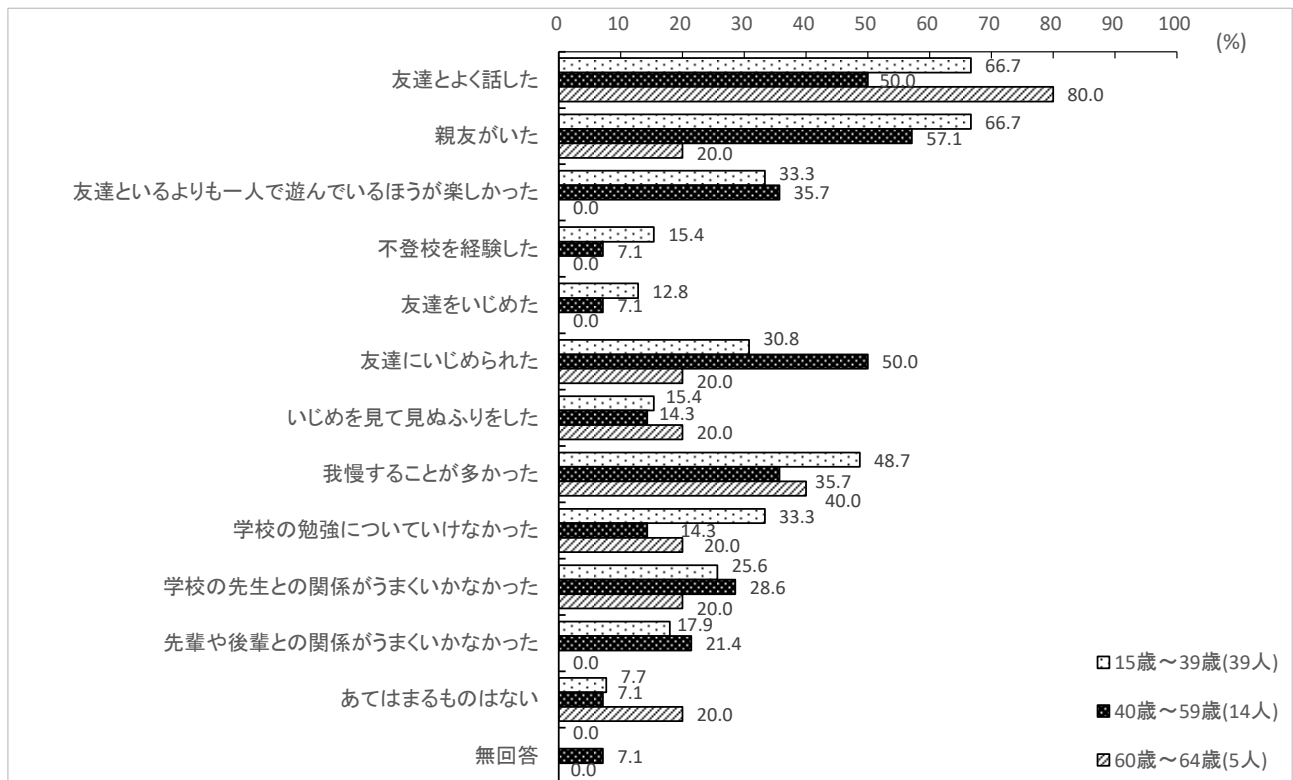
親和群 40 歳～59 歳以外は, 全てのグループで「高等学校」の割合が多かった。広義のひきこもり群は一般群と比べて「4 年制大学・大学院」が少ない傾向となった。

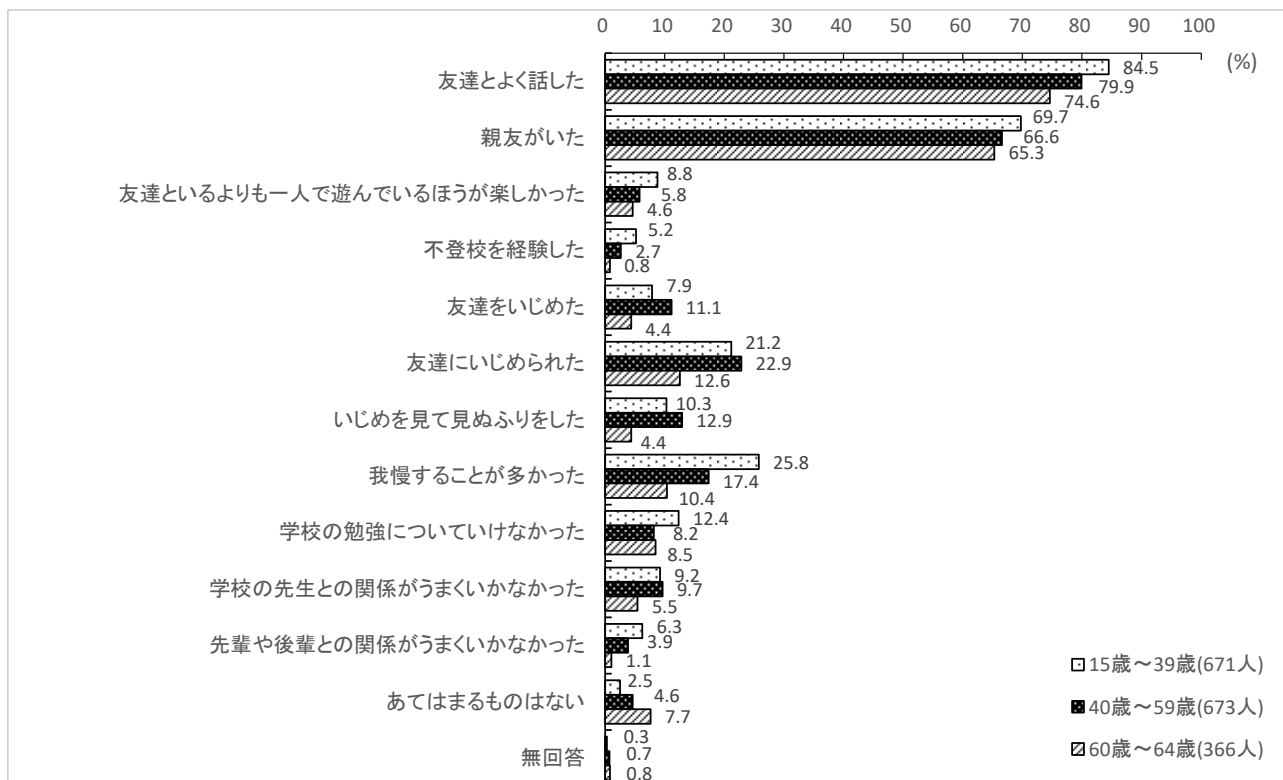
**Q10 あなたは、小学校や中学校の頃に学校で次のようなことを経験したことがありますか。
あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)**

広義のひきこもり群



親和群

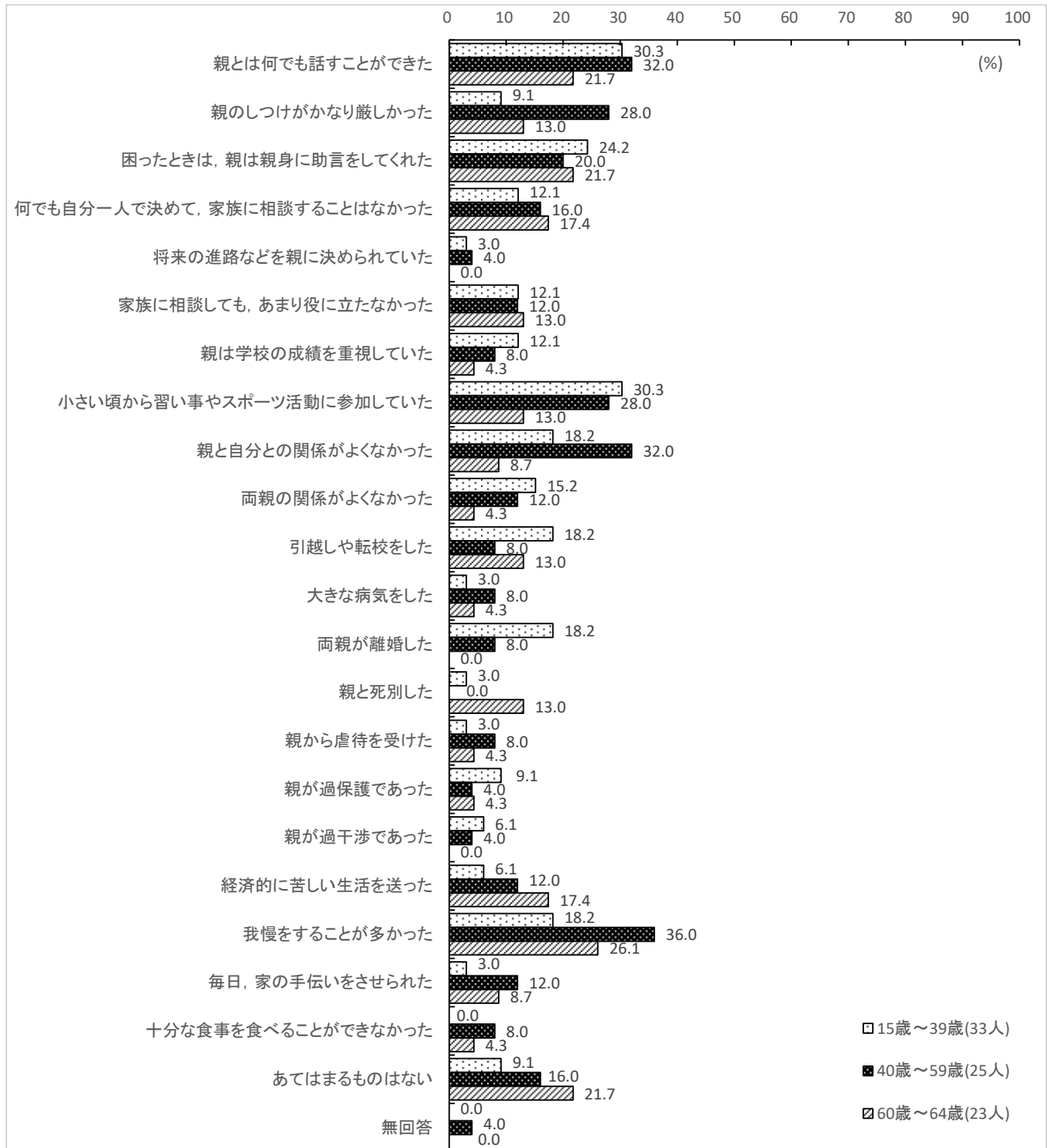




すべてのグループの年代を通して「友達とよく話した」「親友がいた」が一番多かったものの、一方で「我慢することが多かった」「友達にいじめられた」なども多かった。「友達にいじめられた」に関しては広義のひきこもり群の40歳～59歳(40.0%)、親和群の40歳～59歳(50.0%)で多くなっている。

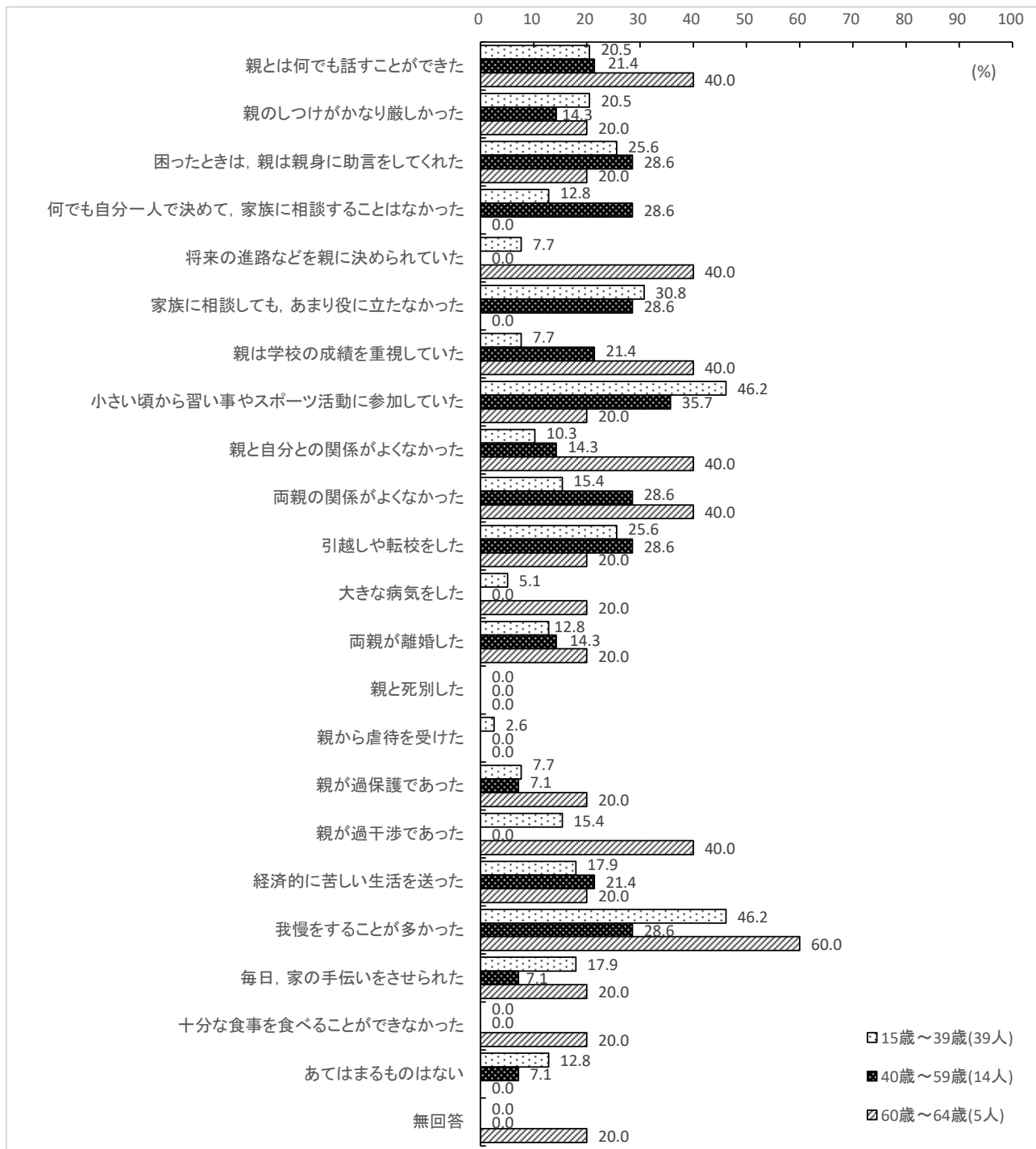
**Q11 あなたは、小学校や中学校の頃に、家庭で次のようなことを経験したことがありますか。
あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)**

広義のひきこもり群

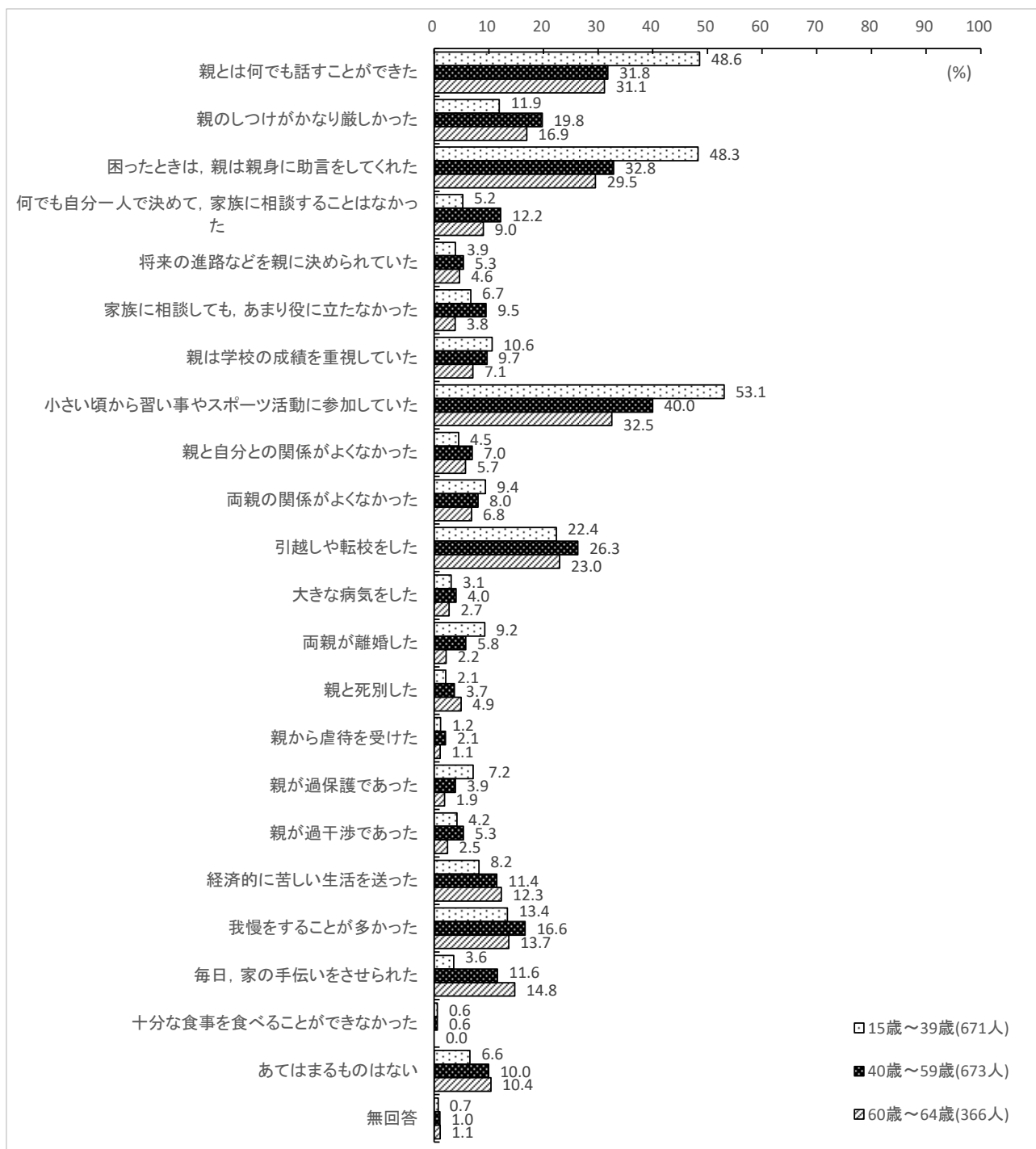


回答が多かったのは、40歳～59歳の「我慢をすることが多かった」36.0%、「親と自分との関係が良くなかった」32.0%、「親とはなんでも話すことができた」32.0%などとなっている。

親和群



回答が多かったのは、60歳～64歳の「我慢することが多かった」60.0%、15歳～39歳の「小さい頃から習い事やスポーツ活動に参加していた」46.2%、同じく15歳～39歳の「我慢することが多かった」46.2%などとなっている。

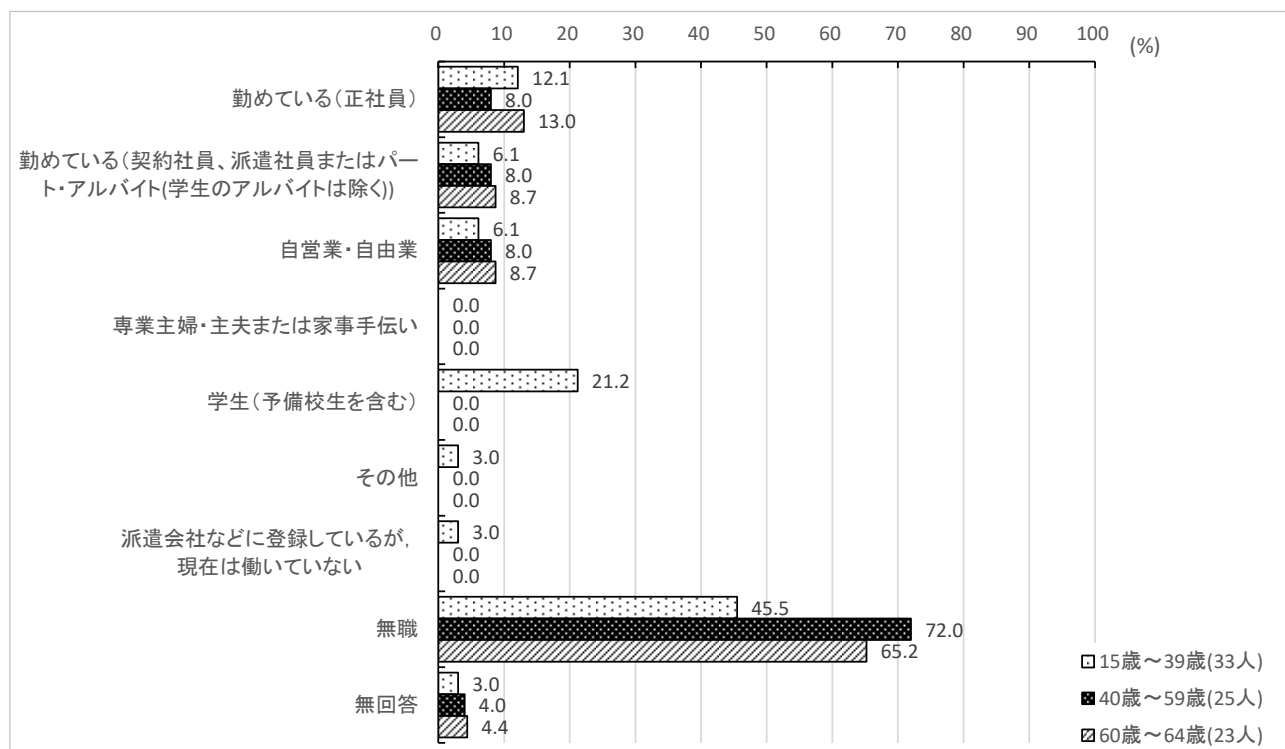


回答は、15歳～39歳の「小さい頃から習い事やスポーツ活動に参加していた」53.1%、「親とは何でも話すことができた」48.6%、「困ったときは親は親身に助言をしてくれた」48.3%などが多くなっている。

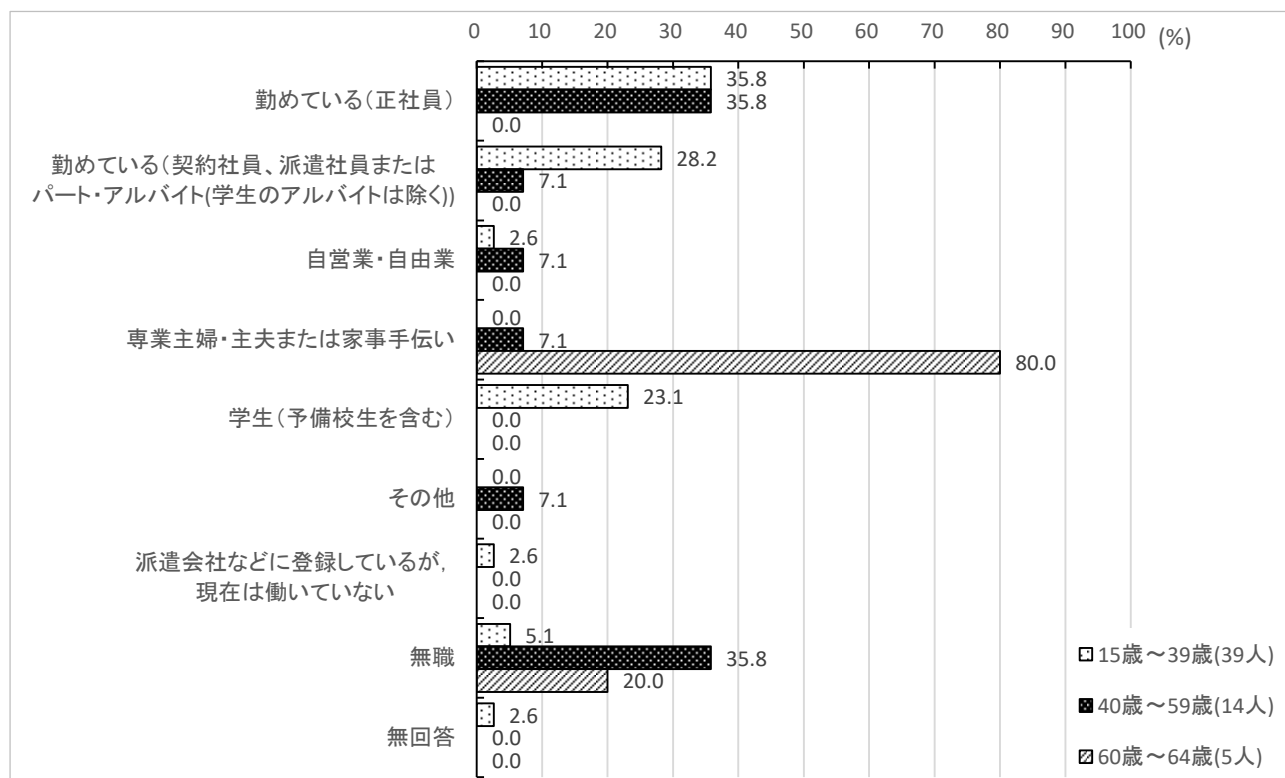
(3) 就労等に関すること

Q12 あなたの現在の就労・就学等の状況についてお答えください。(○はひとつだけ)

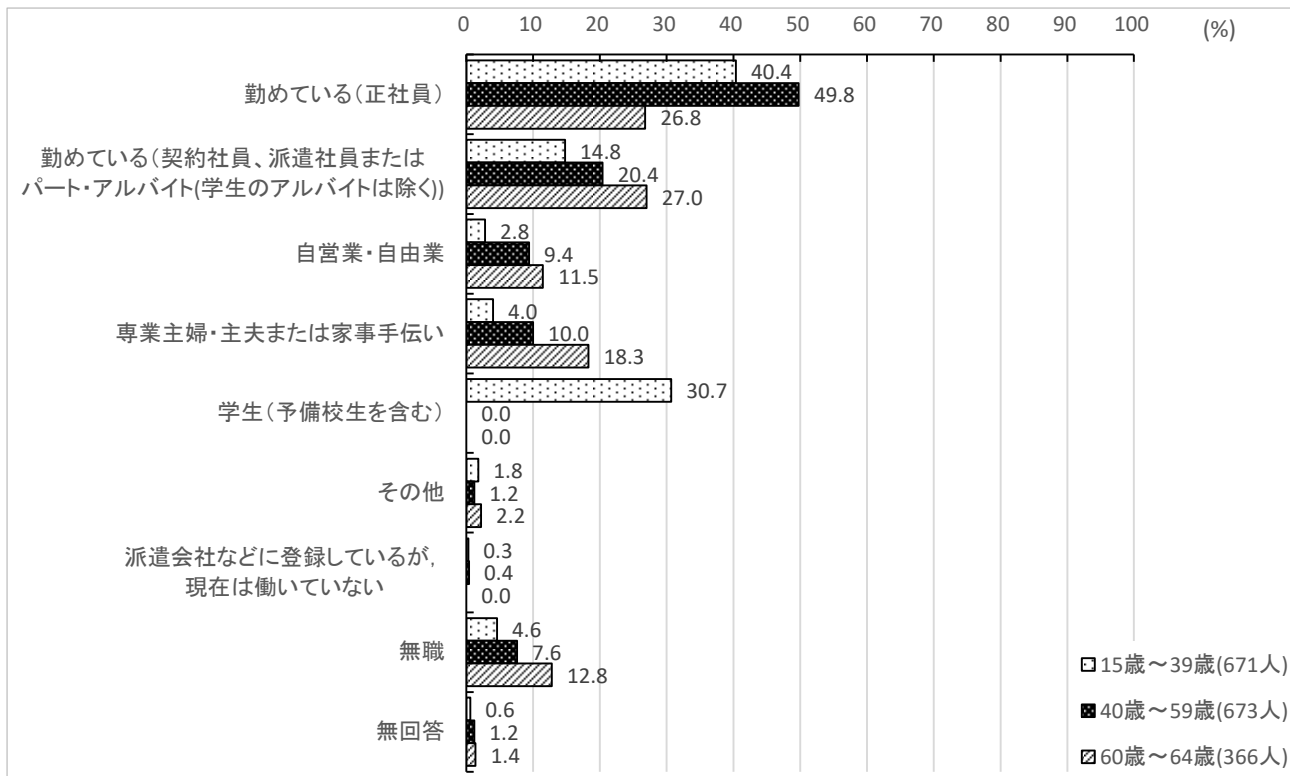
広義のひきこもり群



親和群



一般群

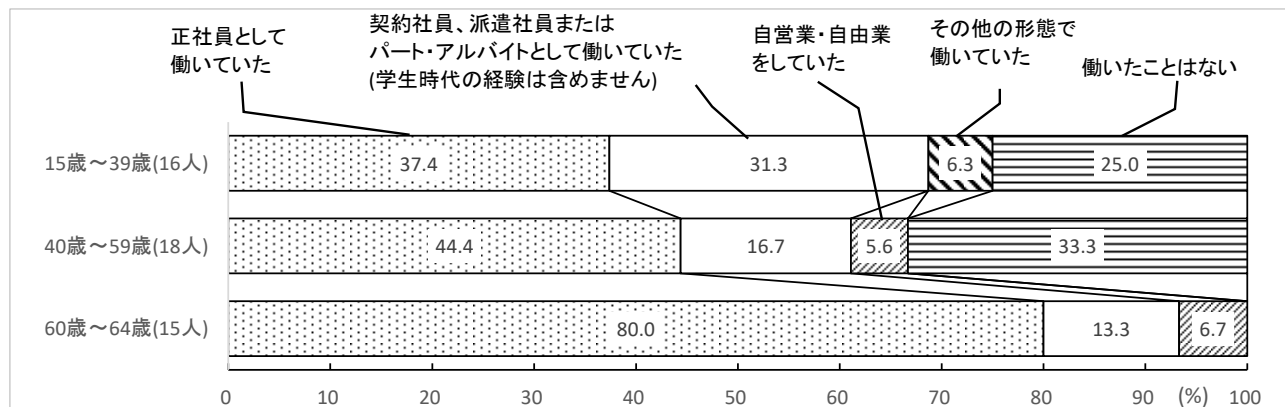


広義のひきこもり群は「無職」の人が多いが、勤めている人もいる。

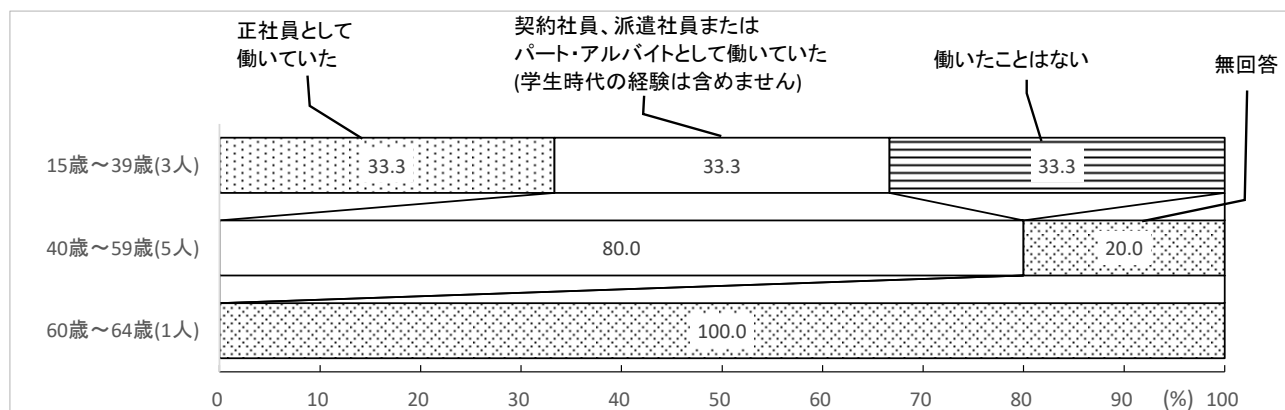
※Q13～15は、Q12で「派遣会社などに登録しているが、現在は働いていない」または「無職」の回答者のみ対象

Q13 あなたは今までに働いたことはありますか。(○はひとつだけ)

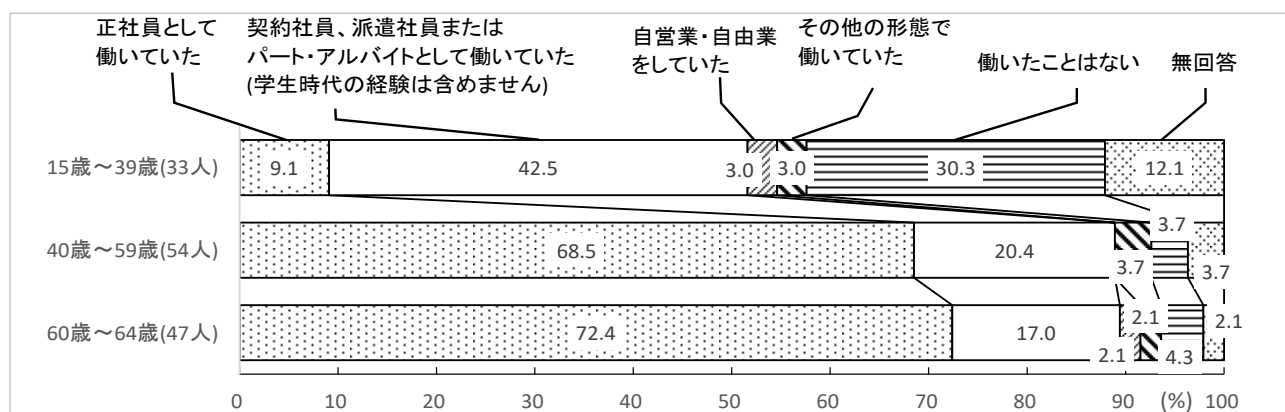
広義のひきこもり群



親和群



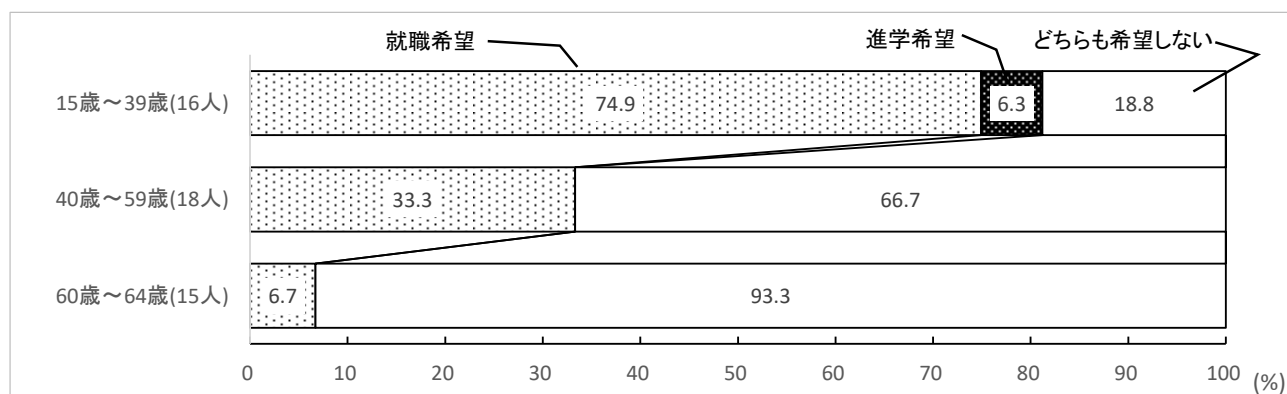
一般群



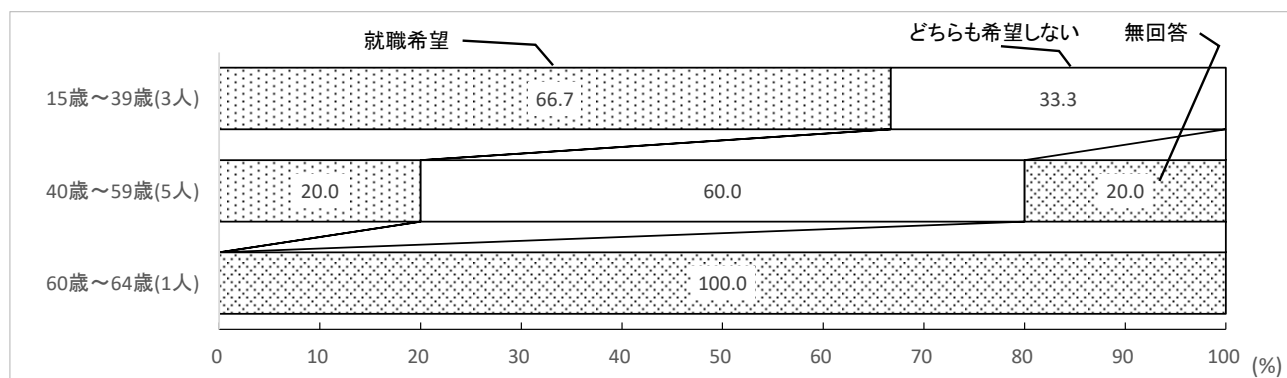
「働いたことはない」と回答した者は、広義のひきこもり群の40歳～59歳(33.3%)は他の群と比べて多い。

Q14 現在、就職または進学を希望していますか。(〇はひとつだけ)

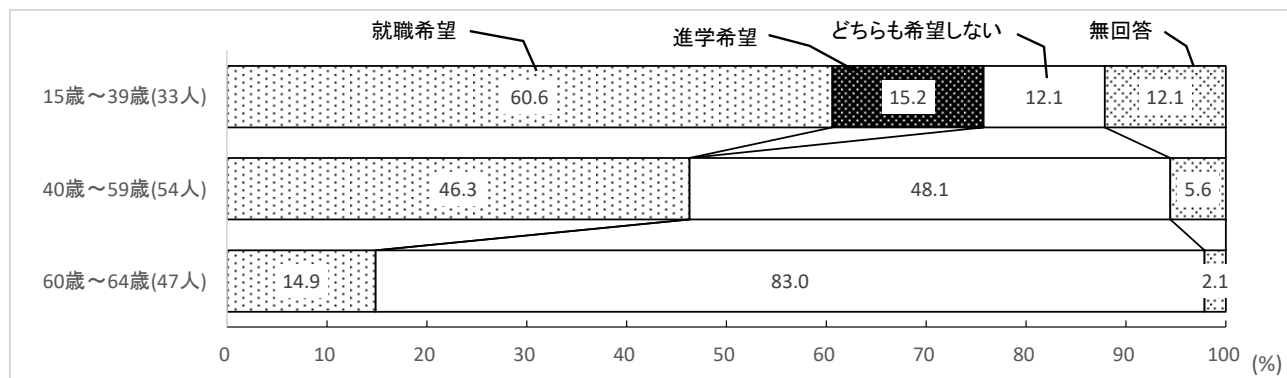
広義のひきこもり群



親和群



一般群

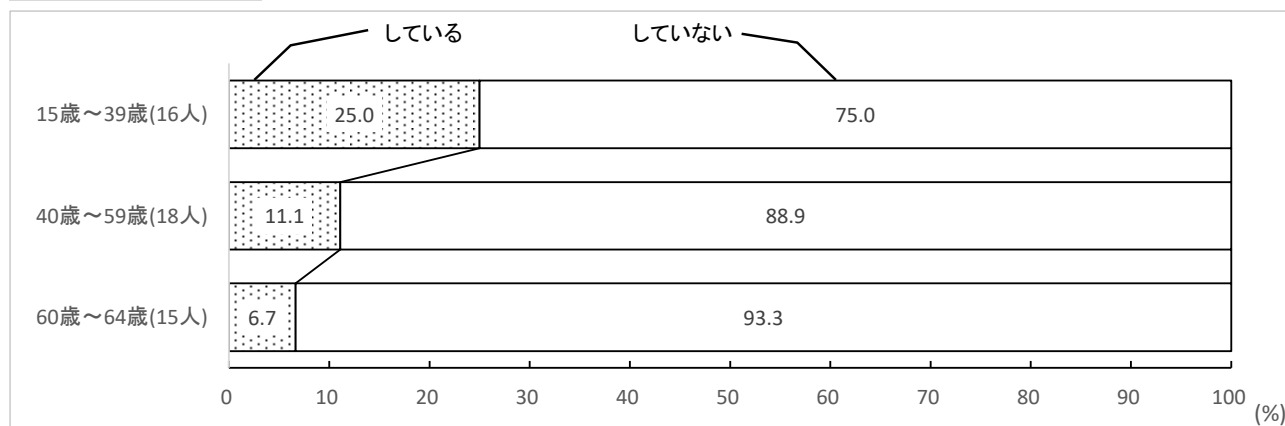


広義のひきこもり群の「就職希望」は、15歳～39歳(74.9%)、40歳～59歳(33.3%)、60歳～64歳(6.7%)と、高齢になるにつれて減少傾向が見られる。

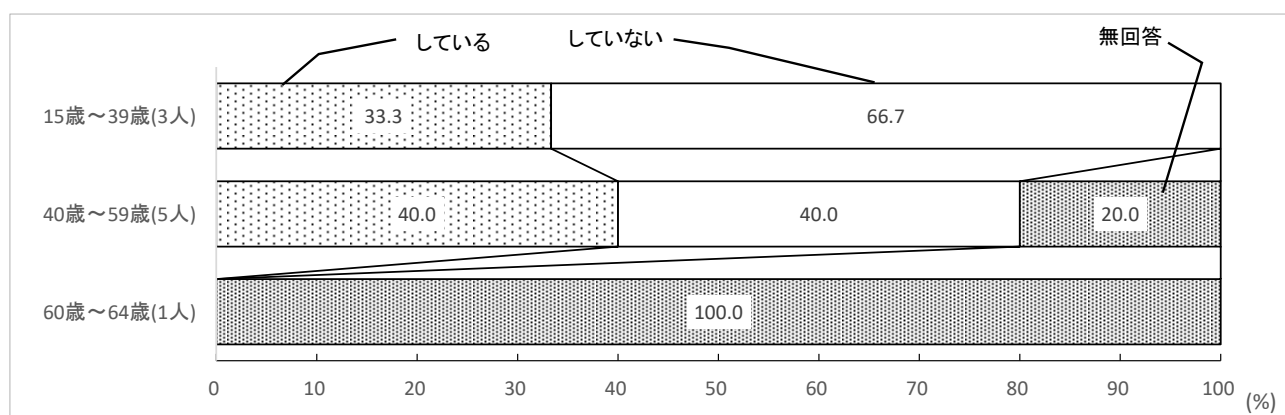
また、広義のひきこもり群15歳～39歳の「進学希望」は6.3%で、一般群15歳～39歳が15.2%であるのに対して少ない傾向となっている。

Q15 現在, 就職活動をしていますか。(○はひとつだけ)

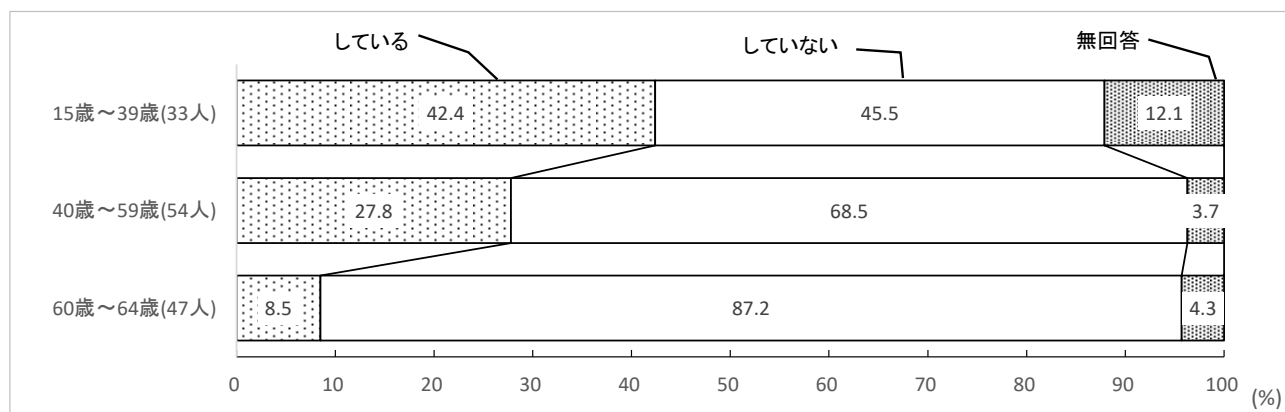
広義のひきこもり群



親和群



一般群

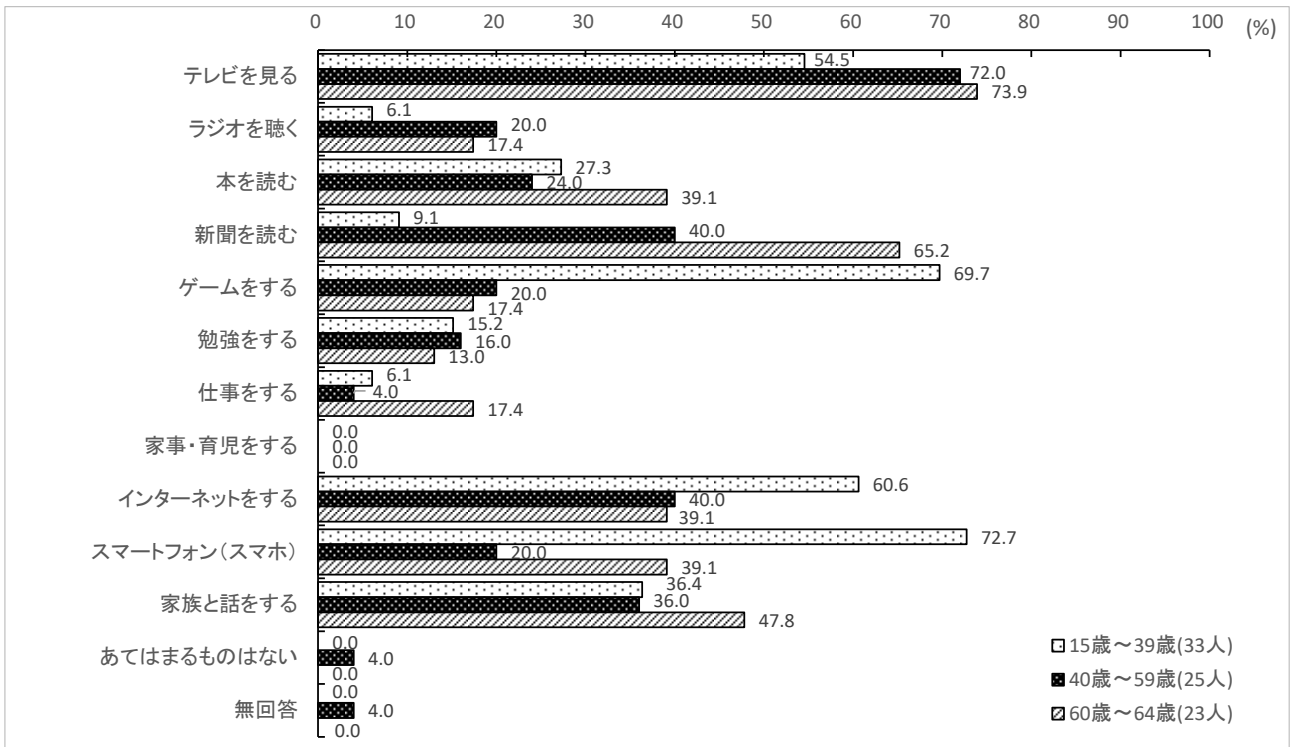


広義のひきこもり群のうち, 15歳～39歳では25.0%が就職活動を「している」と回答している。

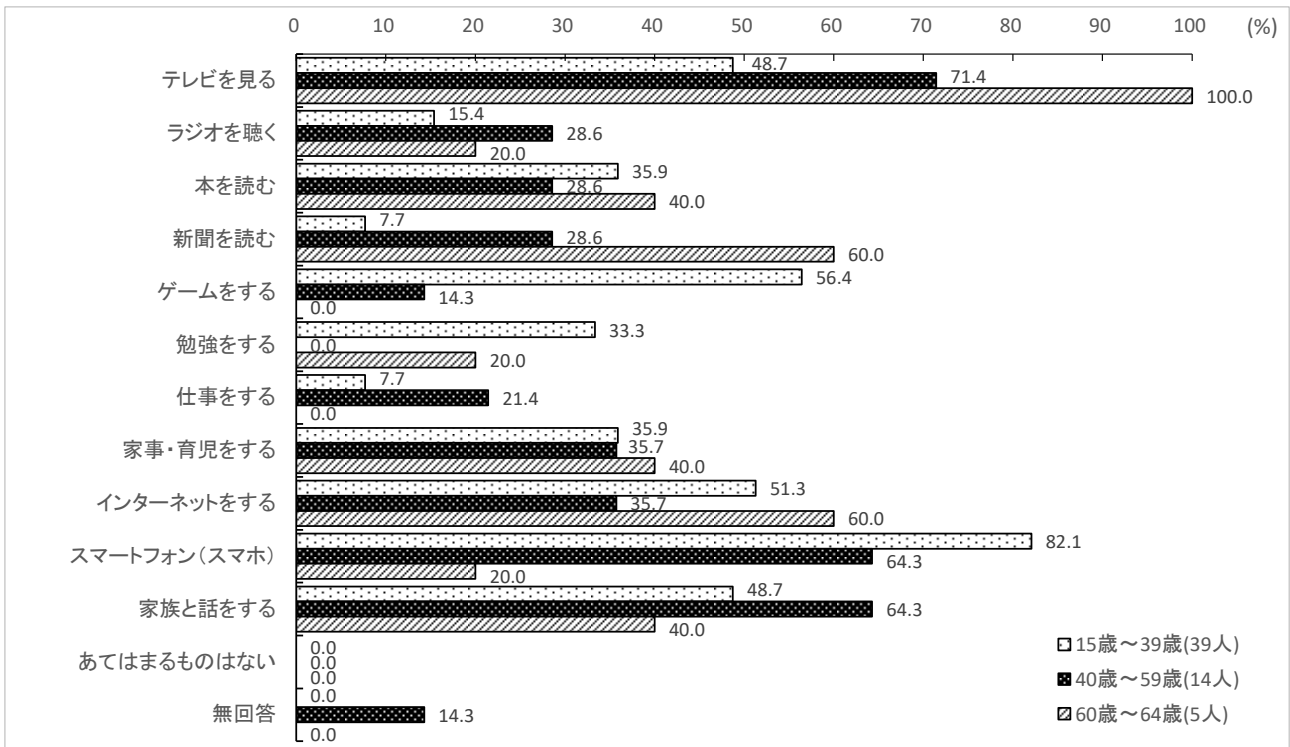
(4) ふだんの活動に関すること

Q16 ふだんご自宅にいるときに、よくしていることすべてに○をつけてください。

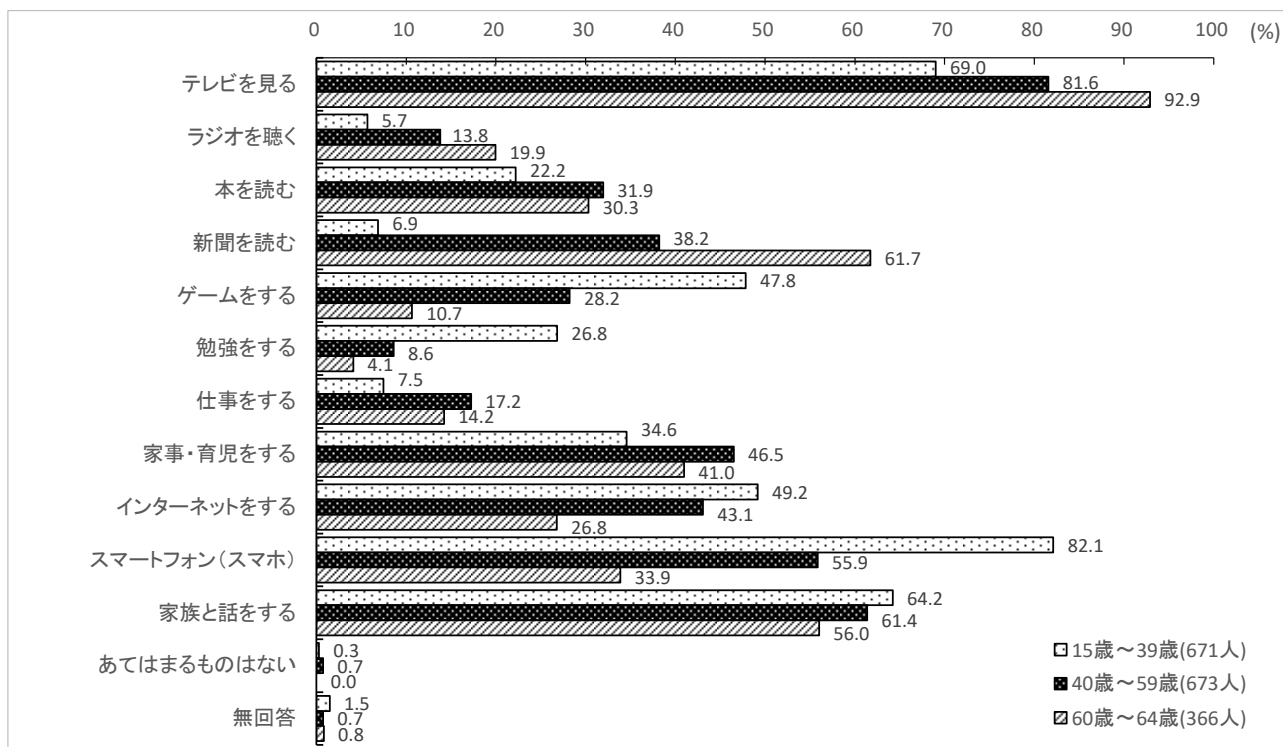
広義のひきこもり群



親和群



一般群



全体を通して「テレビを見る」が多かった。

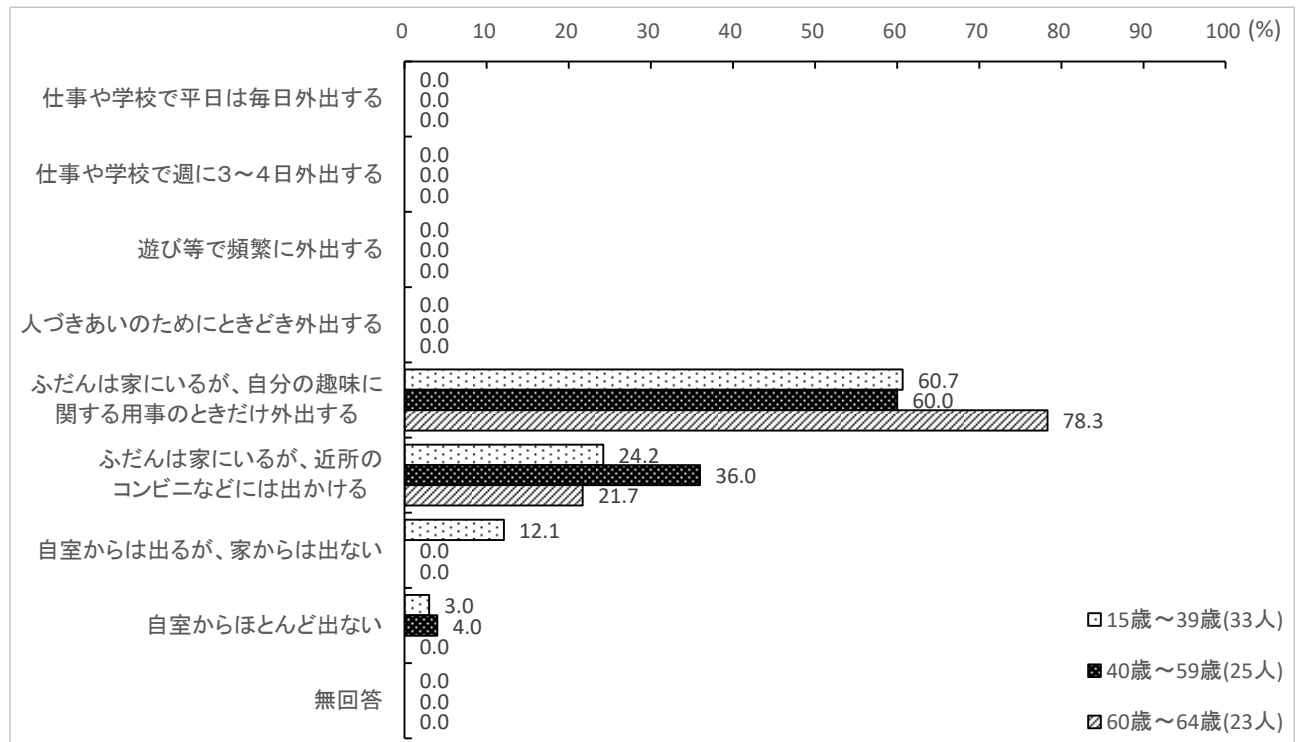
「スマートフォン(スマホ)」については、15歳～39歳の全グループで多かったほか、60歳～64歳では広義のひきこもり群で39.1%と比較的多かった。

(5) ひきこもりの状態に関すること

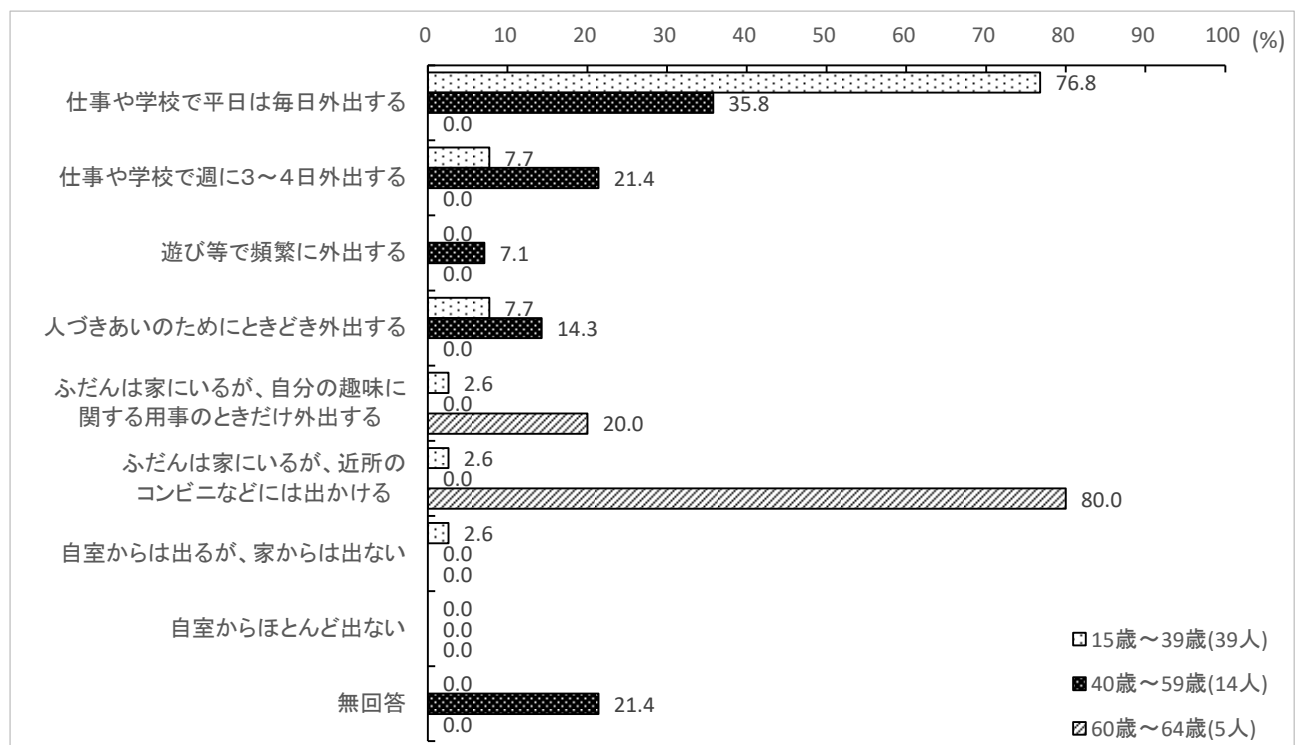
Q17 ふだんどのくらい外出しますか。(〇はひとつだけ)

※Q17 の設問は、広義のひきこもり群を判定するために使用。

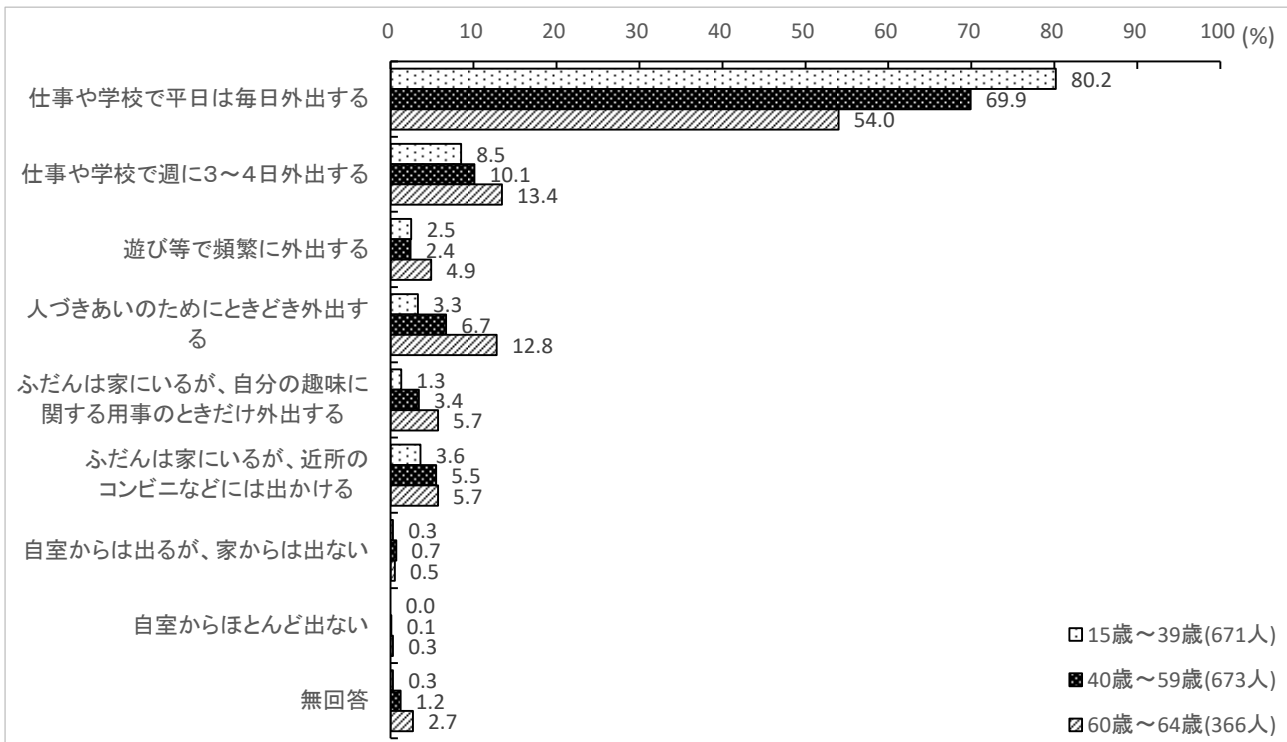
広義のひきこもり群



親和群



一般群

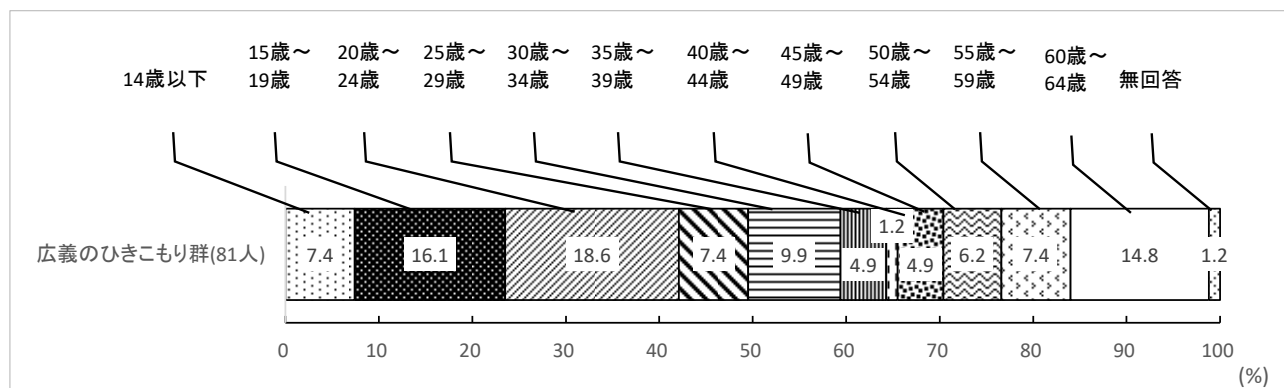


※Q18～Q23は、Q17において外出頻度が低かった回答者(「ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事のと看だけ外出する」,「ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」,「自室からは出るが、家からは出ない」または「自室からほとんど出ない」の選択者)のみが対象。

※本報告書では、その中でも広義のひきこもり群に該当する者の結果について記載する。

Q18 現在の状態になったのは、あなたが何歳の頃ですか。(数字で具体的に)

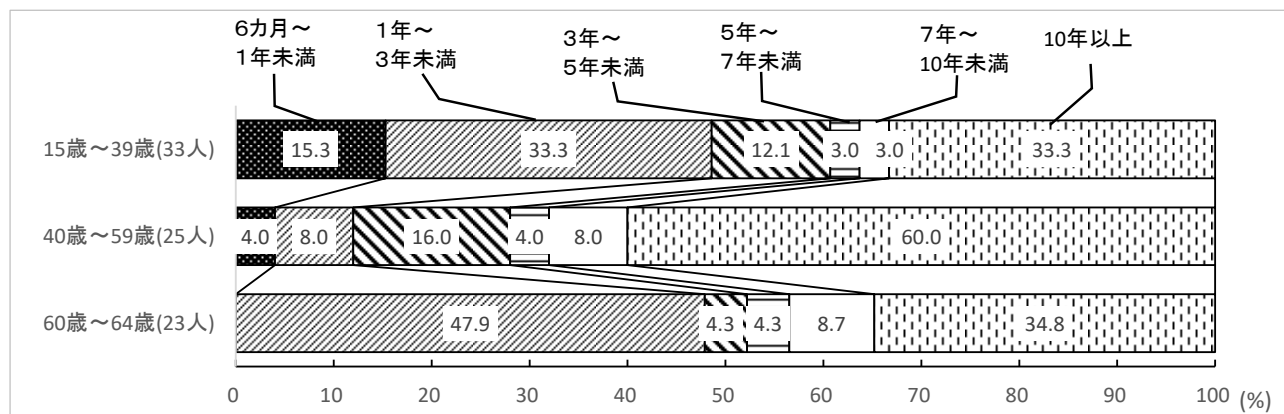
広義のひきこもり群



20歳～24歳が18.6%で最も多く、次いで15歳～19歳が16.1%となっている。

Q19 現在の状態となってどのくらい経ちますか。(○はひとつだけ)

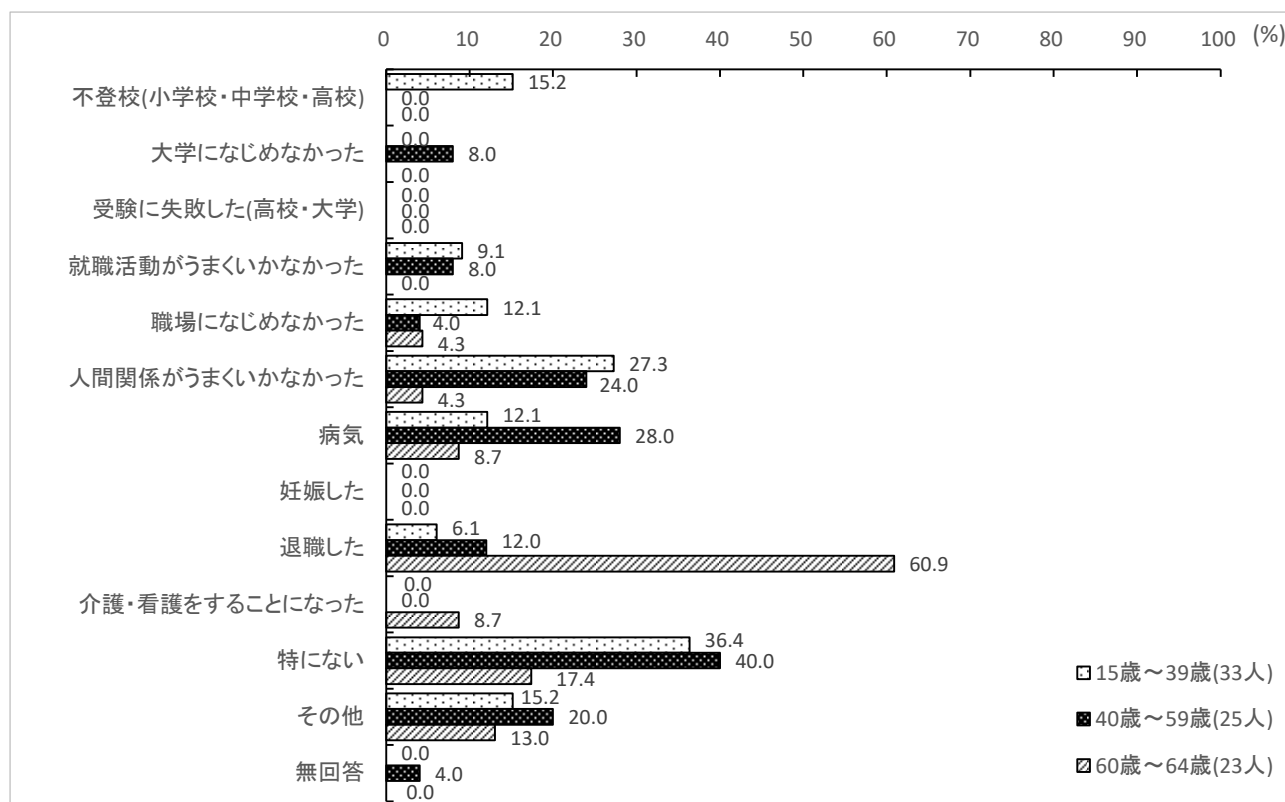
広義のひきこもり群



10年以上は15歳～39歳(33.3%), 40歳～59歳(60.0%), 60歳～64歳(34.8%)となっており、40歳～59歳の間でひきこもりの長期化傾向が見られる。

Q20 現在の状態になったきっかけは何だと思ってますか。(〇はいくつでも)

広義のひきこもり群

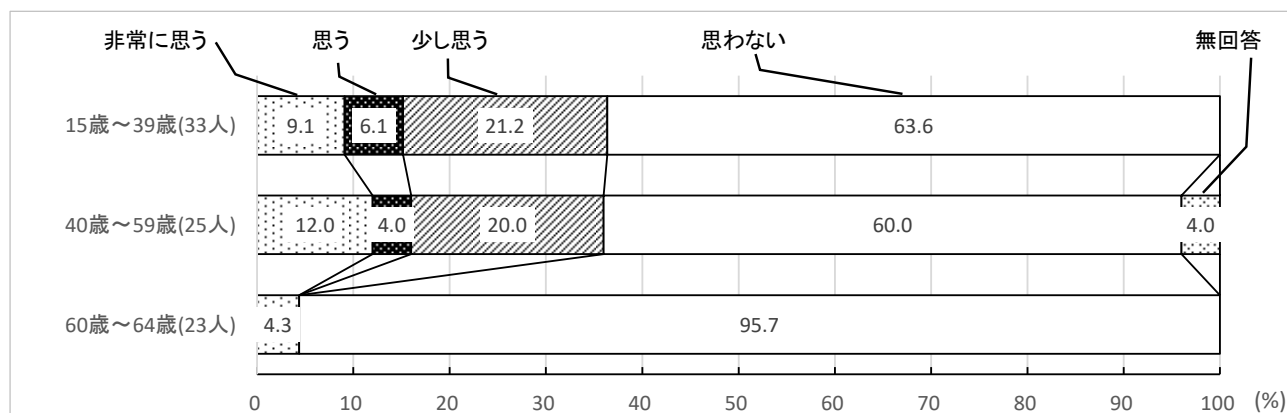


ひきこもりになったきっかけは、15歳～39歳では「人間関係がうまくいかなかった」「不登校」などの回答が多く、40歳～59歳では「病気」「人間関係がうまくいかなかったこと」と答えた者が多く、また、60歳～64歳では「退職した」が6割を超えた。

(6) 相談機関に関すること

Q21 現在の状態について、関係機関に相談したいと思いますか。(○はひとつだけ)

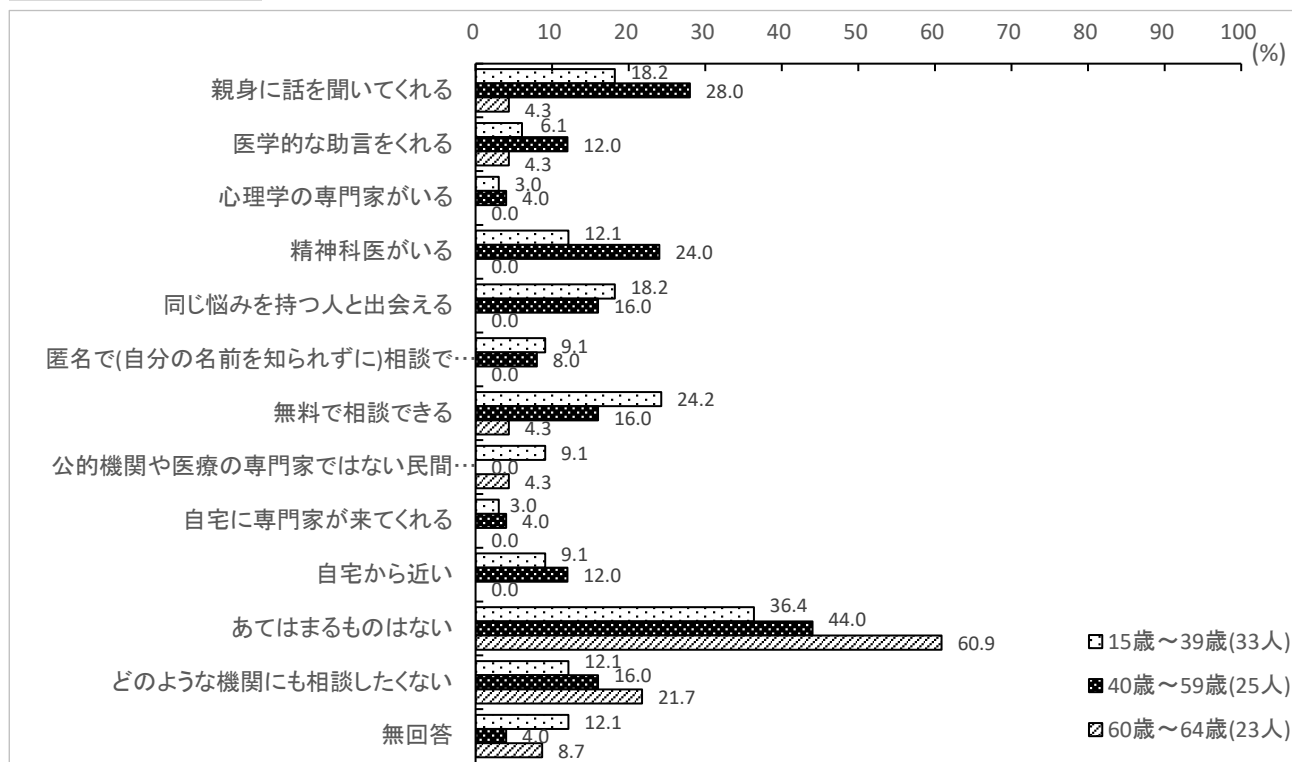
広義のひきこもり群



15歳～39歳の「非常に思う」「思う」「少し思う」までの合計で36.4%となっており、「思わない」が63.6%となっている。60歳～64歳の「思わない」が95.7%と非常に多くなっている。

Q22 現在の状態について、どのような機関なら、相談したいと思いますか。(○はいくつでも)

広義のひきこもり群

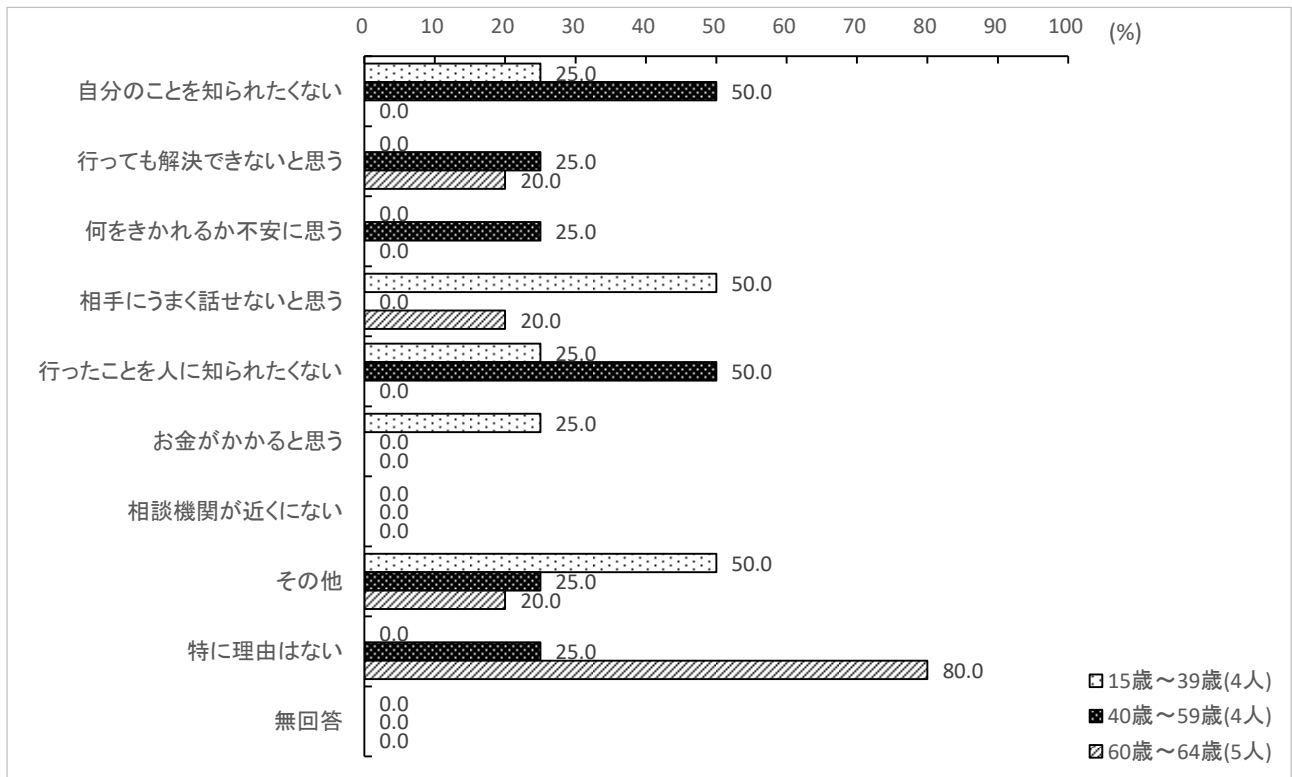


ひきこもりについて、どのような機関なら相談したいかたずねたところ「親身に話を聞いてくれる」「無料で相談できる」「精神科医がいる」などの回答が多かった。

※SQ22-1 は、Q22 で「どのような相談機関にも相談したくない」の回答者のみ対象

SQ22-1 相談したくないと思う理由は何ですか。(○はいくつでも)

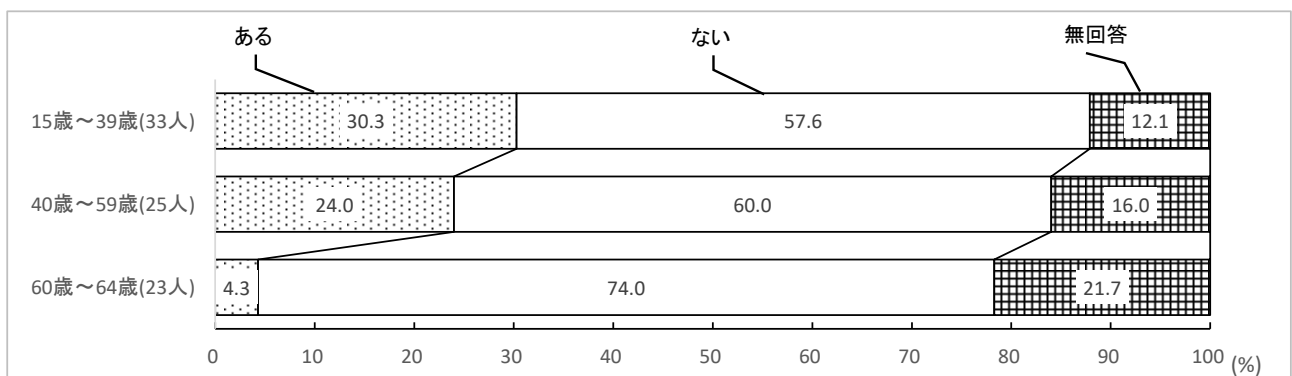
広義のひきこもり群



60歳～64歳の「特に理由はない」が80.0%と多くなっている。

Q23 現在の状況について、関係機関に相談したことはありますか。(○はひとつだけ)

広義のひきこもり群

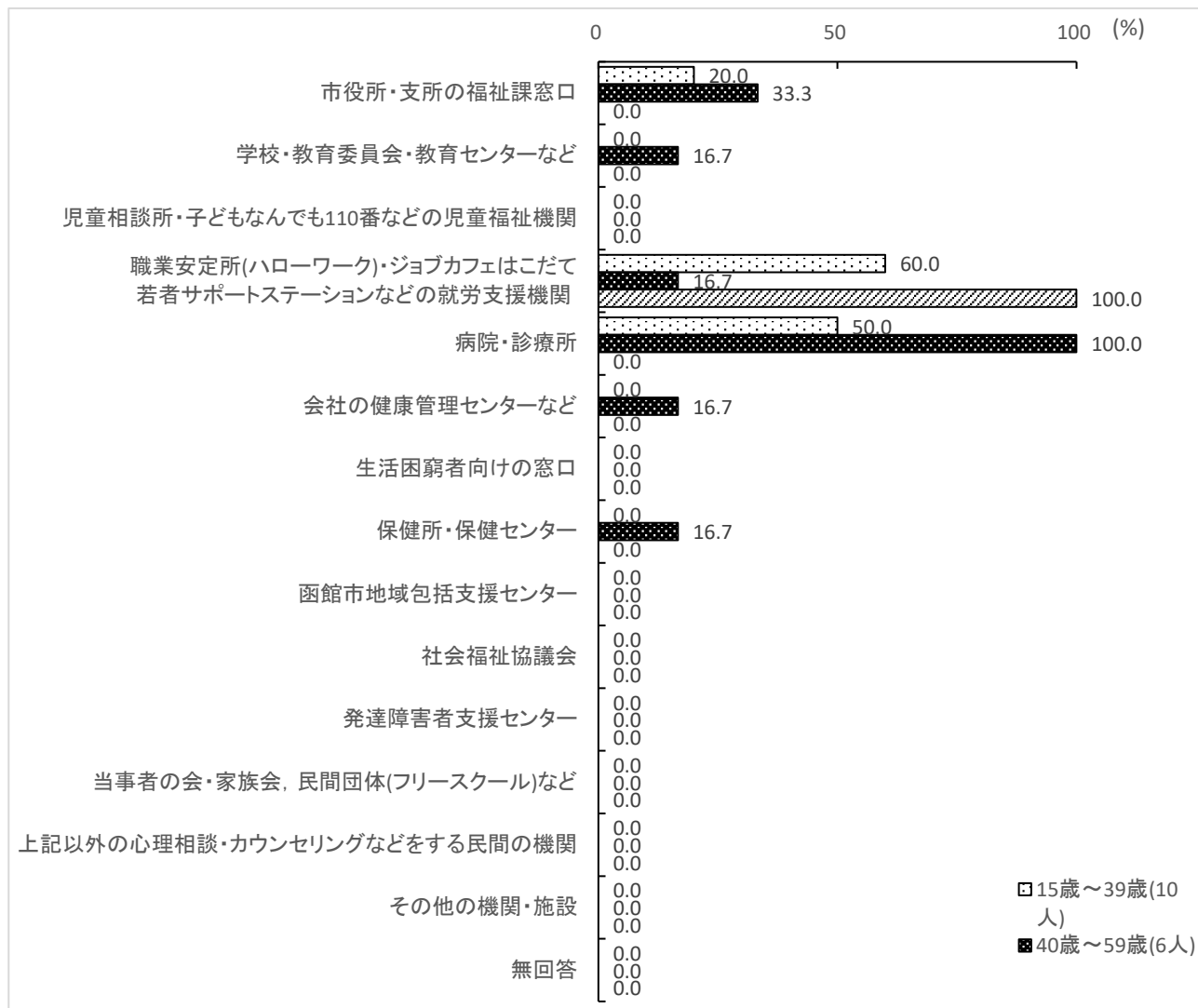


各年代ともに「ない」との回答が半数以上で、その割合は年齢が高くなるにつれ多くなっている。

※SQ23-1 および SQ23-2 は、Q23 で「ある」の回答者のみ対象

SQ23-1 どのような関係機関に相談しましたか。相談したことがある機関に○をつけてください。
(○はいくつでも)

広義のひきこもり群



相談機関については各種就労支援機関，病院・診療所が多くなっている。

SQ23-2 関係機関に相談した結果について、どのようにお考えですか。ご自由にお書きください。

主な回答について以下に抜粋した。

- ・とても親切に対応して頂きました。80年代とは隔世の感がありました。(男性 60 歳～64 歳)
- ・症状が改善しない(うつ病)。(男性 55 歳～59 歳)
- ・夫の事業失敗、借金取たて。(女性 50 歳～54 歳)
- ・勤めていた職場(介護施設)でマタニティハラスメントにあい、退職へ導くような言動を言われ続けた末に退職しました。(女性 25 歳～29 歳)
- ・同居している親の介護のことで函館市地域包括支援センターに相談してデイサービスを利用するようになりました。現在、入院中ですが退院後のケアについても相談したいと考えております。(女性 50 歳～54 歳)
- ・今は全く学校へ行きません。友達と学校へ行く約束をすると学校へ行きます。(男性 15 歳～19 歳)
- ・障がい者なので市役所や包括センターに相談します。どちらも親身に聞いてくれて助かっています。(女性 55 歳～59 歳)

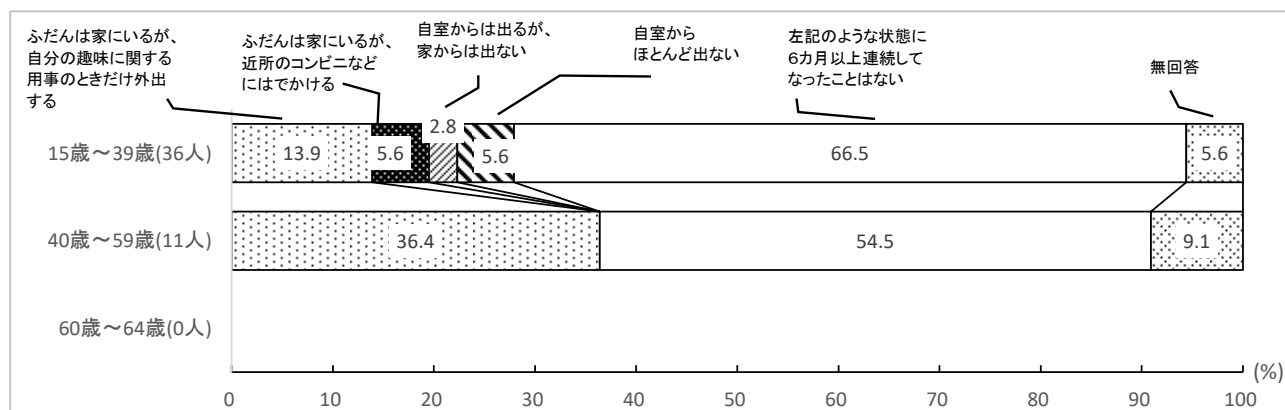
(7) ひきこもりの状態からの立ち直りに関すること

※Q24 は、Q17で「仕事や学校で平日は毎日外出する」、「仕事や学校で週に3～4日外出する」、「遊び等で頻繁に外出する」または「人づきあいのためにときどき外出する」の回答者のみ対象

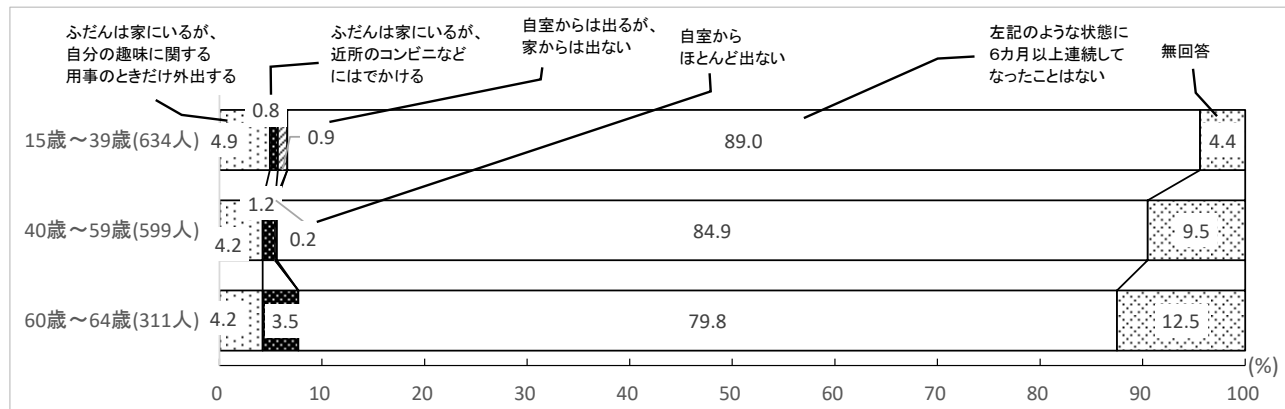
Q24 あなたは今までに、6か月以上連続して以下のような状態になったことはありますか。
(○はひとつだけ)

※Q24 の設問は、過去にひきこもり傾向があった人を把握するために使用

親和群



一般群

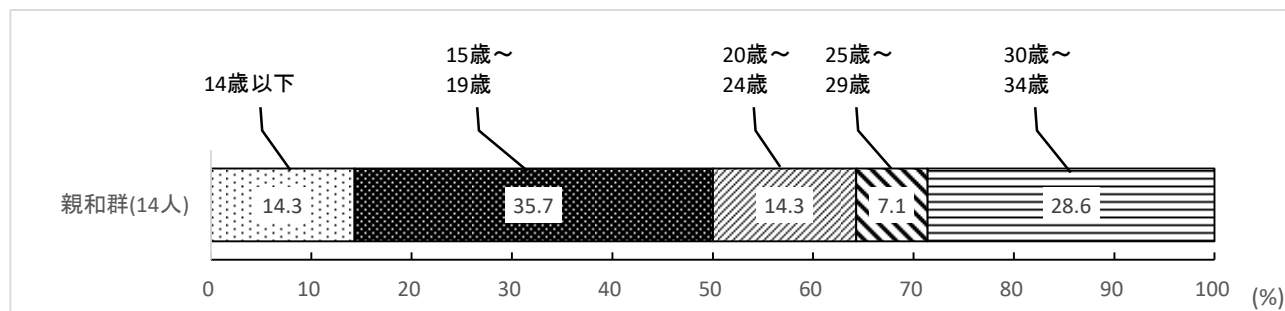


親和群では一般群に比べ、過去にひきこもり傾向にあった人の割合が多い。

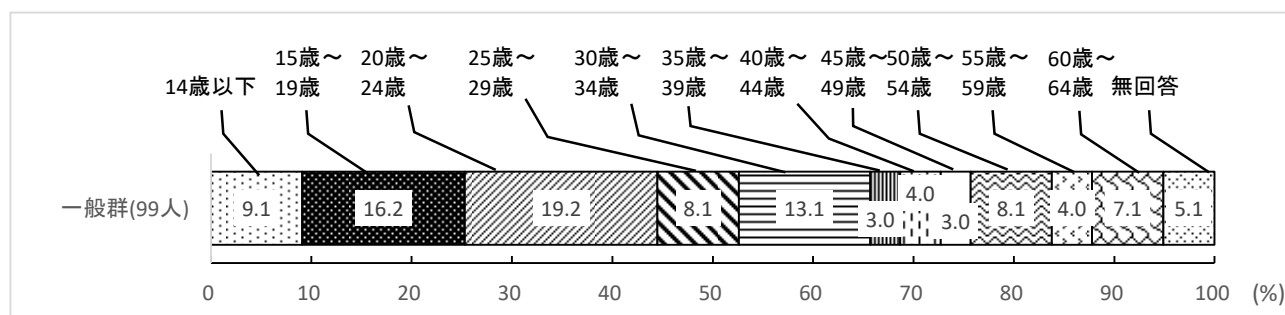
※Q25～Q27 は、Q24 で外出頻度が低かった回答者(「ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事のとだけ外出する」,「ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」,「自室からは出るが、家からは出ない」または「自室からほとんど出ない」の選択者)のみ対象

Q25 その状態になったのは、あなたが何歳の頃ですか。(数字で具体的に)

親和群



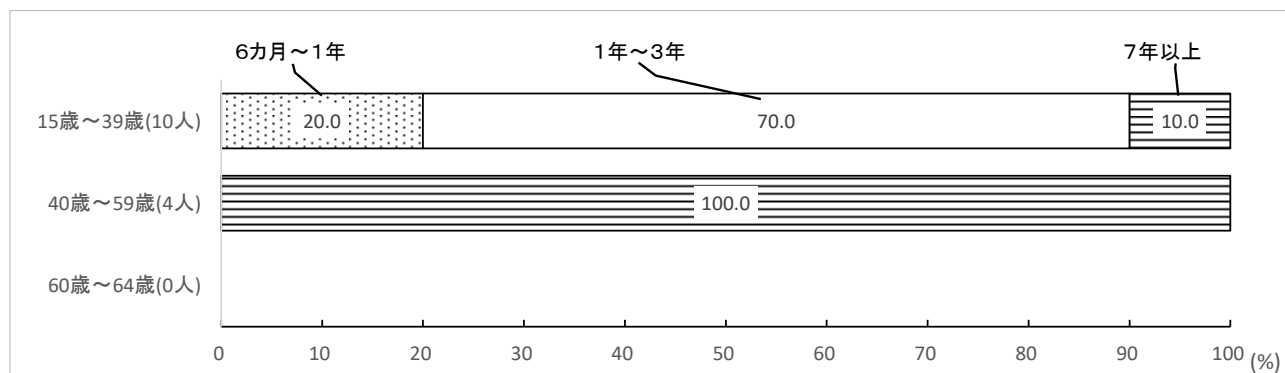
一般群



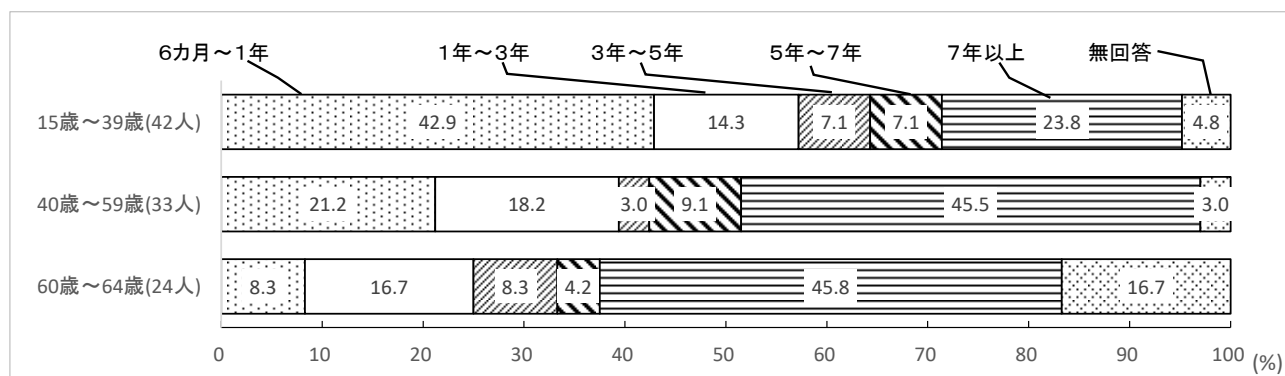
親和群における過去のひきこもり傾向は34歳までの間で発生している。

Q26 その状態はどれくらい続きましたか。(○はひとつだけ)

親和群



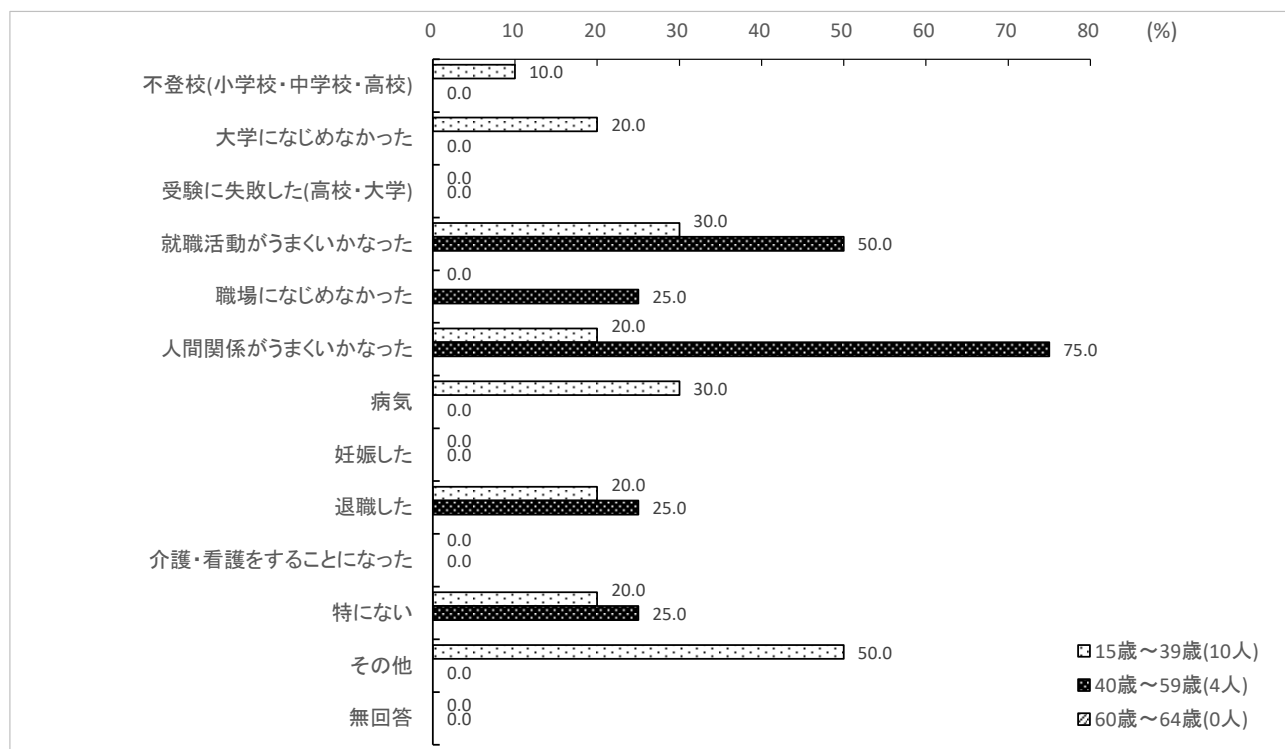
一般群



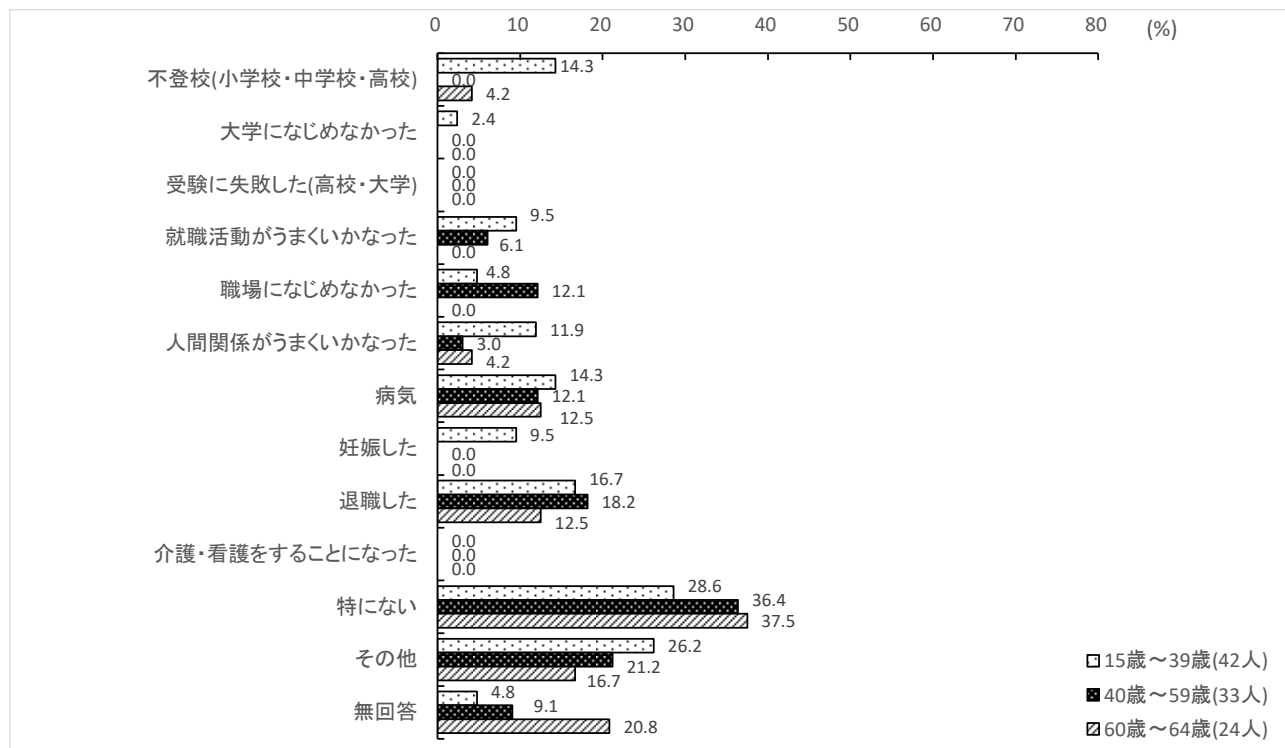
親和群の40歳～59歳の4人全員が7年以上のひきこもり状態が続いたと回答している。

Q27 その状態になったきっかけは何でしたか。(〇はいくつでも)

親和群



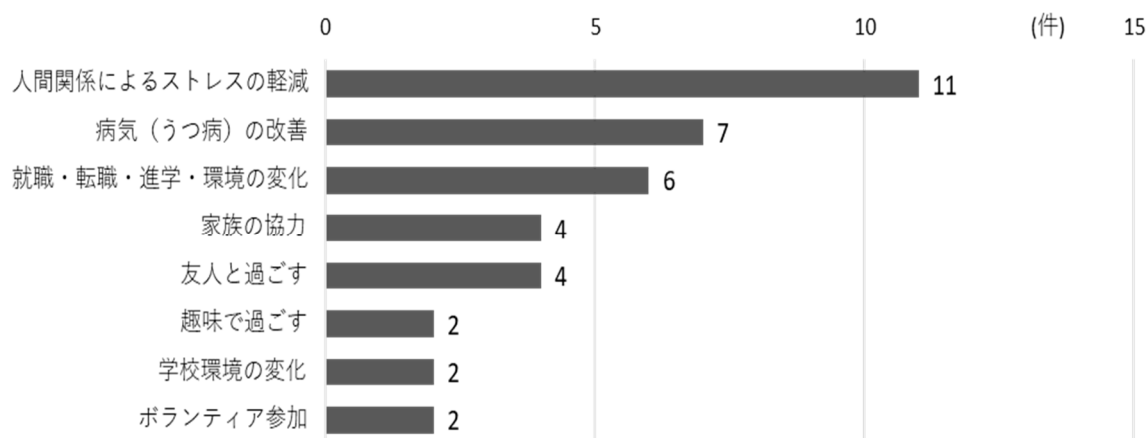
一般群



ひきこもり状態になったきっかけは「特にない」「その他」を除くと、親和群では「人間関係がうまくいかなかった」「就職活動がうまくいかなかった」が多くなっている。

Q28 その状態から Q17 で回答した現在の状況になったきっかけや役立つことはなんだったと思いますか。ご自由にお書きください。

回答内容を分類し、主な回答について以下に抜粋した。



人間関係によるストレスの軽減

- ・人と接するのが面倒になり仕事以外は(休日は)親と一緒に、一人で居ることが多くなった。一人の時は大好きな趣味に時間を費やせて日々のストレス発散をしている。(女性 20 歳～24 歳)

病気(うつ病)の改善

- ・悪性リンパ腫再発をきっかけに、うつ病発症。癌関連のボランティアに参加、うつ病が軽くなり職場に戻る事が出来た。(男性 60 歳～64 歳)
- ・心療内科を受診し一応診断名をもらった事で自分が納得いくまで自宅療養出来た事。休養中元気な時には勉強し、自分に自信が持てた事。休養後、復帰していく過程で○歳では○年生、○歳では学生、○歳では働いていて当たり前という価値観にはあまり意味が無いと気付いた事。(女性 25 歳～29 歳)

就職・転職・進学・環境の変化

- ・たまたま職場環境と働いている人に恵まれていたこと。(女性 35 歳～39 歳)
- ・ずっと勉強ばかりでしたが、一区切りし就職しようと思った。(女性 30 歳～34 歳)

家族の協力

- ・心も体も休める事が大事。配偶者や子ども、友達と会話をして笑ったり泣いたり、普通の事がとても大事と思う。(女性 60 歳～64 歳)

友人と過ごす

- ・インターネットでの情報収集、SNSでの友人とのやりとり。古い友人の遊びへの誘い、外への感性の変化(景観療法)。(女性 35 歳～39 歳)

趣味で過ごす

- ・自分の好きな事を好きなだけやった(趣味に集中した)。(女性 30 歳～34 歳)

学校環境の変化

- ・生徒会に入ったため。(男性 15 歳～19 歳)

ボランティア参加

- ・仕事以外の人間関係は良好なので積極的に用事を作り外出をしたり、ボランティアや今後の就職活動のためにPC教室に通っている。(男性 60 歳～64 歳)

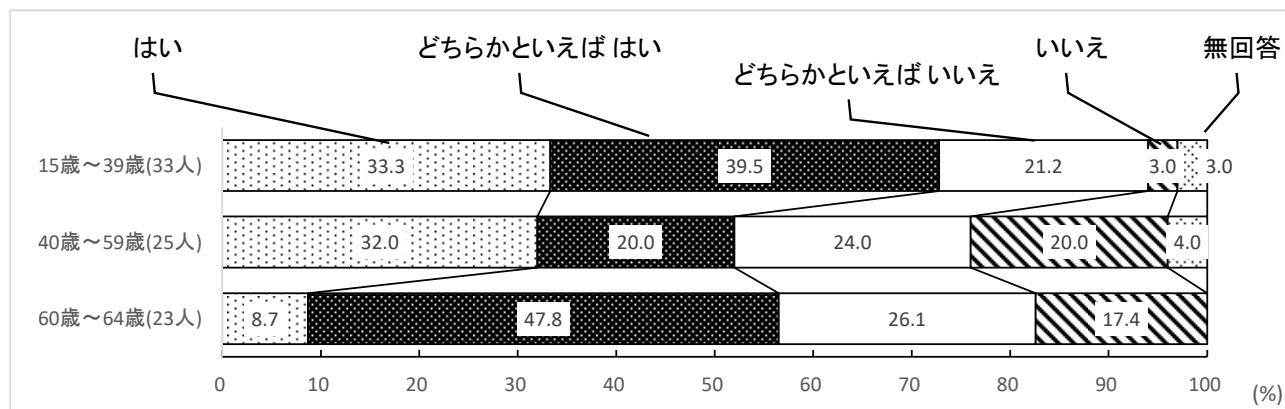
(8) 自分についてあてはまること

Q29 次にあげられることについて、あなた自身にあてはまる数字に○をつけてください。

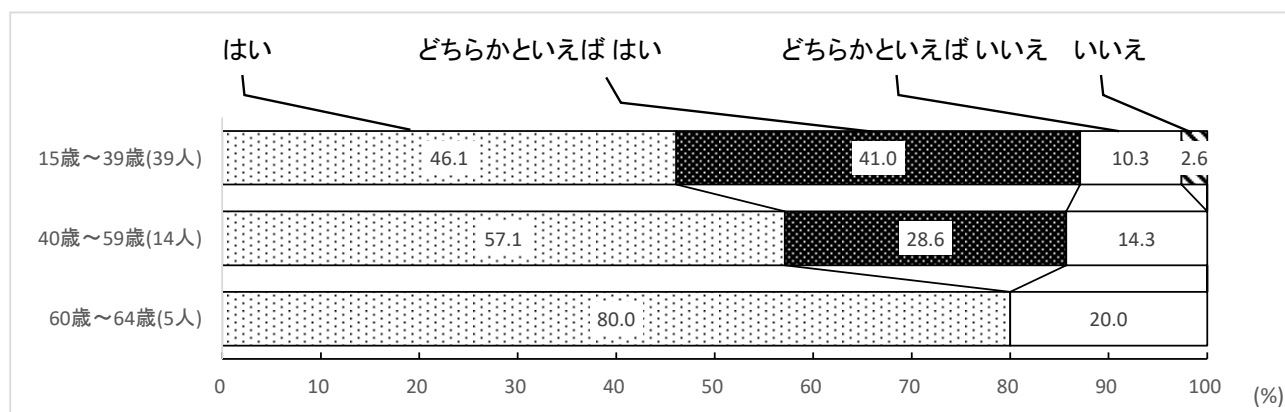
(○は各項目につき、ひとつだけ)

1. 自分の欠点や失敗を少しでも悪く言われると、ひどく動揺(どうよう)する

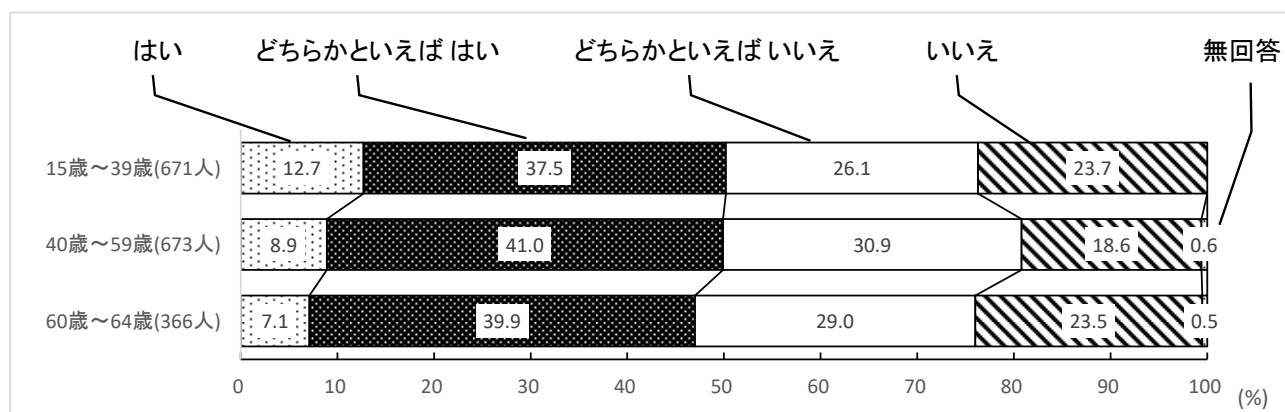
広義のひきこもり群



親和群



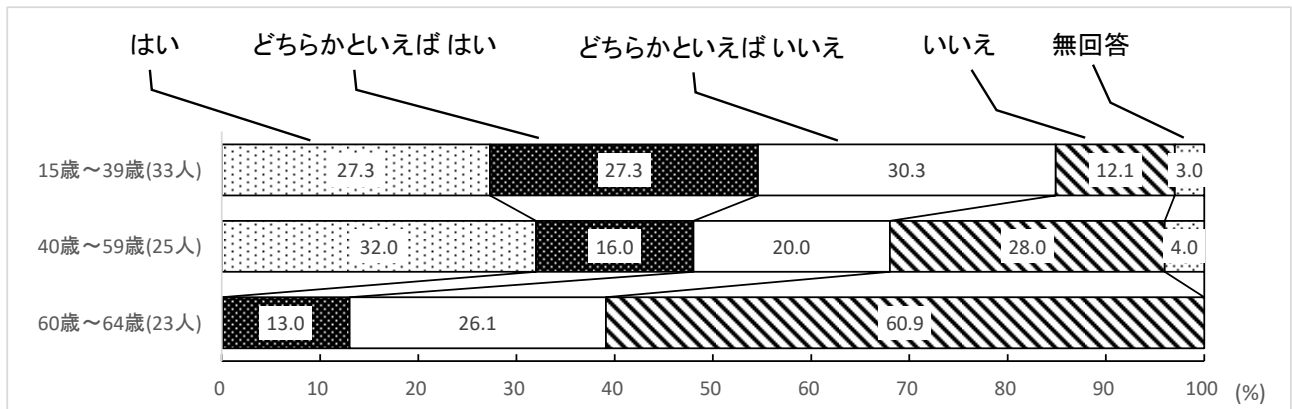
一般群



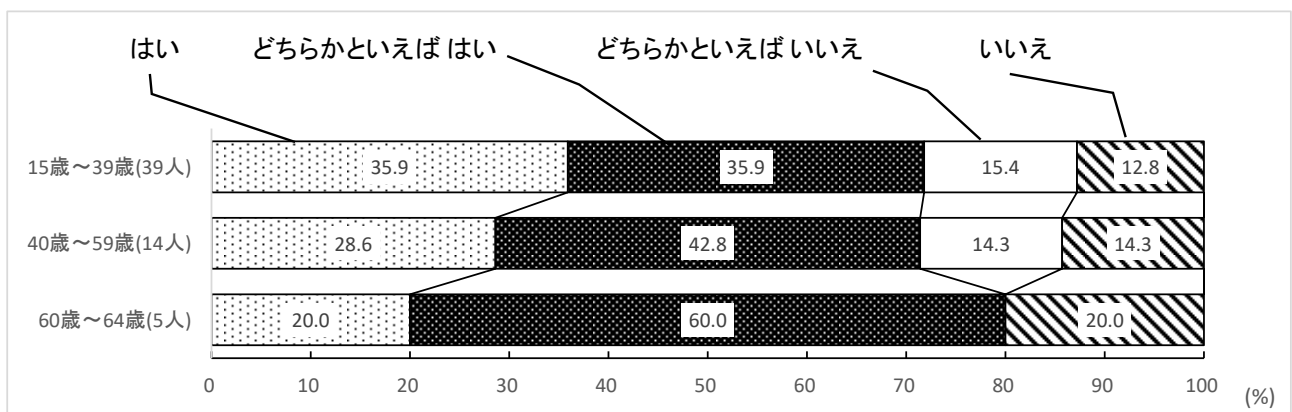
広義のひきこもり群の「はい」「どちらかといえば はい」が15歳～39歳で72.8%と多くなっている。

2. 人というと、馬鹿にされたり、軽く扱われはしないかと不安になる

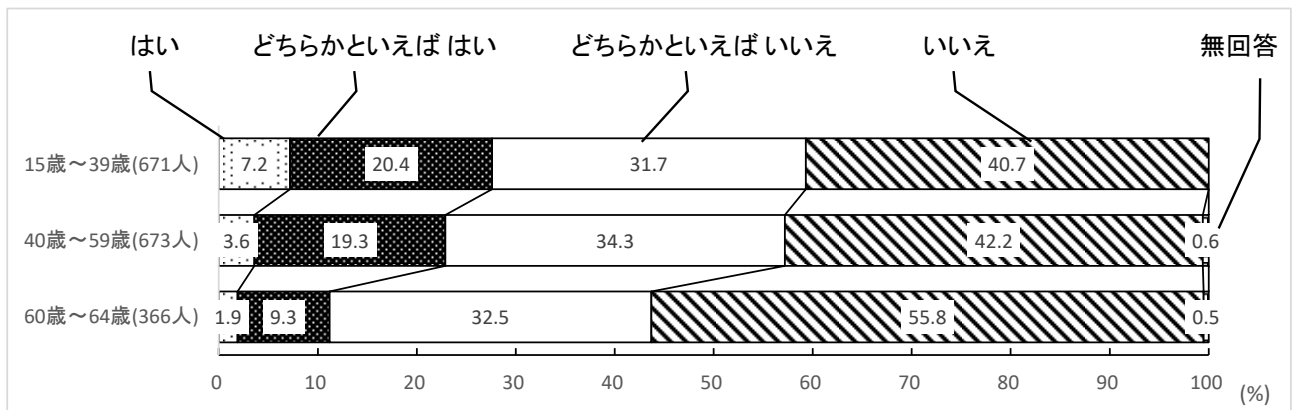
広義のひきこもり群



親和群



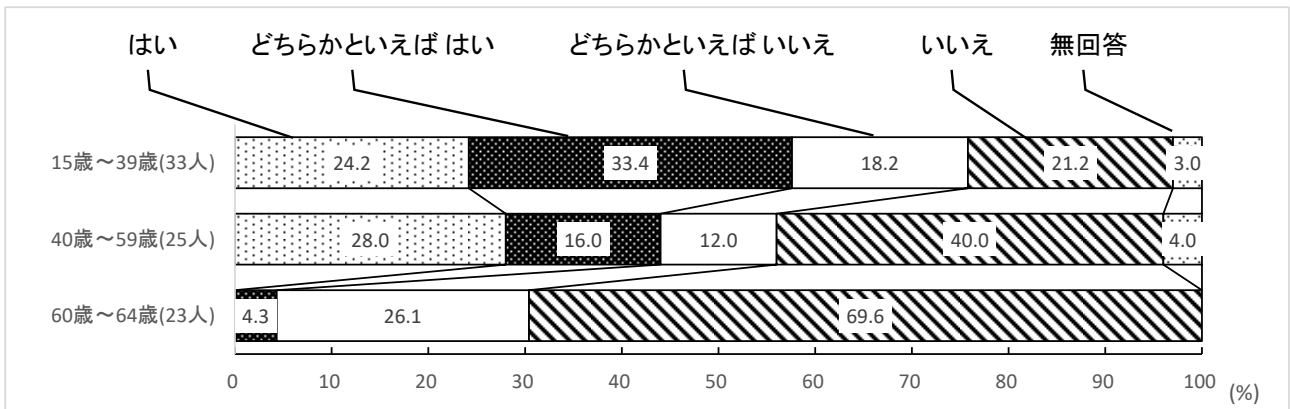
一般群



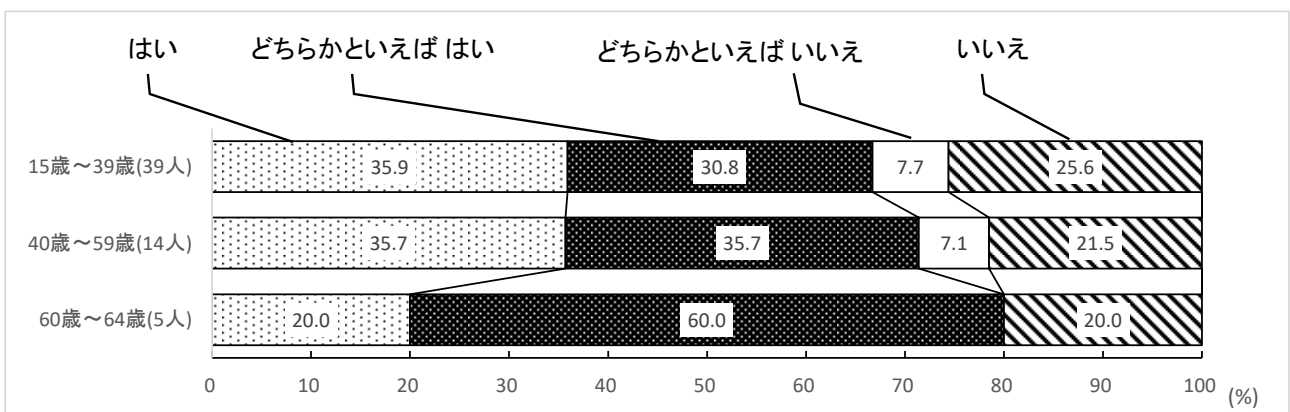
広義のひきこもり群の「はい」「どちらかといえば はい」が15歳～39歳で54.6%と多くなっている。

3. 周りの人に自分が変な人に思われているのではないかと不安になる

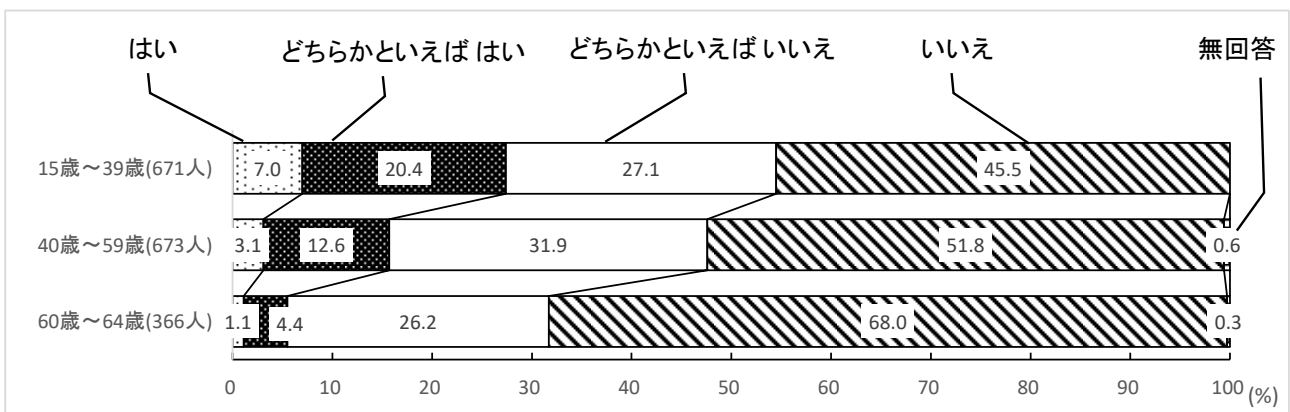
広義のひきこもり群



親和群



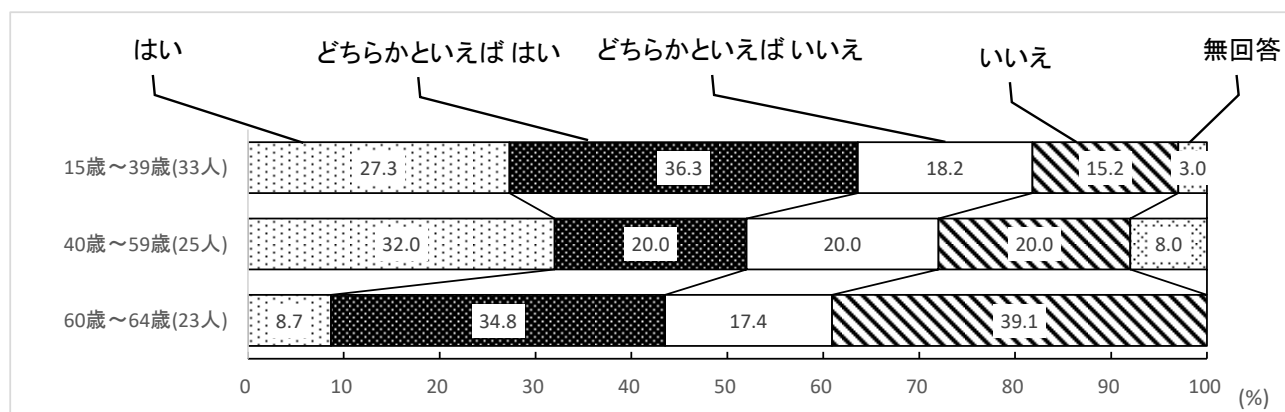
一般群



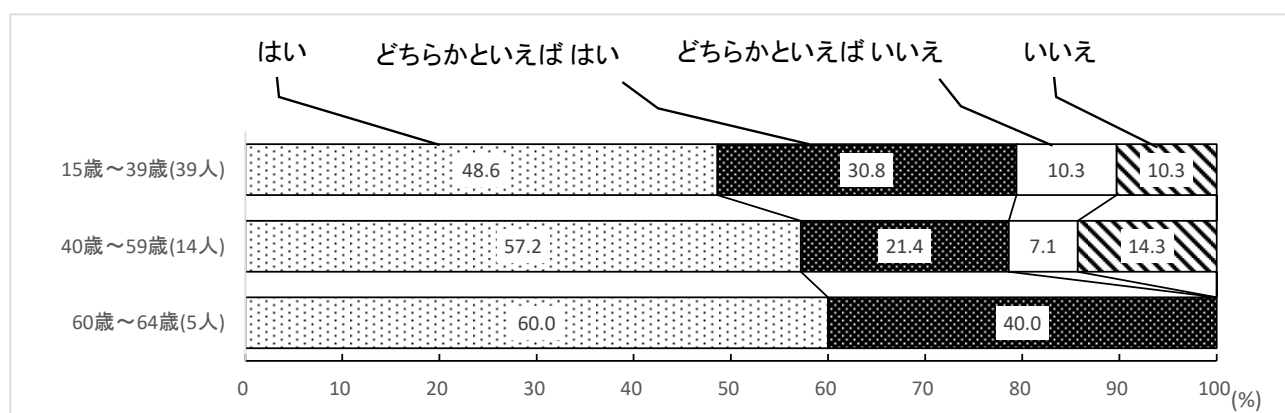
広義のひきこもり群の「はい」「どちらかといえば はい」が15歳～39歳で57.6%と多くなっている。

4. 他人から間違いや欠点を指摘されると、憂うつな気分が続く

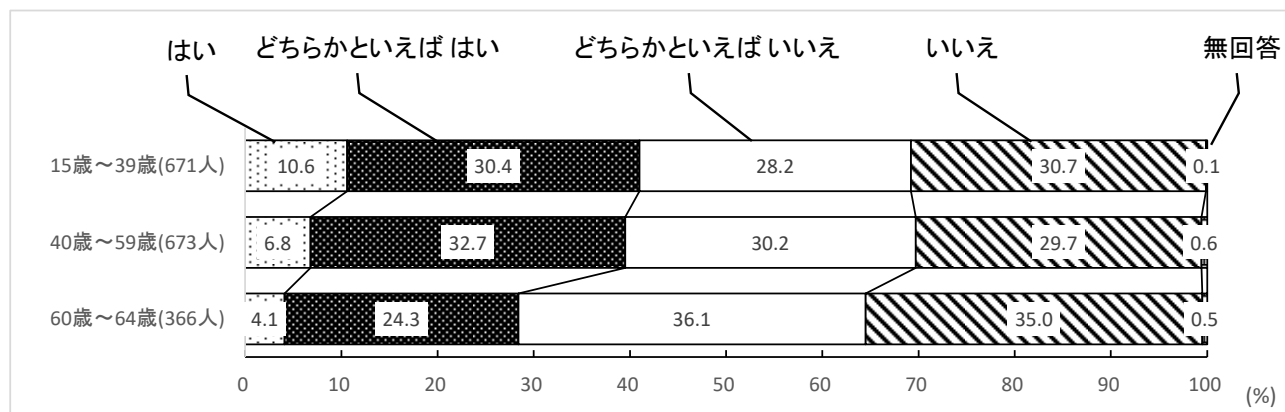
広義のひきこもり群



親和群



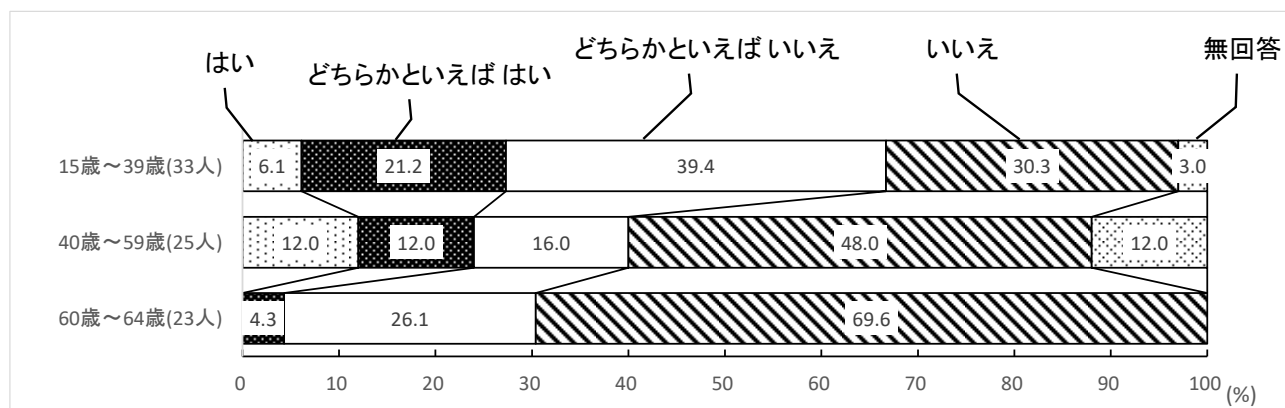
一般群



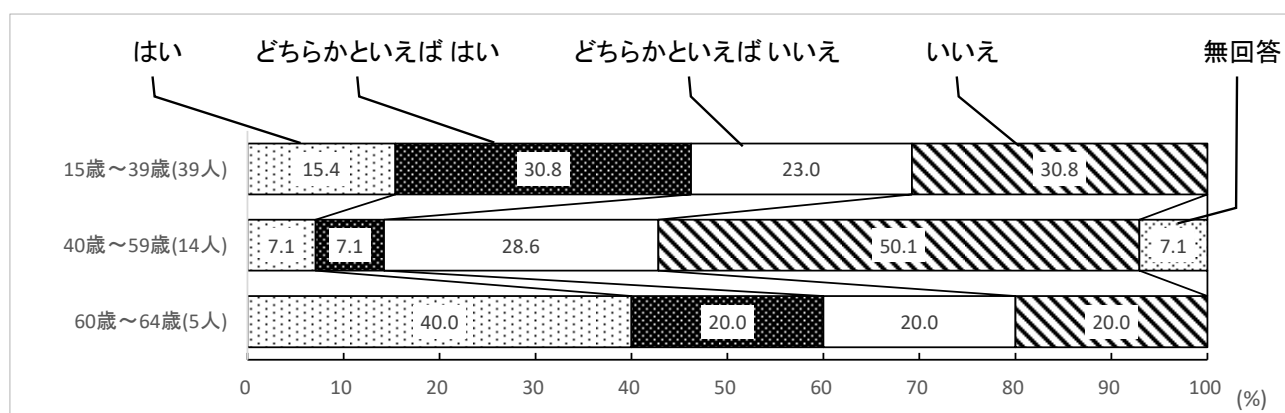
広義のひきこもり群の「はい」「どちらかといえば はい」が15歳～39歳で63.6%と多くなっている。

5. 大事なことを決めるときは、親や教師の言うことに従わないと不安だ

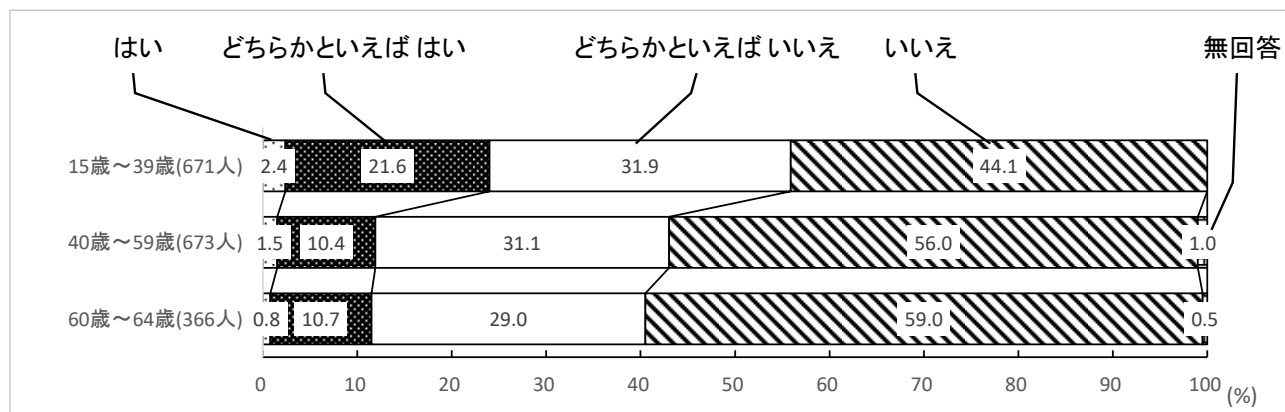
広義のひきこもり群



親和群



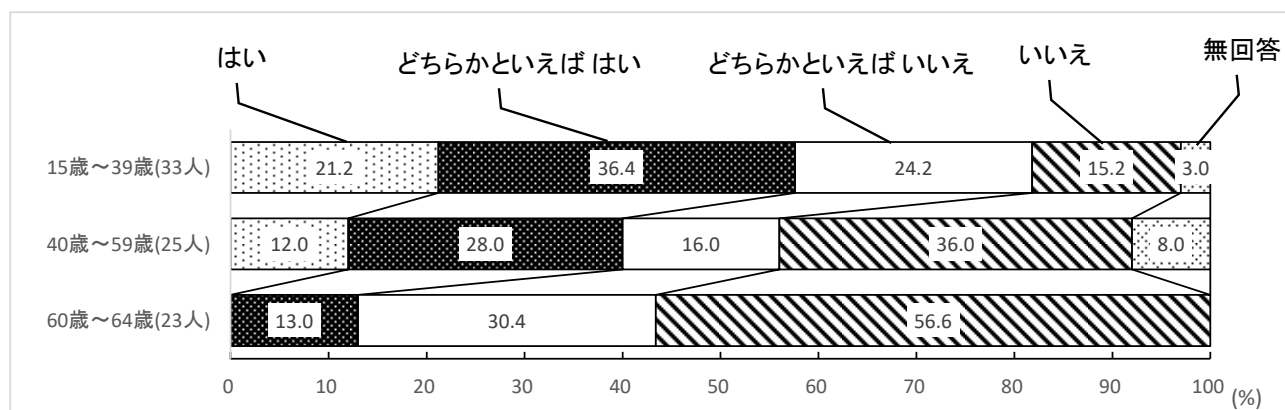
一般群



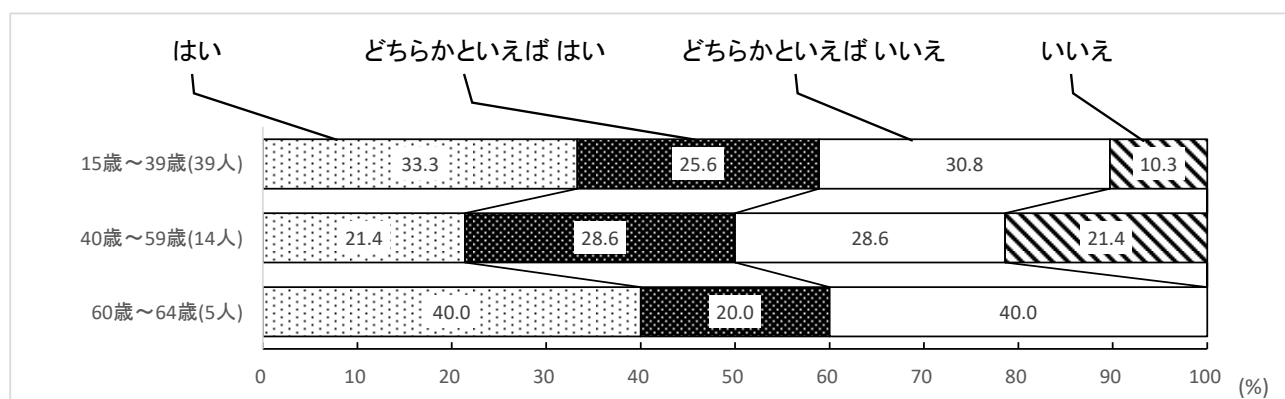
広義のひきこもり群では全体的に「どちらかといえばいいえ」「いいえ」の割合が多くなっている。親和群では15歳～39歳で「はい」「どちらかといえばはい」の割合が46.2%とやや多い傾向となっている。

6. 大事なことを自分ひとりで決めてしまうのは不安だ

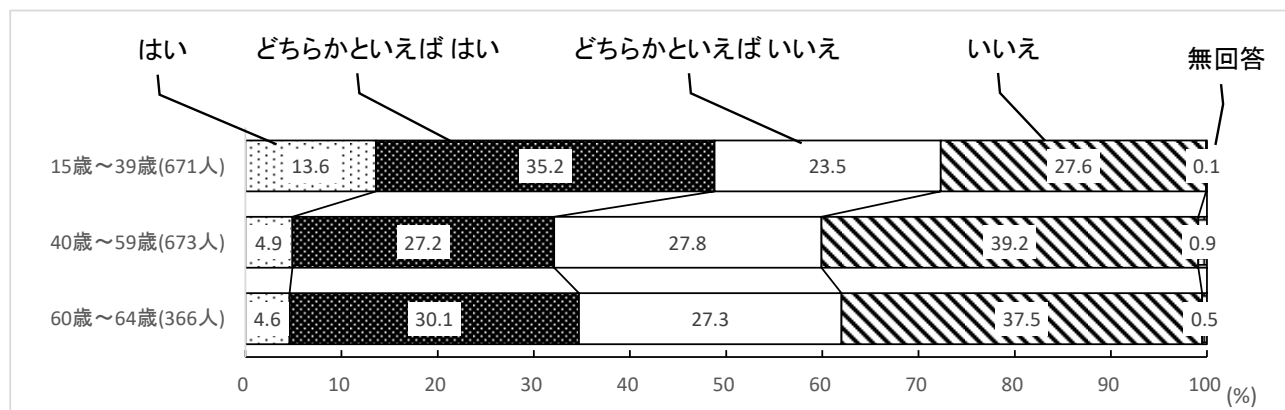
広義のひきこもり群



親和群



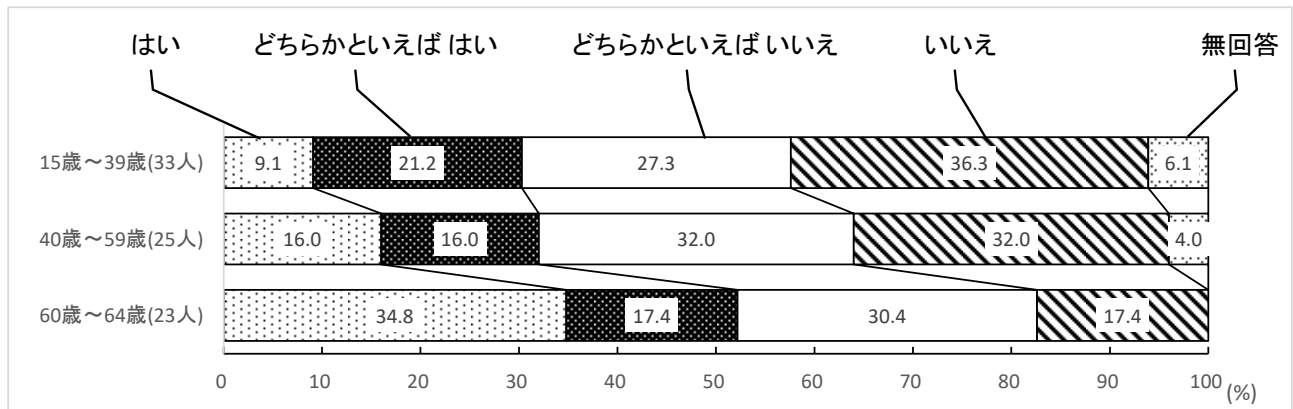
一般群



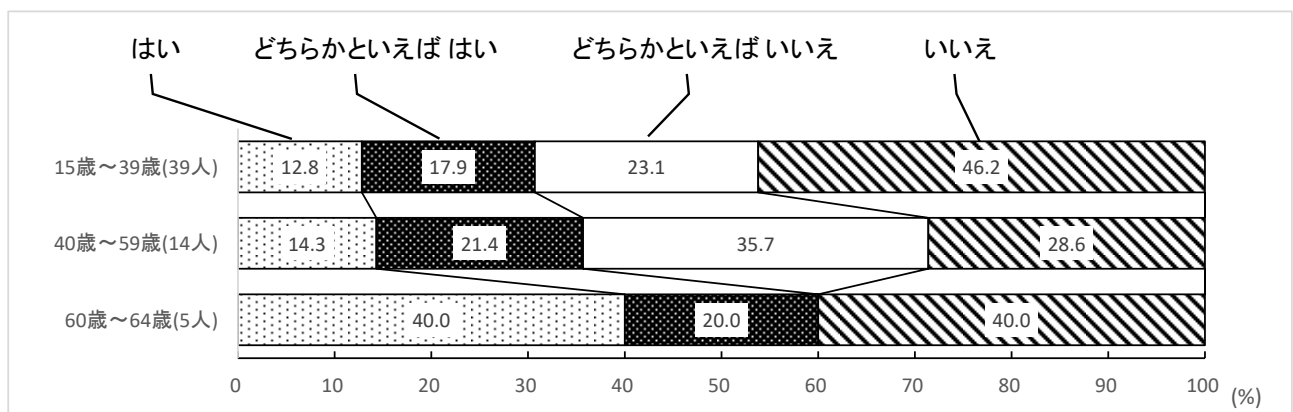
広義のひきこもり群の「はい」「どちらかといえば はい」が15歳～39歳で57.6%と多くなっている。

7. 初対面の人とすぐに会話できる自信がある

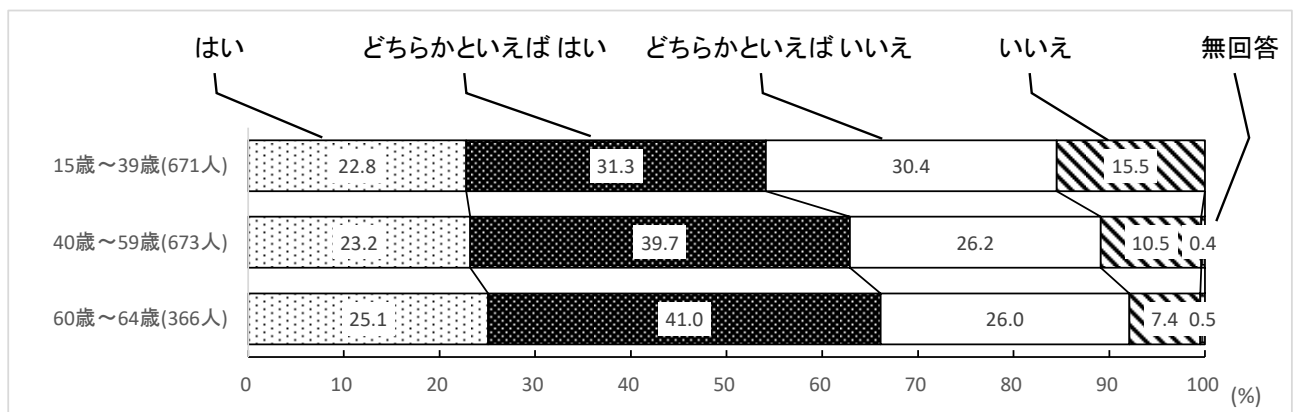
広義のひきこもり群



親和群



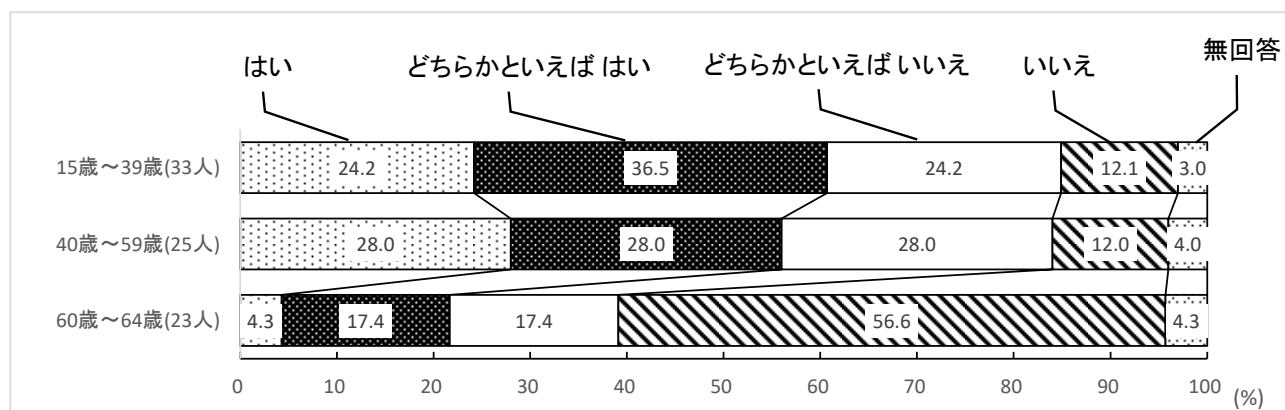
一般群



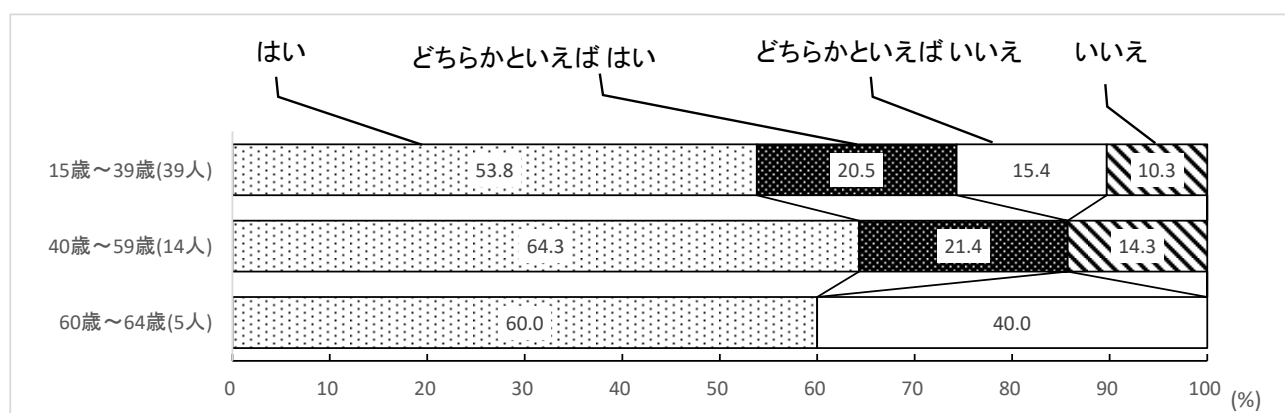
広義のひきこもり群および親和群の15歳～39歳、40歳～59歳において、「はい」「どちらかといえばはい」の割合が少なくなっている。

8. 人とのつきあい方が不器用なのではないかと悩む

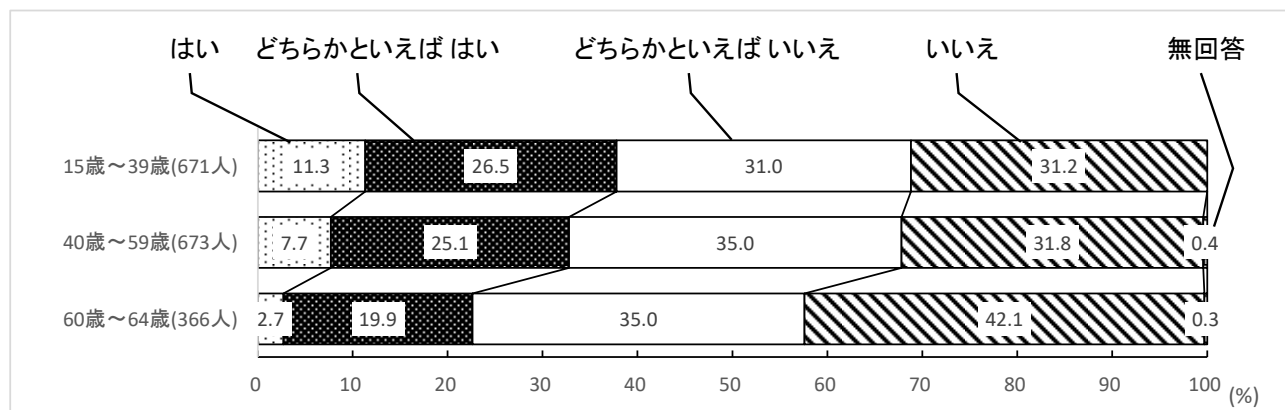
広義のひきこもり群



親和群



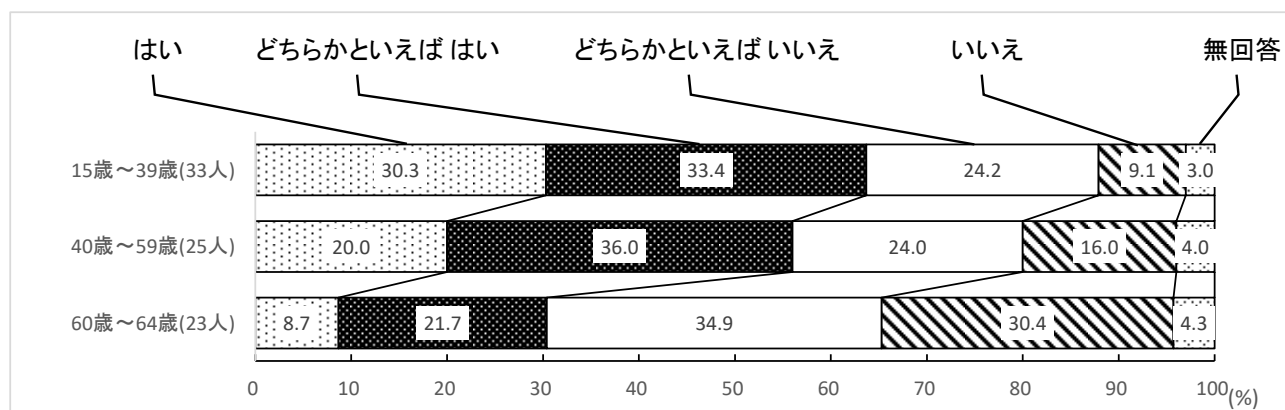
一般群



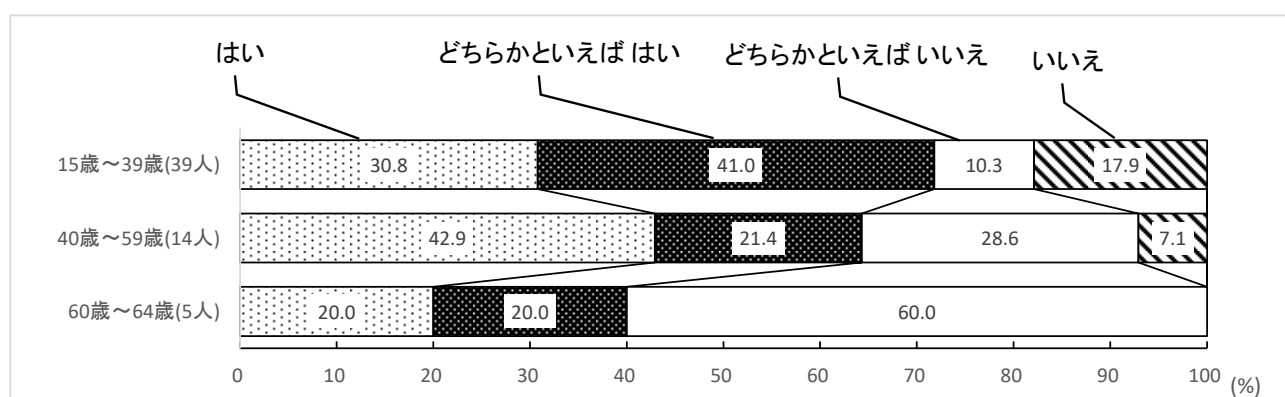
親和群では「はい」「どちらかといえば はい」の割合が他の群と比べて多くなっている。

9. 自分の感情を表に出すのが苦手だ

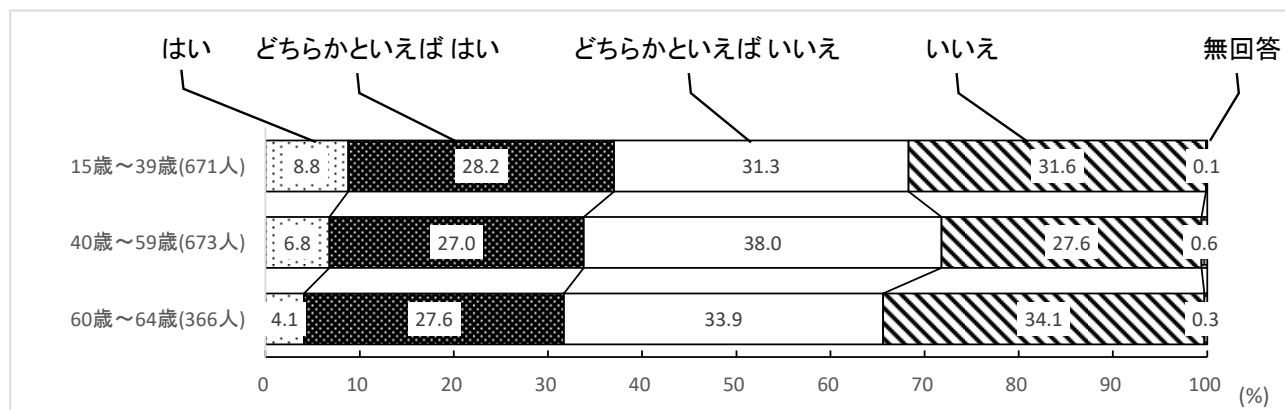
広義のひきこもり群



親和群



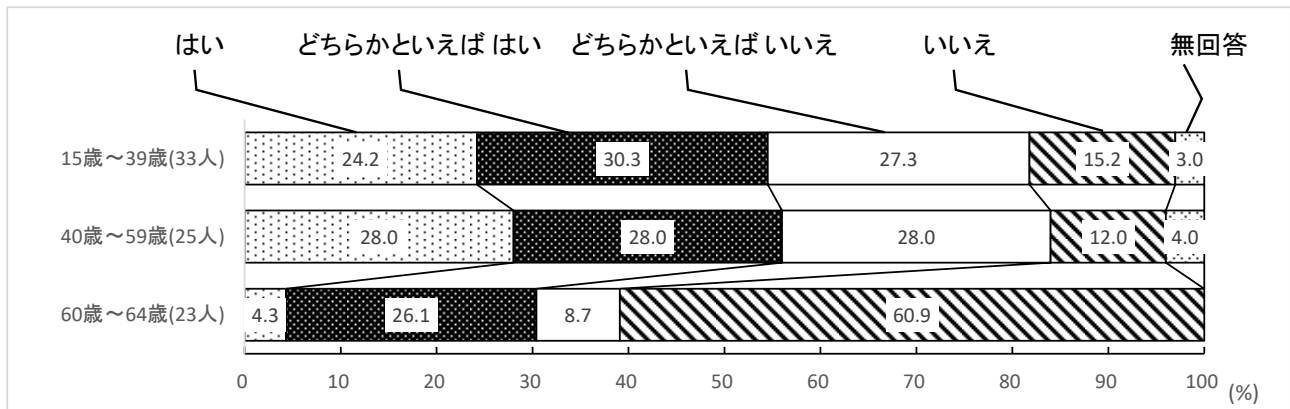
一般群



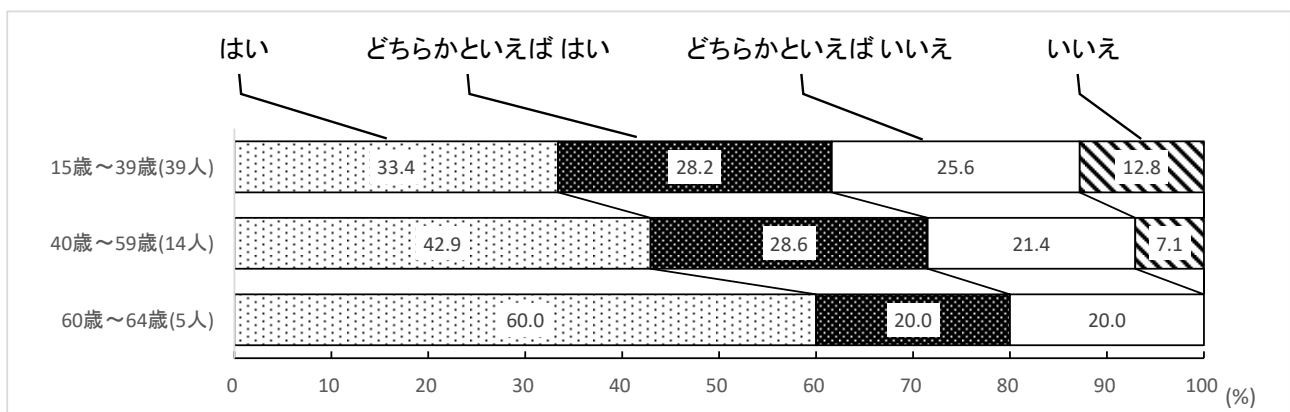
広義のひきこもり群および親和群の15歳～39歳、40歳～59歳において、「はい」「どちらかといえばはい」の割合が多くなっている。

10. 周りの人ともめごとが起こったとき、どうやって解決したらいいかわからない

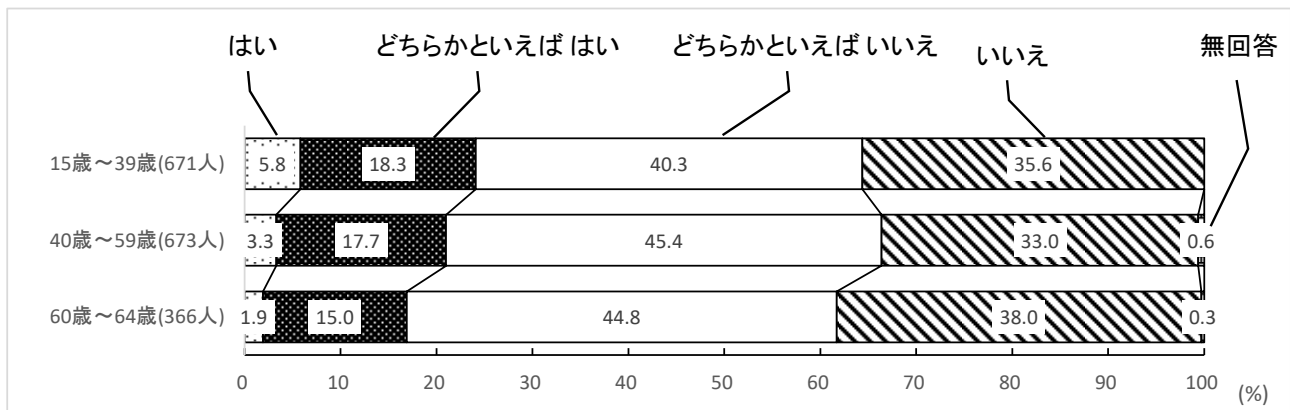
広義のひきこもり群



親和群



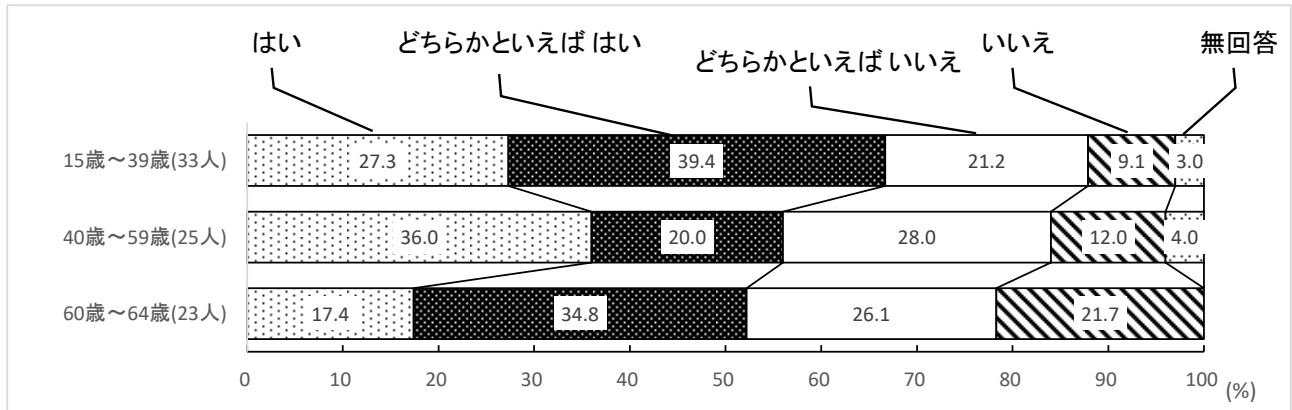
一般群



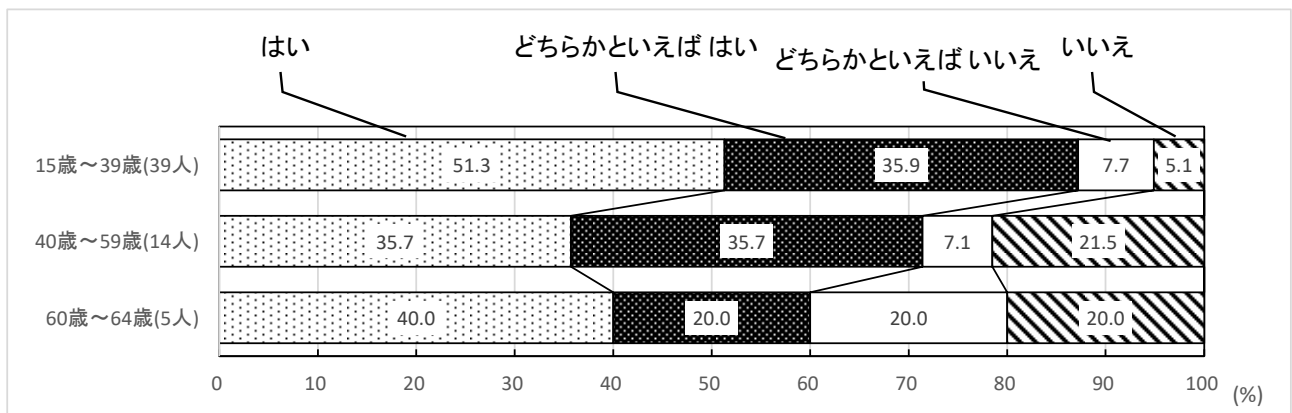
親和群では「はい」「どちらかといえば はい」の割合が15歳～39歳(61.6%), 40歳～59歳(71.5%), 60歳～64歳(80.0%)と、年齢層が上がるにつれて増加傾向がみられる。

11. たとえ親であっても自分のやりたいことに口出ししないで欲しい

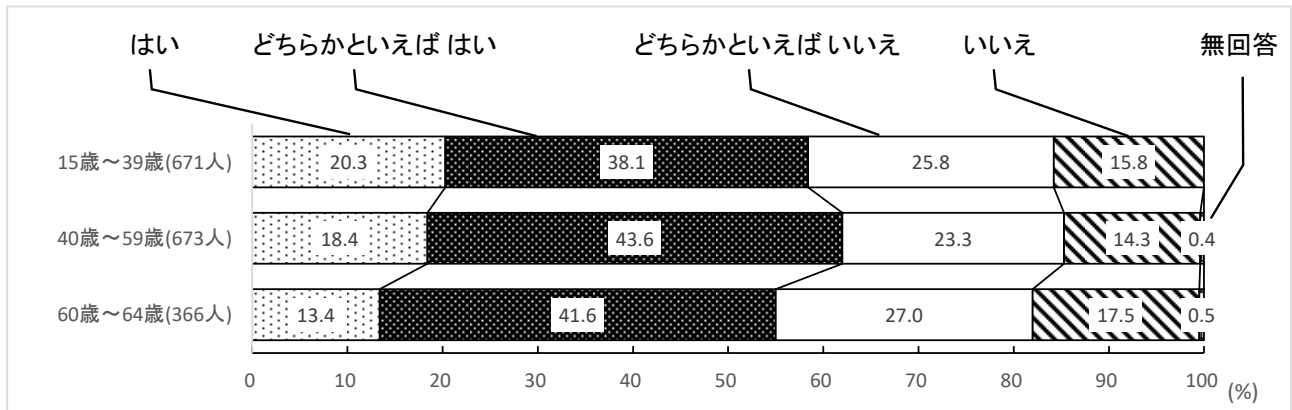
広義のひきこもり群



親和群



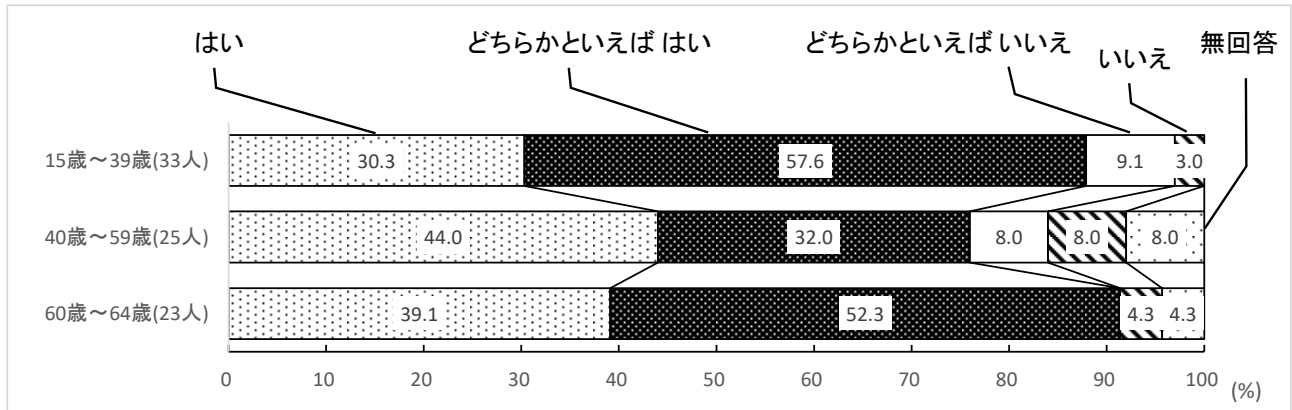
一般群



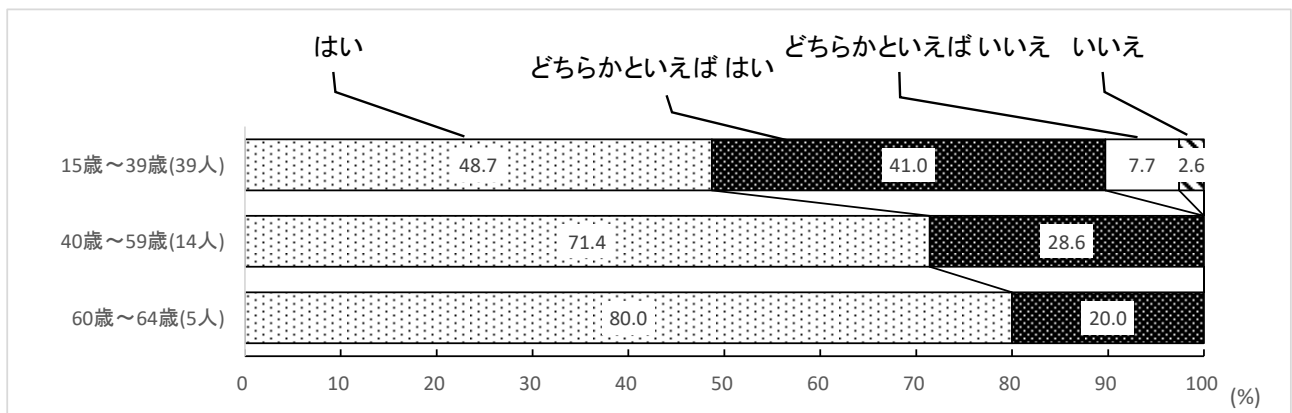
親和群の15歳～39歳において、「はい」「どちらかといえばはい」の割合が87.2%と多くなっている。

12. 自分の生活のことで人から干渉されたくない

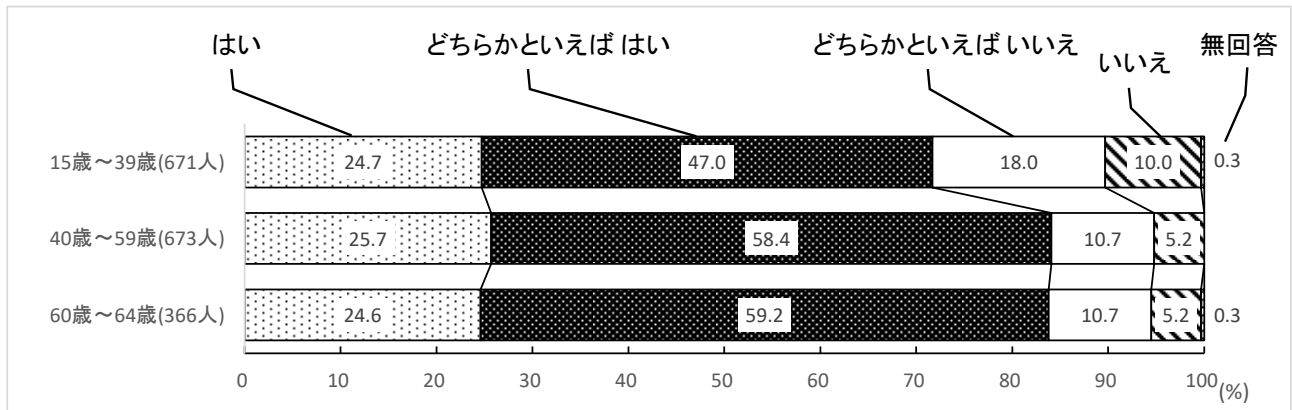
広義のひきこもり群



親和群



一般群

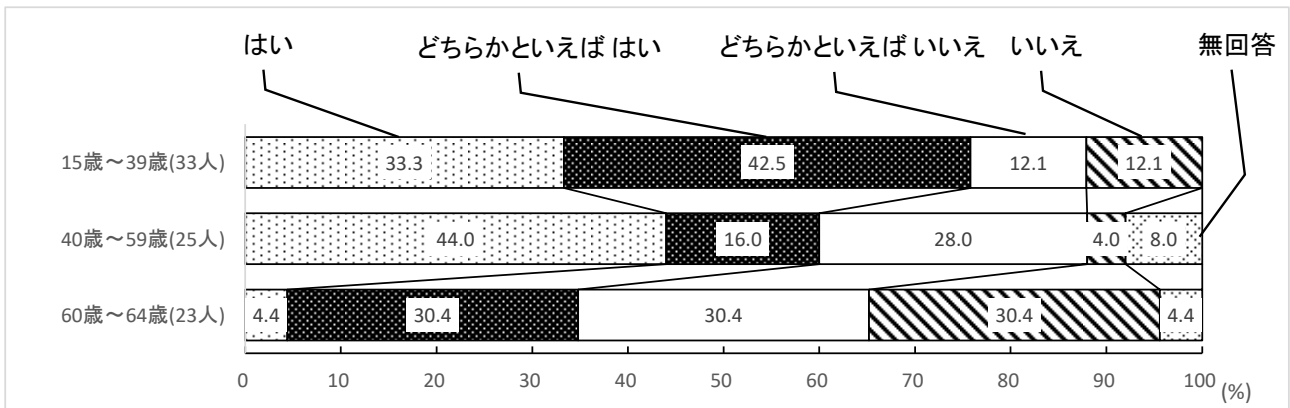


全体的に「はい」「どちらかといえば はい」の割合が多くなっている。

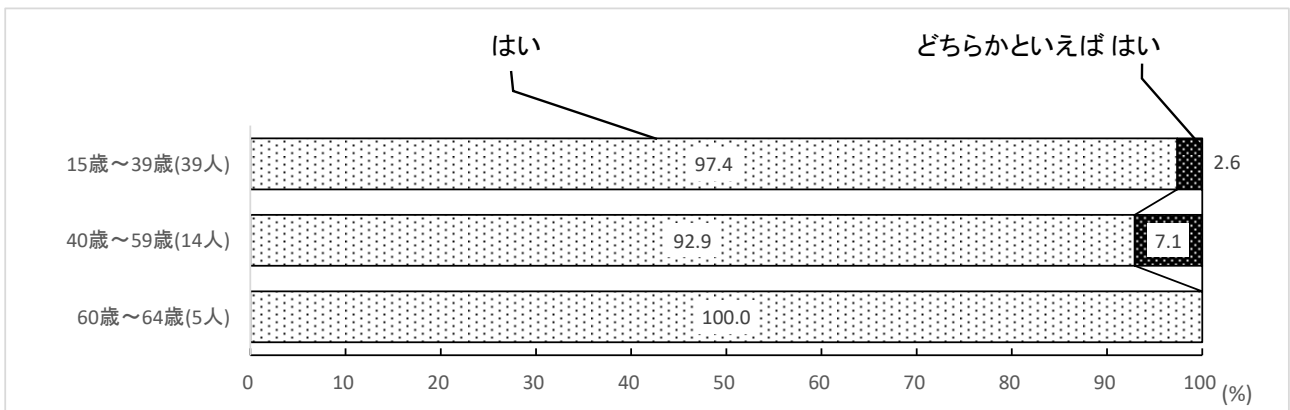
※Q29の13.~16.の設問は、親和群を判定するために使用

13. 家や自室に閉じこもっていて外に出ない人たちの気持ちがわかる

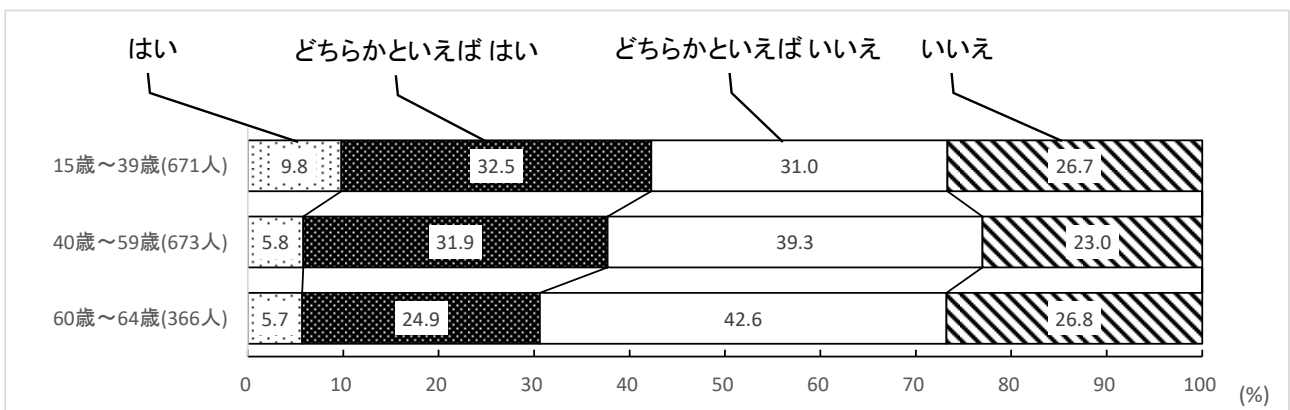
広義のひきこもり群



親和群

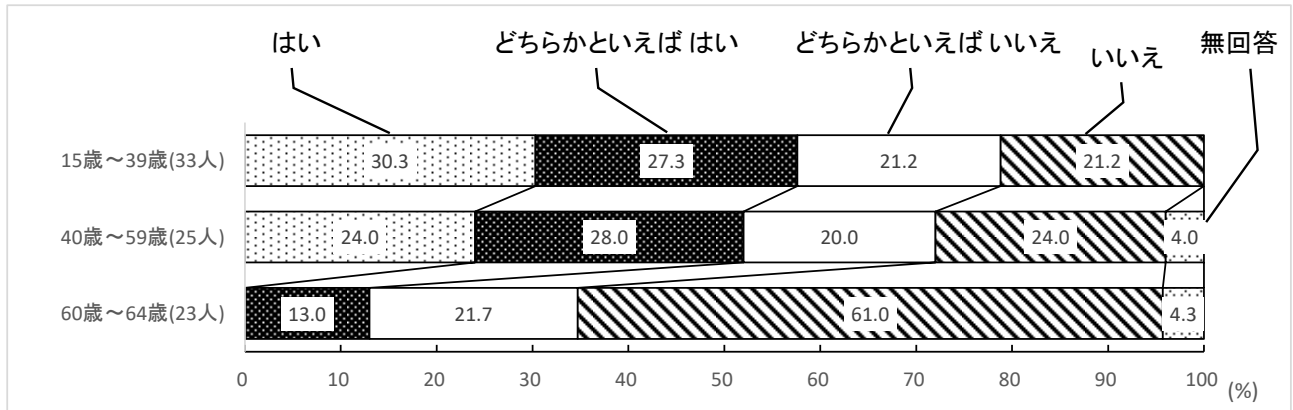


一般群

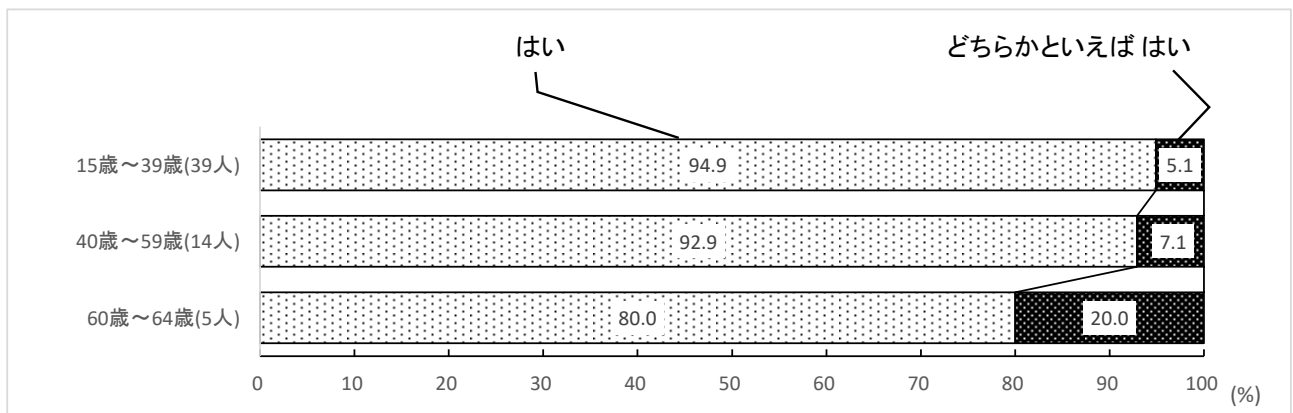


14. 自分も、家や自室に閉じこもりたいと思うことがある

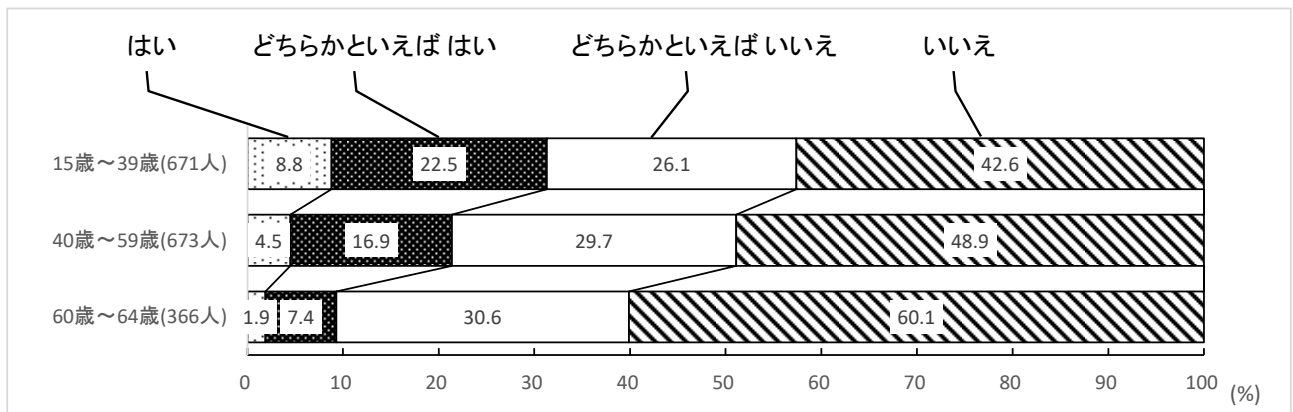
広義のひきこもり群



親和群

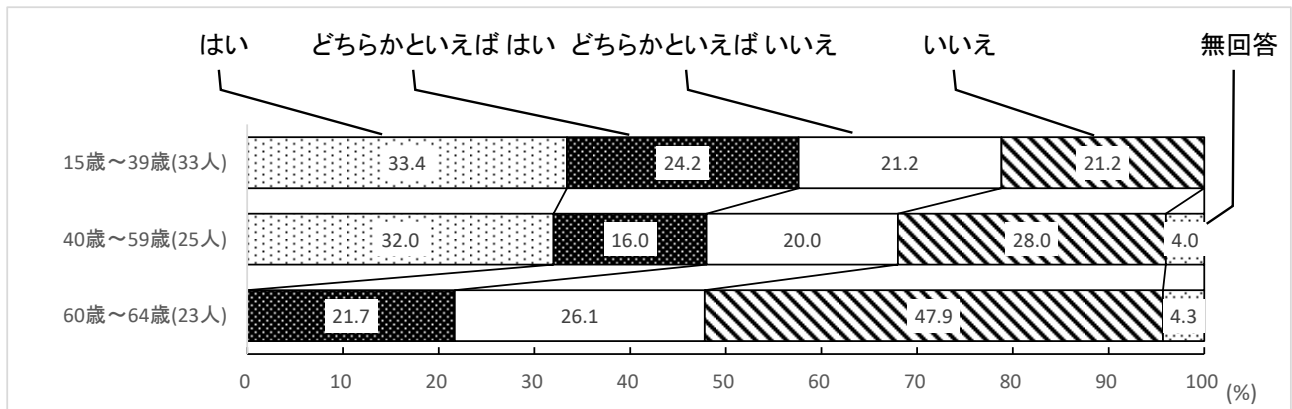


一般群

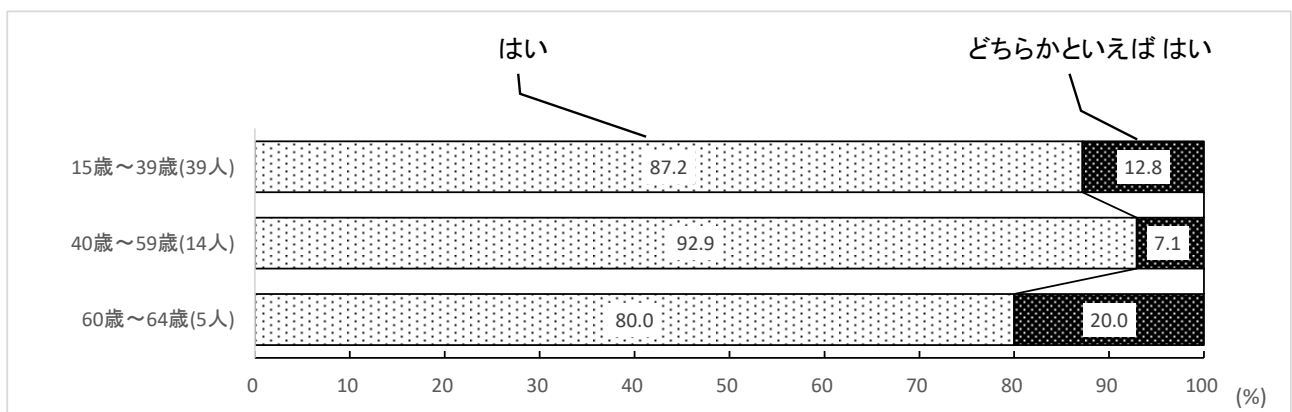


15. 嫌な出来事があると、外に出たくなくなる

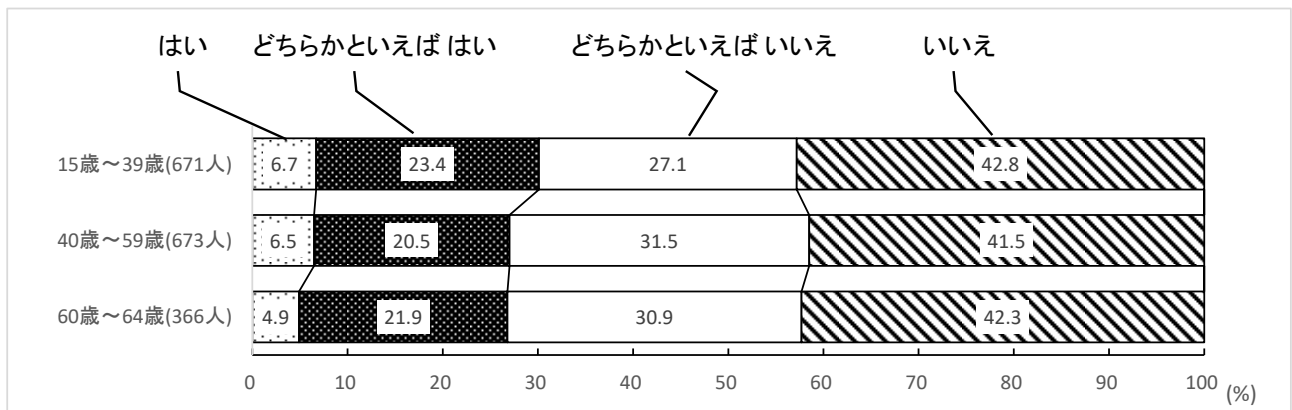
広義のひきこもり群



親和群

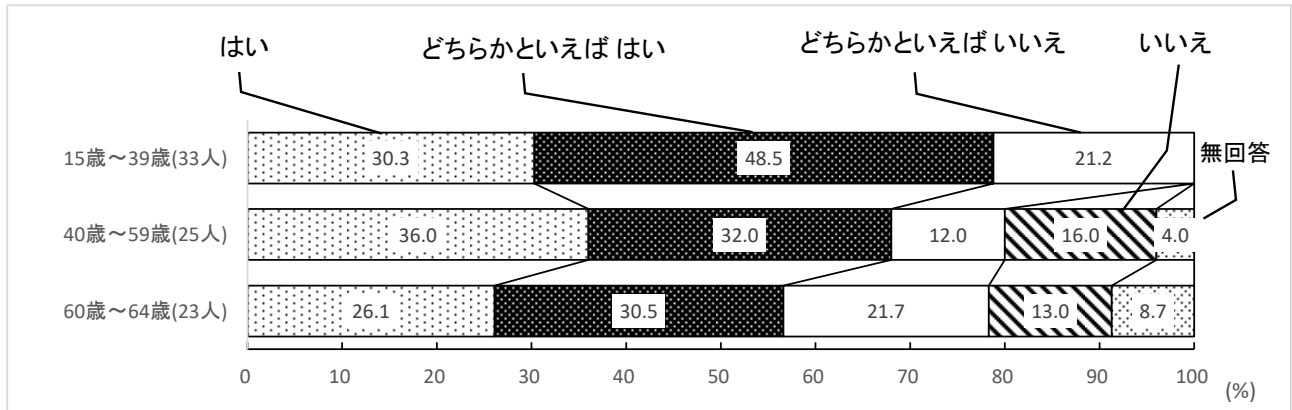


一般群

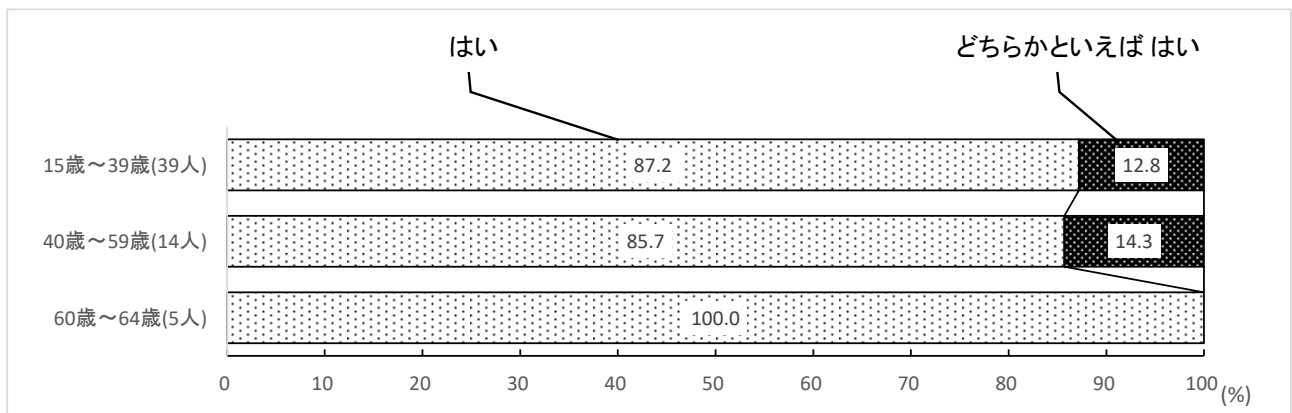


16. 理由があるなら家や自室に閉じこもるのも仕方がないと思う

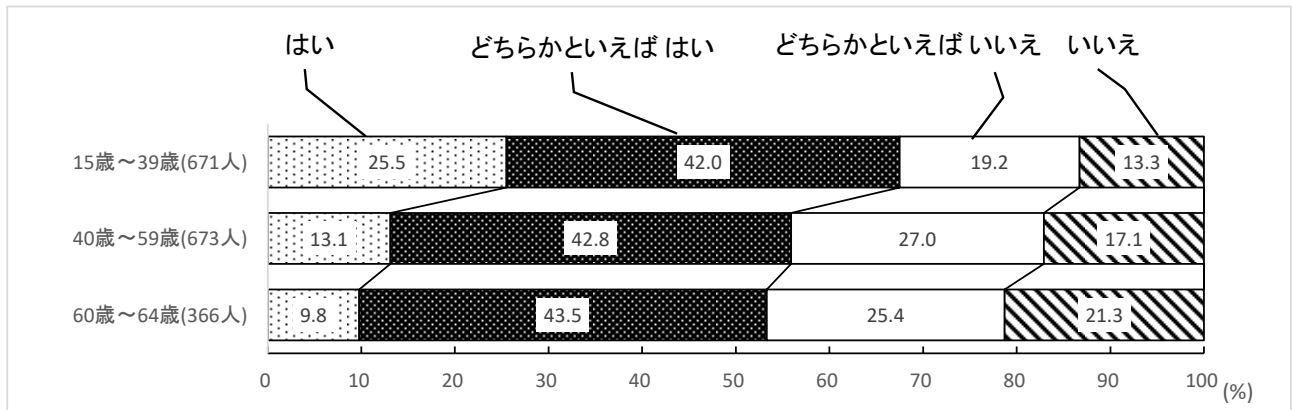
広義のひきこもり群



親和群



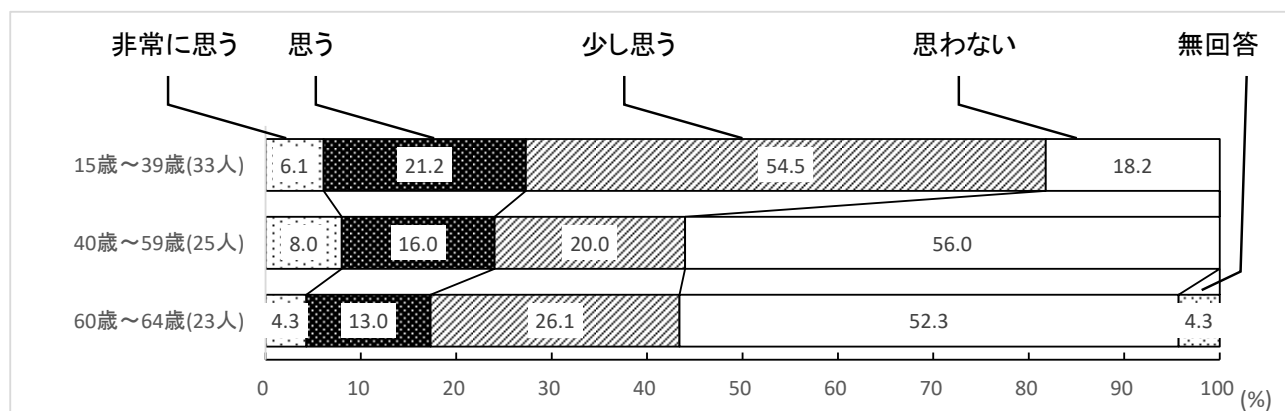
一般群



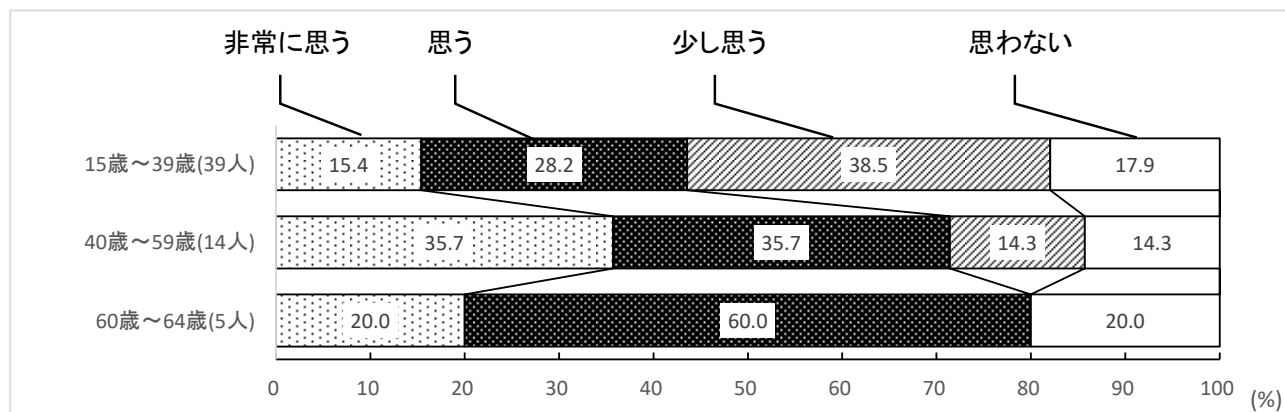
(9) 悩み事の相談に関すること

Q30 あなたはふだん悩み事を誰かに相談したいと思いますか。(〇はひとつだけ)

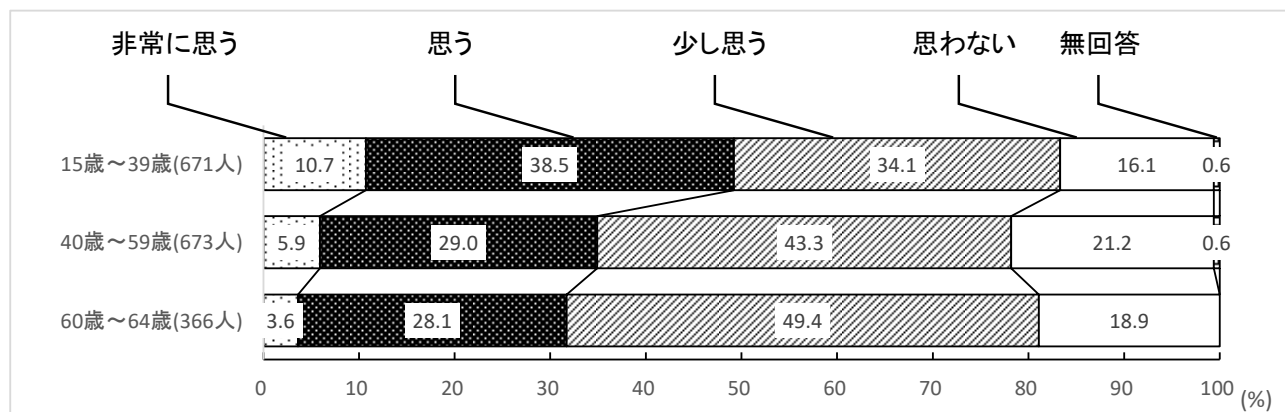
広義のひきこもり群



親和群



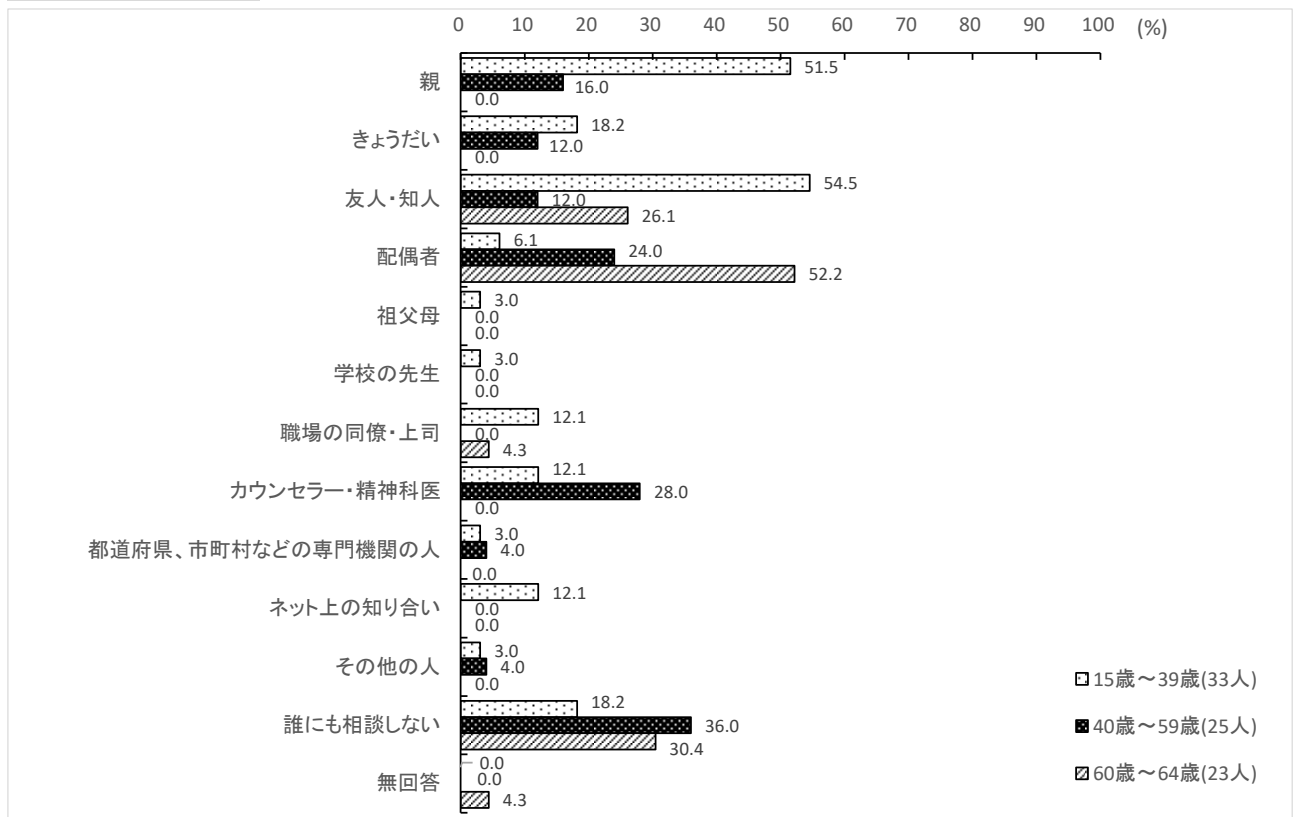
一般群



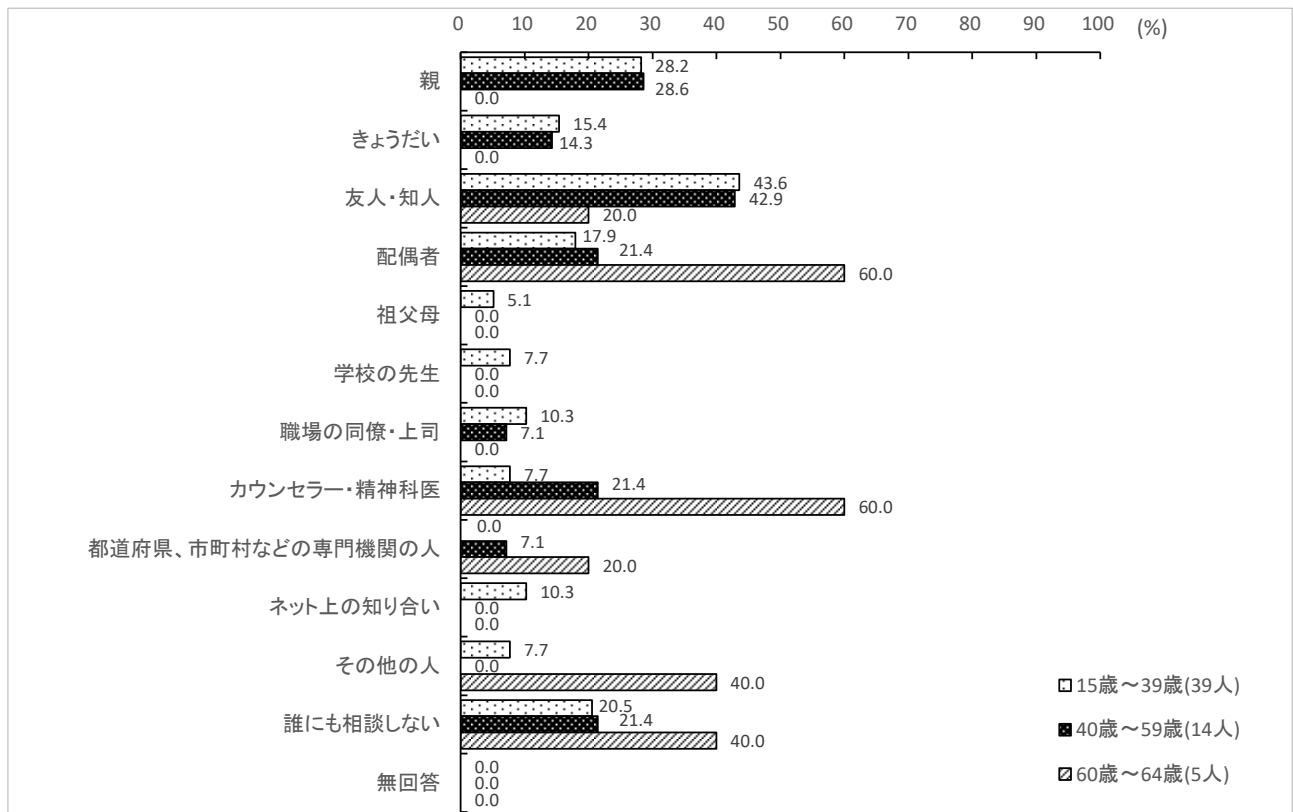
広義のひきこもり群では「思わない」の割合が40歳～59歳(56.0%)、60歳～64歳(52.3%)と15歳～39歳(18.2%)と比べて多くなっている。

Q31 あなたはふだん悩み事を誰に相談しますか。(〇はいくつでも)

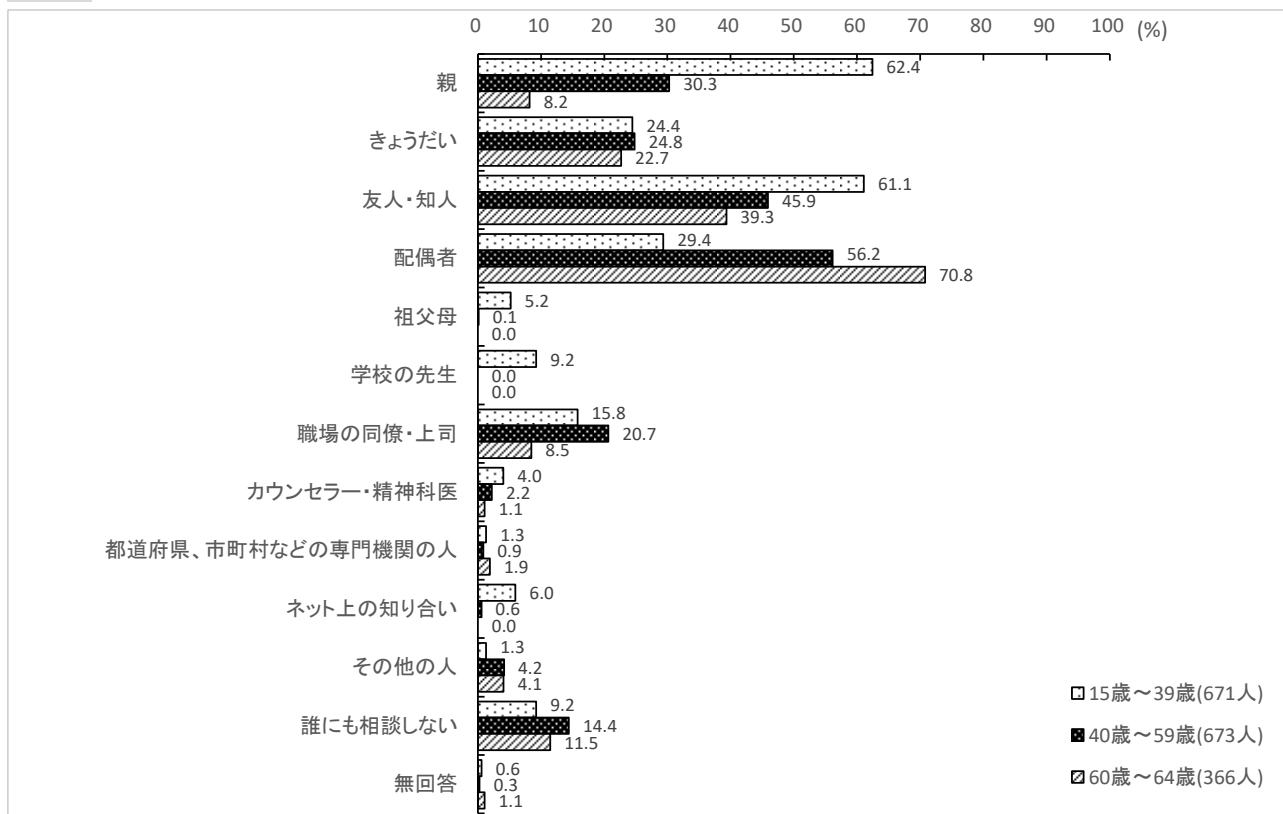
広義のひきこもり群



親和群



一般群



広義のひきこもり群では、15歳～39歳では「親」「友人・知人」が多く、40歳～59歳では「誰にも相談しない」「カウンセラー・精神科医」が多く、60歳～64歳になると「配偶者」が多かった。

